四十日白	全右	中	淡綠	大	淡綠	盛	全右	淡黃白	白粘質	中	中
四十日赤	全右	中	濃綠	大	暗紫赤	稍盛	全右	濃紫紅	白地ニ紫紅ノ班アリ粘質	少	下
高須	短心臟形欠刻ナシ	稍大	濃綠綠紫赤ヲ帶ブ	大	帶綠紫赤	稍盛	短紡錘形	帶紅橙黃色	淡黃白稍粉質	少	中
モヘ藷	心臟形僅カニ欠刻アリ	大	濃綠	大	暗紫赤	盛	長紡錘形	濃紫紅	白地ニ淡紫紅ノ班アリ粘質	少	下
川越	全右	中	濃綠綠稍赤味アリ	中	帶紫赤綠色	稍盛	紡錘形長	濃紫紅	黃白粉質	多	上
赤藷	全右	大	濃綠	大	暗紫赤	盛	紡錘形	濃紫紅	白地ニ淡紫紅ノ班アリ粉質	少	下
落花	三角形欠刻アリ	中	淡綠	中	淡綠	中	短紡錘形源地ニ似タルモ落花生形トアリ	淡紅ヲ帶ベル黃白	帶淡黃乳白粘質	中	中
臺灣	心臟形欠刻ナシ	中	綠	中	淡綠僅ニ赤味ヲ帶ブ	中	大形ノ塊狀稍々紡錘形ヲ呈ス	淡橙黃	白粘質	少	下
赤白藷	稍長心臟形欠刻アリ	中	淡綠心葉ハ赤味アリ	中	淡綠僅カニ赤味ヲ帶ブ	中	長紡錘形橫斷面五六角形ヲ呈ス	濃紫紅	白粘質	少	中
二十日藷	三角形	中	濃綠赤味アリ	中	暗紫赤	中	長紡錘形	濃紫紅	白稍粘	少	中
坂下川	楓葉狀ニ深キ欠刻アリ	稍大	綠	中	帶淡綠紫赤	中	塊形	濃紫紅	白地ニ淡紫紅ヲ帶ブ粘質	少	下
源地	短三角欠刻有リ	稍大	淡綠	中	淡綠	中	短紡錘形	帶淡紅黃白色	淡黃白粉質	中	稍上
在來種	心臟形欠刻アリ	中	綠綠赤味アリ	大	綠僅カニ赤味アリ	中	全右	濃紫紅	乳白粘	中	中
花赤紛	短心臟形欠刻アリ	小	淡綠	小	綠僅カニ赤味アリ	稍弱	長紡錘形ニテ稍屈曲ス	淡紅	帶稍黃乳白稍粘質	多	中
暗川	心臟形僅カニ欠刻ヲ認ム	大	濃綠	大	暗紫赤	盛	長形屈曲ス	黃白	乳白粘質	少	下
大屋小	三角形	大	綠綠赤味ヲ呈ス	大	暗紫赤	盛	長紡錘形	紅	白粘質	中	中
ボケ藷	朝顏ノ葉ニ似タリ稍深キ欠刻アリ	中	濃綠心葉赤味アリ	中	淡紫綠	中	長紡錘形稍屈曲ス	濃紅	白稍粘質	少	中
和蘭藷	三角形	中	淡綠	中	淡綠赤味アリ僅ニ	稍盛	長形屈曲ス	帶微紅黃白	黃白粘質	多	中
鎌倉	心臟形僅ニ欠刻アリ	中	濃綠表面赤味ヲ帶ブ	中	綠僅カニ赤味アリ	中	長紡錘形	微紅黃白色	白粘質	中	中
屋久島	稍楓葉ニ似タリ幅廣シ欠刻アリ	中	濃綠表面心葉赤色	中	綠僅カニ赤味アリ	中	全右蚯蚓狀ノ線アリ	淡紅色	中心黃白稍橙ノ班アリ稍粘質	中	中
シカゴ藷	朝顏ノ葉ニ似タリ欠刻深シ	小	淡綠	小	淡綠	弱	短紡錘形	橙黃	淡橙黃粘質	中	稍良
蔓無藷	楓葉狀欠刻深シ	中	綠	中	綠	弱	藷ノ發育ヲ見ズ				

二、收　量

收穫期　十二月五日

種名	成リ付ノ遠近	收量（反當）重量	收量（反當）數	平均一株當 重量	平均一株當 數	順位
中原	中	一•〇六五•〇〇〇貫	三•八〇〇個	一八七匁	四•二本	一二
松川	遠	一•二七五•〇〇〇	一八•六〇〇	三六	三•四	一四

四十日白藷	遠	九六九・〇〇〇	二二・二〇〇	一七九	四・一	一五
四十日赤藷	中	一・二五四・〇〇〇	二二・五〇〇	一五四	三・二	六
高須モヘ藷	近	八二一・〇〇〇	一七・四〇〇	二三四	三・四	二一
川越藷	中	一・二六九・〇〇〇	一八・六〇〇	二三七	三・八	二〇
赤藷	中	八四六・〇〇〇	二〇・四〇〇	二五六	四・六	二
落花藷	中	一・二六〇・〇〇〇	二四・一〇〇	一六九	二・六	一七
臺灣	近	九二五・〇〇〇	一六・八〇〇	三八二	三・一	一
赤白藷	稍遠	二・〇四〇・〇〇〇	二〇・四〇〇	一八六	三・八	一三
二十日藷	中	一・〇〇五・〇〇〇	一九・八〇〇	一八六	三・七	一二
坂下川	中	一・〇一四・〇〇〇	一五・三〇〇	一八四	三・二	一四
源地	近	九六九・〇〇〇	二一・九〇〇	一七五	四・〇	一六
在來種	中	九四五・〇〇〇	一七・四〇〇	一四一	三・二	一三
花赤粉	遠	七六五・〇〇〇	一九・五〇〇	二二四	三・六	八
暗川	中	一・一五五・〇〇〇	一五・〇〇〇	一六七	二・八	一八
大屋小	近	九〇〇・〇〇〇	二六・一〇〇	二〇二	四・八	一〇
ガケ藷	近	一・〇九五・〇〇〇	一八・九〇〇	二二三	三・五	七
和蘭藷	近	一・二〇〇・〇〇〇	二五・五〇〇	二三九	四・七	三
鎌倉	近	一・二九〇・〇〇〇	一八・三〇〇	二一一	三・四	九
屈久島	近	一・一四〇・〇〇〇	一五・三〇〇	一五三	二・八	三
シカゴ藷	中	八一九・〇〇〇	二四・三〇〇	一六四	四・五	一九
蔓無藷		八八五・〇〇〇				二四

右ノ表ニ據レハ收量ニ於テ最モ多キハ臺灣種ニシテ赤藷和蘭藷松川藷等之ニ亞キ尾久島在來種等ハ少ナク蔓無藷ハ殆ト藷ノ發育ヲ見ス又品質ニアリテハ川越源地ノ兩種共ニ最良ナリ

一七、馬鈴薯

耕種梗概

下種期　二月下旬

下種量　反當三十貫

整地及下種法　幅四尺五寸ノ畦ニ整地シ之ニ縱二條株間一尺ノ間隔ヲ以テ種薯ヲ横向トシテ播下シ元肥ヲ施シ覆土セリ

肥料　反當施用量左ノ如シ

肥料名	總量	元肥	追肥 第一回	追肥 第二回	追肥 第三回	窒素	燐酸	加里
堆肥	二〇〇・〇〇〇貫	二〇〇・〇〇〇貫	—	—	—	一・〇〇〇貫	〇・五二〇貫	一・二六〇貫
大豆粕	一五・〇〇〇	一〇・〇〇〇	—	五・〇〇〇貫	—	一・〇五〇	一・六五〇	〇・三〇〇
過燐酸	一〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	—	—	—	—	一・五〇〇	—
木灰	一〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	—	—	—	—	〇・七八〇	一・三四〇
人糞尿	一〇〇・〇〇〇貫	—	一〇〇・〇〇〇貫	—	一〇〇・〇〇〇貫	一・一四〇	〇・六二〇	〇・五四〇
計						三・一九〇	三・三五〇	四・四四〇

追肥中耕土寄左ノ如シ

第一回　追肥　三月下旬

第二回　追肥中耕　四月中旬

第三回　追肥土寄　四月下旬

第四回　土寄　五月中旬

試驗項目

(イ) 增收試驗

目的　本試驗ハ多收穫的栽培ノ方法ヲ實地ニ示スニアリ

設計　左記三種ノ有望種ヲ選擇シ各區二十歩宛ヲ以テ試作セリ

耕種法　大要前記梗概ニ記載シタル所ニ似タリト雖モ今異ナル点ノミヲ記スレハ左ノ如シ

株間　六寸

肥料　反當施用量左ノ如シ

肥料名	總量	追肥 第一回	追肥 第二回	追肥 第三回	窒素	燐酸	加里
堆肥	三〇〇・〇〇〇貫	—	—	—	一・五〇〇貫	〇・七八〇貫	一・八九〇貫
大豆粕	二〇・〇〇〇	—	一〇・〇〇〇貫	—	一・三九〇	〇・一四〇	〇・四八〇
過燐酸	一〇・〇〇〇	—	—	—	—	一・五〇〇	—
硫酸アンモニア	二〇・〇〇〇	—	—	—	一・一四〇	〇・七八〇	二・三四〇
人糞尿	二〇〇・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇貫	—	一〇〇・〇〇〇貫	—	〇・二六〇	〇・五四〇
合計					四・〇二〇	三・四六〇	五・二五〇

成績　左表ノ如シ

品種名	收穫期	大小別	收量(反當) 重量	收量(反當) 個數	塊莖ノ平均大サ 縱	塊莖ノ平均大サ 横	塊莖ノ平均大サ 高	塊莖ノ平均大サ 重	最多一株ノ生産量 重量	最多一株ノ生産量 個數	平均一株ノ生産量 重量	平均一株ノ生産量 個數
柳河白	六月廿七日	大	三三一・一〇〇貫	一四・三一〇個	三・〇寸	一・六寸	一・四寸	二三匁	—	—	—	—
		中	三一〇・五〇〇	二七・〇〇〇	二・三	一・四	〇・七	二三	—	—	—	—
		小	一四八・五〇〇	三六・〇〇〇	一・四	一・〇	〇・九	四	—	—	—	—
		計	七九〇・二〇〇	七七・三一〇	—	—	—	—	三六五匁	一七個	九七匁	一〇個
長崎赤	六月廿七日	大	四五六・三〇〇	一三・三一〇	二・四	二・〇	三四	—	—	—	—	—
		中	三七六・二〇〇	一七・一	一・七	一・五	一五	—	—	—	—	—
		小	一九六・二〇〇	四〇・五〇〇	一・一	一・三	一・一	五	三五五	—	—	一〇
		計	一〇二六・五〇〇	七九・三八〇	—	—	—	—	—	—	—	—
アーリーローズ	六月廿七日	大	四〇九・五〇〇	二一・六一〇	二・八	二・〇	一・七	二五	一七	—	—	一七
		中	二五八・三〇〇	一五・七五〇	一・七	一・四	一・〇	一七	—	—	—	—
		小	一七四・六〇〇	三一・八五〇	一・〇	一・三	〇・五	一五	—	—	—	—
		計	八四一・四〇〇	六〇・二一〇	—	—	—	—	二六〇	一一	一四	八

(ロ) 株間ノ廣狹對種薯ノ大小比較試驗

目的　本試驗ハ左記二區ノ收量ノ差異ヲ比較スルニアリ

試驗區別　左ノ如シ

第一區　株間ヲ一尺二寸トシ

第二區　株間ヲ六寸トシ

供試品種　柳河白

供試地積　各區拾歩

成績　左表ノ如シ

試驗區別	收穫期	收量(反當) 重量	收量(反當) 個數	大薯 重量	大薯 個數	中薯 重量	中薯 個數	小薯 重量	小薯 個數	順位
第一區	六月廿七日	三六八・三五貫	四八四・五〇個	三九・四六五貫	五五・八九〇個	一三九・三七五貫	五七・七一五個	一七四・八二五貫	一六・六五〇個	二
第二區	六月廿七日	四八四・二〇〇	五五・八九〇	一三五・二〇〇	四・五九〇	二二四・二〇〇	一三・五五〇	一四六・七〇〇	一四・一〇〇	一

(八) 品種比較試驗

目的　本試驗ハ品種ノ優劣ヲ比較スルニアリ

設計　左記ノ五區ニ別チ各區十歩宛トシ施行セリ

成績　左表ノ如シ

品種名	收穫期	早中晩	形狀	芽ノ深淺	外皮ノ色	肉色	薯ノ整否	收量
ホワイトシチー	七月九日	晩	扁圓	稍淺	微黃白	微黃	齊	二〇八・二五〇貫
アーリーローズ	六月廿八日	早	扁滑圓	稍深	微紅	淡黃	稍齊	一〇五・七五〇
アメリカンウオンダー	七月三日	中	長圓	深	微紅白	白	否	一〇〇・〇〇〇
ピーター	六月廿八日	早	圓形	淺	微黃白	微黃白	否	一七二・二五〇
スノーフレーキ	六月廿八日	早	長扁圓	淺	微黃白	白	否	八六・二五〇

備考　右試驗ニ供シタル種子ハ北海道ヨリ取寄セタルモノニシテ種薯ノ到着遲レタル爲下種期著ク遲延シ四月廿ク日栽植シタルヲ以テ株ハ充分ノ發育ヲ遂ゲルニ至ラスシテ終レリ

一八、促成並ニ軟化栽培

目的　促成並ニ軟化栽培ノ方法ヲ實地ニ示シ併テ之ニ關スル化的ヲ行ヒ指導上ノ參考資料タラシムルヲ目的トス

種別　栽培シタル種別ハ左ノ如シ

	種類名	品種名
第一、	胡瓜	刈羽胡瓜、針ヶ谷胡瓜、早生節成胡瓜
第二、	菜豆	ロングフェロー、長鶉菜豆、其他四種
第三、	苺	ピクトリヤ、ドクトルモーレル 外三種
第四、	蠶豆	白芽種 外一種
第五、	蕗	早生蕗
第六、	芋	ズイキ芋
第七、	大豆	

一九、見本栽培

目的　本栽培ハ廣ク蔬菜類ノ品種ヲ蒐メ之カ一般栽培ノ方法ヲ實地ニ示スト同時ニ各種ノ特性及ヒ優劣ヲ調査シ併テ諸試驗並ニ實地指導上ノ參考資料タラシムルニアリ

作付反別　一品種ニ付一坪乃至十坪

種別　栽培ニ供シタル種類ノ主ナルモノ左ノ如シ

種類名	品種名
(1)亞米利加防風	ホーロー、クローン、インブルーブド、ガンデー
(2)波羅門參	オフエン、ハイム、マーケット
(3)火焔菜	ラージ、ホワイトフレンチ
	エクリップス
	エザプチアン
(4)牛蒡	赤莖瀧ノ川牛蒡、白莖砂川牛蒡、獨乙白牛蒡
	梅田牛蒡
	大浦牛蒡
(5)蕪菁	伊豫緋蕪、パープル、トップ、ホワイト、ゲローブ
	ゴールデン、ボール
	ルタバカ
	大野蕪
(6)早芹菜	チャンピオン、ムスカールド
	ダブル、カールド
	エメラルド
(7)蘿蔔	辛味大根
	青大根
	大紅大根
	小紅大根
	岩國紅大根
(8)塘蒿	ジャイアント、パスカル
	ホワイト、ブルーム
	ゴールデン、セルフ、ブランチング
(9)二十日大根	スカーレット、ゲローブ
	エロー、ゲローブ
	ホワイト、ターニップ
	ロング、スカーレット
	クリムソン、ボール
	ホワイト、アイシクル

(10) 萵苣
- メーキングピックポストン
- デーコン
- サラマンダー
- オールシーズン
- マッチレス
- アーリーシムソン

(11) 蔊菜

(12) エンデーブ
- ホワイト、カールド
- ジャイアント、グリーン、フリンジト

(13) コスレッチース
- パリスホワイト
- エッキスプレス

(14) コラード
- ジョルジヤ
- ウィツ、ルーフ

(15) チユコリー

(16) コーンサラド
- ラウンド、リーブド

(17) 蒲公英

(18) 茴蒿
- 改良カルチベート

(19) クレス
- コンモン
- アプランド、クレス

(20) 薔香

(21) 芥菜類
- 大芥菜
- 黄芥菜
- 柳河高菜
- 縮緬高菜
- 青菜
- 鰛山潮菜

(22) 鴨兒芹

(23) 石刀柏
- コロッサル
- パルメットー
- ボールテン、アイランド

(24) 土當歸
- 白芽種
- 赤芽種

(25) 蕺荷

(26) 蘆
- 在來種
- 早生蘆

(27) 食用大黄
- マイアッツ、ビクトリア

(28) 料理菊

(29) 朝鮮薊
- ラージ、グリーン、グローブ

(30) 紫蘇
- 青縮緬紫蘇
- 赤縮緬紫蘇
- 大葉赤紫蘇
- 早生紫蘇

(31) 落花生
- 大粒種
- 小粒種

(32) 觀當南瓜

(33) 冬瓜

(34) 苦瓜

(35) 糸瓜
- 大糸瓜
- 角糸瓜

(36) 甜瓜
- 梨瓜
- 金瓜
- 蜜瓜
- 甜瓜
- マスクメロン（其他マッチレス）

(37) オクラ
- ロンゲ、グリーン

(38) 菠薐草
- 日本菠薐草
- ロンゲ、スタンデンゲ、ラウンド
- ビクトリヤ
- サボイ、リーブド

(39) 蒸菜
- 丸葉
- 尖葉

(40) 子持甘藍
- アメリカン、ブラック
- パリス、マーケット
- マツチレス

(41) 蕪菁甘藍
- ショート、トップ、グリーン
- アーリー、ホワイト、ヴェンナ
- アーリー、パープル、ヴェンナ
- ミツケルスホワイト
- ウインター、マンモース
- サッテスファクション

(42) 木立花椰菜

(43) 花椰菜
- アーリー、スノーボール
- ペスト、アーリー
- キング、オブ、コウリフラワー

(44) 玉蜀黍
- ポカホンタス
- ゴールデン、ロット
- ストウエルス、エバアグリーン、
- ブラック、メキシカン、
- 札幌黄八行
- 甲州
- 早生玉蜀黍

(45) 鶉豆
- 白花鶉豆
- 赤花鶉豆
- 蔓無鶉豆

(46) 刀豆
- 白花刀豆
- 赤花刀豆
- 蔓無刀豆

(47) 豇豆
- 十六豇豆
- 廿六豇豆
- 黒六尺豇豆
- 蔓無豇豆

(48) 菜豆
- シイバアアイデアル
- ラージ、ホワイト、リマキング、オブ、ゼ
- ガーデン、ボールリマ

(48) 蚕豆
- 一寸蚕豆
- 大蚕豆
- 早生蚕豆

(50) 蹄豆
- アラスカ
- テレフオン
- 佛國大絹莢蹄豆
- 札幌大絹莢蹄豆
- 臺灣大莢蹄豆
- 米國大莢蹄豆

(51) 菜豆
- 鶉菜豆
- 金時菜豆
- 鈴成菜豆
- ケンタッキー、アーリージューン
- ケンタッキー、ウオンダー
- ゴールデン、ワックス

(52) 枝豆
- 極早生枝豆
- 早生大莢枝豆
- 中生大莢枝豆
- 早生黒魁
- 早生青魁
- 早生黒目大莢
- 土用豆
- 彼岸豆
- 晩生大莢豆
- 大莢鶏ノ子

(53) 韮蕎
- ジャイアント、ムツセルブルグ
- モンストラス
- アメリカン、ブラック

(54) 藥味草類
- セイジ
- フエンネルスウヰート
- マジョランスウヰート

(55) 千筋京菜

(56) 小松菜

(57) 壬生菜

(58) 草莓
- ドクトル、モーレル、
- ビクトリヤ
- モナーク
- 其他數種

59 蕃椒

鷹ノ爪
日光
八ツ房
トマト、ペッパー
エーポリタン
チャイニス、ジャイアント
バアバンク大蕃椒

第二 果樹

一、梨樹整枝試驗

目的　本試驗ハ梨樹ニ對スル各種ノ整枝法ヲ實地ニ示シ併テ其優劣ヲ比較スルニアリ

整枝ノ區別　左ノ如シ

棚仕立
水平コルドン仕立
直立コルドン仕立
斜生コルドン仕立
ダイヤモンド仕立
斜生パルメット仕立
水平パルメット仕立
扁狀形仕立
直立パルメット仕立
カンデラーブル仕立
單U字形仕立
複U字形仕立

二、梨樹品種比較試驗

目的　本試驗ハ梨樹ニ對スル一般栽培ノ方法ヲ實地ニ示スト同時ニ各品種ノ特性並ニ優劣ヲ調査比較シ併テ諸試驗並ニ實地指導上ノ參考資料タラシムルニアリ

供試品種　主ナルモノ左ノ如シ

市原早生
博多青
瘤逸
長十郎
明月
早生赤
晩三吉
世界一
キューファー
ルコント
フランス
ウインターネリス

今村夏
太白
太平
赤龍
パートレット
ジュセスダンアレー
ルイス、ボン又、ド、セルシー

三、葡萄品種比較試驗

目的　本試驗ハ葡萄栽培ノ方法ヲ實地ニ示スト同時ニ各品種ノ特性並ニ優劣ヲ調査比較シ併テ實地指導上ノ參考資料タラシムルニアリ

供試品種　主ナルモノ左ノ如シ

ダイアナ
グリーンマウンテン
ベーリー
カトウバ
ナイヤガラ
レディーソシントン
キャンベルス、アーリー
セシカ
ベーコン
ハイランド
ムーアスダイヤモンド
チャンピオン

四、葡萄ノ硝子室內栽培

硝子室ニ於ケル葡萄栽培ノ方法ヲ實地ニ示スヲ目的トシ、マスガット、オブ、アレキサンドリア外數品種ヲ栽培セリ

第三 花卉其他

花卉、庭園等ノ娛樂園藝ハ近時時勢ノ進運ニ伴ヒ大ニ世人ノ注意ヲ喚起スルニ至レリト雖モ更ニ其發達ヲ促シ且ツ之ニ關スル諸種ノ調査ヲ行ヒ斯業經營者ノ參考ニ供シ併テ優良種苗ノ配布ヲ目的トシ實施セリ

化學之部

化學之部

第一　土壤調査

(一)、分析調査、大正八年度ニハ全部完了シ目下發表進行中ナリ

(二)、依托試驗、歐洲戰亂ノ結果試驗ニ要スル加里肥料硫酸加里ノ輸入杜絶ノ爲メ一時中止ノ築上、嘉穗、宗像、八女、三池、山門ノ六郡及糸島郡ヲ同一設計ニ依リ繼續シ尙新ニ京都、企救、田川、鞍手、遠賀、粕屋、筑紫、早良、三井、朝倉、三潴、浮羽ノ十二郡ニ設定執行セリ試驗ノ種類ヲ燐酸肥効試驗、加里肥効試驗石灰肥効試驗ノ三種ニ分テリ

(イ)燐酸肥効試驗

試驗地　糸島郡周船寺村大字飯氏小字柳九〇四番地

地主及作人　末松吉太郎

試驗地區劃……{完全肥料區　五畝歩 / 無燐酸區　五畝歩}

大正七年麥作（竹下種）

施肥量（反當）

	無燐酸區	元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
堆肥		二〇〇、〇〇	—	—
大豆粕		一四、〇〇	—	—
下肥		二荷	二荷	一荷
木灰		二〇、〇〇	—	—

完全肥料區

堆肥	二〇〇、〇〇				
大豆粕肥	一四、〇				
下肥	二荷				
木灰	一〇、〇〇				
過燐酸石灰 (15%)	二〇、〇〇				

成績（反當收量）

		無燐酸區	完全肥料區
種實容量（石）		一、三八八	二、三〇〇
種實重量（貫）		五四、一一三	七三、五〇〇
莖稈重量（貫）		六三、〇七五	一〇一、二五〇

以上成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ種實反當九斗一升二合ノ增收ヲ從タリ

試驗地　宗像郡河東村大字平等寺中坪四七四番地

地主及作人　吉田鶴松

試驗地區劃……｛完全肥料區　五畝歩　無燐酸區　五畝歩

大正七年蓼蓼作（大朝鮮種）

施肥量（反當）

	無燐酸區	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕肥	一五、〇〇		
下肥	二〇、〇〇		
木灰	二荷	二荷	一荷
過燐酸石灰肥 (5%)			

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕肥	一五、〇〇		
過燐酸石灰肥 (一五%)	八、〇〇		
木灰 (五%)	二〇、〇〇		
下肥	二荷	二荷	一荷

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
種實容量（石）	〇、六七五	〇、八四〇
種實重量（貫）	二〇、七七四	三三、七五〇〇
莖稈重量（貫）	二四、〇〇〇	三七、二〇〇〇

右成績ニヨルニ反當過燐酸石灰八貫施用ニヨリ反當二斗三升五合ノ增收ヲ得タリ、

試驗地　八女郡光友村大字谷川小字大町一一三〇番地

地主及作人　井上久吉

試驗地區劃……｛完全肥料區　三畝　無燐酸區　三畝

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

	無燐酸區	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕肥	一五、〇		
下肥	二荷	二荷	一荷
木灰 (五%)	二〇、〇		

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇				
菜種粕	一五、〇〇				
下肥	二荷				
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	二荷			
木灰（五%）	二〇、〇〇				

成績（反當收量）

		無燐酸區	完全肥料區
種實容量（石）		一、九一三	二、一三八
種實重量（貫）		六三、〇〇〇	七〇、五〇〇
莖稈重量（貫）		九九、〇〇〇	一〇五、〇〇〇

但四坪刈取リテ收量ヲ調査シ反當ニ換算セリ

右成績ニヨルニ過燐酸石灰反當十貫施用ニヨリ反當二斗二升五合ノ增收ヲ得タリ、

試驗地　八女郡岡山村大字今福字尾田一二三八番地

地主及作人　松延太作

試驗地區劃……（完全肥料區　五畝）（無燐酸區　五畝）

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

	無燐酸區	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇〇	—	—
菜種粕	一五、〇〇	—	—
下肥	二荷	—	—
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	—	一荷
木灰（五%）	二〇、〇〇	—	—

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
種實容量（石）	一、二九〇	一、三〇〇
種實重量（貫）	四二、〇〇〇	五一、〇〇〇
莖稈重量（貫）	六五、一〇〇	六六、〇〇〇

但シ四坪刈トシ反當ニ換算セリ

以上成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當一升ノ相異ニシテ燐酸肥効明カナラス

試驗地　山門郡瀨高町大字松田小字樋ノ口三二五番地

地主及作人　堤彌太郎

試驗地區劃……（完全肥料區　六畝）（無燐酸區　六畝）

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

	無燐酸區	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇	—	—

菜種油粕	一五、〇				
下肥	二荷				
木灰（五%）	二〇、〇				

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇				
菜種油粕	一五、〇〇				
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇				
木灰	二〇、〇〇				
下肥	二荷				

成績（反當收量）

無燐酸區

種實容量（石）	一、九二〇				
種實重量（貫）	六〇、六七二				
莖稈重量（貫）	六〇、四八〇				

完全肥料區

種實容量（石）	二、〇四〇				
種實重量（貫）	六五、二八〇				
莖稈重量（貫）	六三、〇〇〇				

但シ収量ハ四坪刈取リ反當ニ換算セリ

右成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當一斗二升ノ増収ヲ得タリ

試驗地　山門郡大和村大字六合向碇五六二番地

地主及作人　米田松平次

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

無燐酸區	第一回追肥	第二回追肥			
菜種油粕	一五〇、〇〇				
堆肥	二荷				
下肥	二荷				
木灰	一荷				

堆肥	二〇、〇				
菜種油粕	一五〇、〇〇				
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇				
下肥	二荷				
木灰（五%）	二〇、〇				

完全肥料區

種實容量（石）	二、一三〇				
種實重量（貫）	七二、八四六				
莖稈重量（貫）	六二、〇〇〇				

但シ四坪刈取リ之レヲ反當ニ換算セリ

右成績ニヨレハ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當一斗八升ノ増収ヲ得タリ

試驗地　三池郡飯江村大字飯江小字黒岩二〇二番地ノ一

地主及作人　松尾熊藏

試驗地區劃……（無燐酸區）三畝十八歩（完全肥料區）三畝十八歩

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

無燐酸區	第一回追肥	第二回追肥			
菜種油粕	一荷				
堆肥	二荷				
下肥	二荷				
木灰	一荷				

試驗地區劃……無燐酸肥料區……完全肥料區

大正七年麥作（稈麥竹下種）

施肥量

試驗地及作地　筑上郡八津田村大字東八田小字長石一二七番地

試驗地及作人　筑上郡八津田村大字東八田小字長石一二七番地

以上成績ハ過燐酸石灰ヲ反當十貫ノ割ニ換算セリ

但シ四坪刈取リ調査シ之レヲ反當ニ換算セリ

蓙種種稈實實重重量量量（石貫貫）	成績（一五%）	反當收量（無燐酸區）	木過下柴堆燐酸石灰肥（一五%）	種油粕肥完全肥（一五%）	木下柴堆種油粕肥料（一五%）
二〇〇六三五四	無燐酸區	二〇〇、〇〇〇荷	一〇〇、二五〇、〇〇〇荷	一〇〇、二五〇、〇〇〇貫	一〇〇、二五〇、〇〇〇荷
一一一四	第一回追肥	二荷	二荷	二荷	二荷
一一一一	第二回追肥	一荷	一荷	一荷	一荷

試驗地區劃……無燐酸肥料區……完全肥料區

大正七年麥作（稈麥）

施肥量

試驗地主及作人　嘉穗郡桂川村大字土師小字影塚　吉井德平

右成績ハ過燐酸石灰ヲ反當十貫ノ割ニ換算セリ

但シ四坪刈取リ調査シ之レヲ反當ニ換算セリ

蓙種種稈實實重重量量量（石貫貫）	成績（一五%）	反當收量（無燐酸區）	木過下柴堆燐酸石灰肥（一五%）	種油粕肥完全肥（一五%）	木下柴堆種油粕肥料（一五%）
一六三五〇〇〇	無燐酸區	九四一、九〇五、〇〇〇荷	一五〇、二五〇、〇〇〇荷	一五〇、二五〇、〇〇〇荷	一五〇、二五〇、〇〇〇荷
一一一一	二荷	二荷	二荷	二荷	二荷
一一一一	一荷	一荷	一荷	一荷	一荷

無燐酸區

	元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇		
木下灰（五%）	二〇、〇〇	二荷	一荷

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇	二荷	一荷
木下過燐酸石灰（一五%）	二〇、〇〇		

成績（反當收量）

無燐酸區

種實容量（石）	一、三五〇
種實重量（貫）	五一、三〇〇
莖稈重量（貫）	六〇、〇〇〇

完全肥料區

種實容量（石）	一、九五〇
種實重量（貫）	八〇、九一〇
莖稈重量（貫）	六九、〇〇〇

但四坪刈取リ反當ニ換算セリ

以上成績ニヨルニ反當過燐酸石灰拾貫施用ニヨリ反當種實六斗ノ增收ヲ得タリ燐酸ノ肥効大ナルヲ知ルベシ

試驗地　築土郡西吉富村大字成垣小字サクゲン田二三六番地

地主及作人　井上富太郎

試驗地區劃……（無燐酸區二畝十五歩　完全肥料區二畝十五歩）

大正七年麥作（稈麥竹下種）

施肥料（反當）

無燐酸區

	元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇〇		
菜種抽粕	一五、〇〇	二荷	一荷
木下灰肥（五%）	二〇、〇〇		

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇	二荷	一荷
木下過燐酸石灰肥（一五%）	二〇、〇〇		

成績（反當收量）

無燐酸區

種實容量（石）	一、五〇〇
種實重量（貫）	六〇、〇〇〇
莖稈重量（貫）	五七、〇〇〇

完全肥料區

種實容量（石）	二、一〇〇
種實重量（貫）	八五、五〇〇
莖稈重量（貫）	七二、〇〇〇

但收量ハ四坪刈取リ之レヲ反當ニ換算セリ

右成績ニヨルニ過燐酸石灰反當十貫施用ニヨリ反當種實六斗ノ增收ヲ得タリ

試驗地　朝倉郡大福村大字長淵字藥手一六二〇番地

地主及作人　坂田市藏

試驗地區劃……（無燐酸區五畝歩　完全肥料區五畝歩）

大正八年稲作（神力種）

施肥料（反當）

	元肥（貫）	追肥（貫）
無燐酸區		
廐肥	一〇〇、〇	—
大豆粕	二一、〇	七、〇
硫酸加里（42%）	四、〇	—
完全肥料區		
廐肥	一〇〇、〇	—
大豆粕	二一、〇	七、〇
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇	—
硫酸加里（42%）	四、〇	—

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾容量（石）	六、七八〇	七、一一〇
籾重量（貫）	一八三、〇六〇	一九六、二三七
玄米容量（石）	三、四八七	三、六二二
玄米重量（貫）	一三五、三七五	一三八、三七五
藁重量（貫）	三七八、九〇〇	三八一、三〇〇

右成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當玄米一斗三升五合ノ增收ヲ得タリ尚追テ報告セン

試驗地　朝倉郡三輪村大字高田字福正デ五六九ノ一番地

地主及作人　川波正太郎

試驗地區劃……｛無燐酸區　五畝歩
　　　　　　　　完全肥料區　五畝歩

大正八年稲作（神力種）

肥料（反當）

	元肥（貫）	追肥（貫）
無燐酸區		
堆肥	二〇〇、〇	—
大豆粕	二一、〇	七、〇
硫酸加里（四二%）	四、〇	—
石灰	—	二〇、〇
完全肥料區		
堆肥	二〇〇、〇	—
大豆粕	二一、〇	七、〇
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇	—
石灰	—	二〇、〇

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾容量（石）	五、一九〇	四、八七五
籾重量（貫）	一四五、三二〇	一三一、六一〇
藁重量（貫）新鮮	七八九、〇〇〇	七五〇、〇〇〇

右成績ニヨレバ却テ減收ナレドモ病虫害等ニヨリ成績不明ナリ

試驗地　三井郡上津荒木村大字藤光字一丁田八〇五番地

地主及作人　岡藤七

試驗地區劃……｛無燐酸區　五畝歩
　　　　　　　　完全肥料區　五畝歩

大正八年稲（神力種）

施肥量（反當）

無燐酸區

	元肥（貫）	追肥（貫）
厩肥	一〇〇、〇	
大豆粕	二一、〇〇	七、〇
硫酸加里（四二%）	四、〇〇	

完全肥料區

	元肥（貫）	追肥（貫）
厩肥	一〇〇、〇	
大豆粕	二一、〇〇	七、〇
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	
硫酸加里（四二%）	四、〇〇	

成績（反當收量）

無燐酸區

	容量（貫）	重量（石）	玄米重量（石）	玄米容量（貫）	藁重量（貫）
籾	一五九、〇〇〇	五、八五〇	三、〇九八	一一、六七五	一三五、九七五

完全肥料區

	容量（貫）	重量（石）	玄米重量（石）	玄米容量（貫）	藁重量（貫）
籾	一六八、〇〇〇	六、〇〇〇	三、二六三	一二、八五〇	一三八、三七五

以上成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當玄米一斗六升五合ノ増收ヲ得タリ

試驗地　三井郡三國村大字津古字半女等一四六八番地合併一四七二

地主及作人　山村利吉

試驗地區劃……（無燐酸區）五畝歩……（完全肥料區）五畝歩

大正八年稲作（神力種）

施肥量（反當）

無燐酸區

	元肥（貫）	追肥（貫）
厩肥	一〇〇、〇	
大豆粕	一〇〇、〇	
硫酸加里（四二%）	四、〇〇	一四、〇

完全肥料區

	元肥（貫）	追肥（貫）
厩肥	一〇〇、〇	
大豆粕	一〇〇、〇	
過燐酸石灰（一五%）	一四、〇〇	一四、〇
硫酸加里（四二%）	一〇、〇〇	
	四、〇〇	

成績（反當收量）

無燐酸區

	容量（貫）	重量（石）	玄米重量（石）	玄米容量（貫）	藁重量（貫）
籾	一三七、九四〇	四、八九七	三、〇四五	一二、二七八	一五〇、〇〇〇

完全肥料區

	容量（貫）	重量（石）	玄米重量（石）	玄米容量（貫）	藁重量（貫）
籾	一五四、八六八	五、四九〇	三、二一八	一二、〇八八	一五四、五〇〇

右成績ニヨルニ過燐酸石灰反當十貫加用ニヨリ玄米反當一斗七升三合ノ増收ヲ得タリ、尙追テ報告セン

試驗地　遠賀郡岡垣村大字吉木字久保田九七八番地

地主　廣渡福重

作人　木村鶴松

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）
　　（完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

無燐酸區

	元肥（貫）	追肥（貫）
堆肥	二〇〇、〇〇〇	—
大豆粕	一七、五〇〇	三、五〇〇
硫酸加里（四二%）	四、〇〇〇	—

完全肥料區

	元肥（貫）	追肥（貫）
堆肥	二〇〇、〇〇〇	—
大豆粕	一七、五〇〇	三、五〇〇
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇〇〇	—

成績（反當收量）

無燐酸區

籾重量（貫）	三、八八五	四、〇九二
玄米重量（石）	九一、五〇〇	九九、三七五
玄米容量（石）	二、二五〇〇	二、四〇〇〇
藁重量（貫）	一三七、七〇〇〇	一四七、六〇〇〇
	一二八、六二五	一四五、〇五〇〇

完全肥料區

右成績ニヨルニ過燐酸石灰反當十貫施用ニヨリ玄米反當一斗五升ノ增收ヲ得タリ

試驗地　遠賀郡折尾町大字永丈丸字香ノ子二九六五番地

地主及作人　延武千太郎

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）
　　（完全燐料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

無燐酸區

	元肥（貫）	追肥（貫）
堆肥	二〇〇、〇〇〇	—
大豆粕	一一、〇〇〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇〇〇	—

完全肥料區

	元肥（貫）	追肥（貫）
堆肥	二〇〇、〇〇〇	—
大豆粕	二一、〇〇〇	—
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇〇〇	—

成績（反當收量）

無燐酸區

籾重量（貫）	五、七四五	五、二八八
玄米重量（石）	一五四、五七五	一四二、七二五
玄米容量（石）	三、一一三	二、九一八
藁重量（貫）	一一九、一七五	一一二、〇五〇
	二一〇、七五〇	一九二、〇〇〇

完全肥料區

右成績ニヨルニ完全肥料區却テ減收セリ之レ病虫害ニヨリ成績判明セザルモ燐酸ノ肥効著シカラザルヲ知ル

尙追テ報告セン

試驗地　京都郡祓郷村大字草場字下コケ

作人　秋滿幸太郎

大正八年稻作（神力種）

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）（完全肥料區　五畝歩）

施肥量（反當）

	無燐酸區 元肥（貫）	追肥（貫）	完全肥料區 元肥（貫）	追肥（貫）
厩肥	一〇〇、〇〇〇	—	一〇〇、〇〇〇	—
大豆粕	二一、〇〇〇	—	二一、〇〇〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇〇〇	—	四、〇〇〇	—
厩肥	一〇〇、〇〇〇	—	一〇〇、〇〇〇	—
大豆粕	二一、〇〇〇	—	二一、〇〇〇	—
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇〇〇	—	四、〇〇〇	—

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾重量（石）	四、一一〇	四、五〇〇
玄米重量（貫）	一一六、七二四	一三〇、五〇〇
籾重容量（石）	二、三一〇	二、八六五
玄米重容量（貫）	八七、五四九	一〇八、八七〇
藁重量（貫）	一三五、七五〇	一五三、〇〇〇

右成績ニヨル反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當玄米五斗三升七合ノ增收ヲ得タリ

試驗地　京都郡延永村大字長木字六石

地主及作人　吉武龜藏

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）（完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

	無燐酸區 元肥（貫）	追肥（貫）	完全肥料區 元肥（貫）	追肥（貫）
厩肥	一〇〇、〇〇〇	—	一〇〇、〇〇〇	—
大豆粕	二一、〇〇〇	—	二一、〇〇〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇〇〇	—	四、〇〇〇	—
厩肥	一〇〇、〇〇〇	—	一〇〇、〇〇〇	—
大豆粕	二一、〇〇〇	—	二一、〇〇〇	—
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇〇〇	—	四、〇〇〇	—

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾重量（石）	四、一一〇	四、五〇〇
玄米重量（貫）	一一六、七二四	一三〇、五〇〇
籾重容量（石）	二、三一〇	二、八六五
玄米重容量（貫）	八七、五四九	一〇八、八七〇
藁重量（貫）	一三五、七五〇	一五三、〇〇〇

右成績ニヨルニ無燐酸區ト完全肥料區トノ差異ハ玄米ニ於テ反當五斗五升五合ナリ燐酸ノ肥効著シ

試驗地　田川郡糸田村大字鼠ヶ池字見立五三八番地

地主及作人　二田水繁雄

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）（完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）	無燐酸區	完全肥料區
堆肥	元肥（貫）	追肥（貫）
大豆粕	二〇〇、〇〇	—
硫酸加里（四二%）	二一、〇〇	—
石灰	四、〇〇	二五、〇
過燐酸石灰（一五%）（四二%）	一〇、〇〇	—
硫酸加里	四、〇〇	—
堆肥	二〇〇、〇〇	—
大豆粕	二一、〇〇	—
過燐酸石灰（一五%）（四二%）	一〇、〇〇	—
硫酸加里	四、〇〇	—
成績（反當）	無燐酸區	完全肥料區
籾容量（石）	一五〇、一八〇	一六〇、八〇
玄米重量（貫）	四、五九〇	五、四六〇
玄米重量（石）	二、三四〇	二、四六〇
藁重量（貫）	八四、三〇〇	九四、五〇〇
	一七九、九四〇	一〇七、〇〇〇

以上成績ニヨルニ過燐酸石灰反當十貫施用ニヨリ玄米反當一斗二升ノ增收ヲ得タリ

試驗地　田川郡大任村大字大行事字松崎四一七〇番地

地主　原田繁治

作人　佐々木幸三郎

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）（完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）	無燐酸區	完全肥料區
堆肥	元肥（貫）	追肥（貫）
大豆粕	二〇〇、〇〇	—
硫酸加里（四二%）	二一、〇〇	—
石灰	四、〇〇	二五、〇
過燐酸石灰（一五%）（四二%）	一〇、〇〇	—
硫酸加里	四、〇〇	—
堆肥	二〇〇、〇〇	—
大豆粕	二一、〇〇	—
過燐酸石灰（一五%）（四二%）	一〇、〇〇	—
硫酸加里	四、〇〇	—
成績（反當收量）	無燐酸區	完全肥料區
籾容量（石）	四、七二〇	五、一九〇
玄米重量（貫）	一三五、一五〇	一五二、一〇〇

	玄米容量（石）	二、四四五	二、八五〇
	玄米重量（貫）	六七、四二五	七七、〇二五
	藁重量（貫）	九四、二〇〇	一一四、一五〇

右成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當玄米四斗〇五合ノ增收ヲ得タリ

試驗地　三潴郡木室村大字中木室字高瀨町一九一番地

地主　福島伊平

作人　宮原庄八

試驗地區劃……｛無燐酸區　三畝歩／完全肥料區　三畝歩｝

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

	無燐酸區	追肥（貫）
堆肥	二〇〇、〇〇	
大豆粕	二一、〇〇	
硫酸加里（四二%）	四、〇〇	七、〇

完全肥料區

	完全肥料區	追肥（貫）
堆肥	二〇〇、〇〇	
大豆粕	二一、〇〇	
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	
硫酸加里（四二%）	四、〇〇	七、〇

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾容量（石）	四、八七五	五、三九二
籾重量（貫）	一四二、八七五	一五一、八七五
玄米容量（石）	三、〇一五	三、一三五
玄米重量（貫）	一二〇、〇〇〇	一二六、〇〇〇
藁重量（貫）	一六〇、五〇〇	一五九、〇〇〇

以上成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ玄米反當一斗二升ノ增收ヲ得タリ

試驗地　三潴郡安武村大字安武本字古牟田二九九七番地

地主　龜山忠太郎

作人　園田千太郎

試驗地區劃……｛無燐酸區　四畝歩／完全肥料區　四畝歩｝

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

	無燐酸區	追肥（貫）
堆肥	三〇〇、〇〇	
大豆粕	二一、〇〇	
硫酸加里（四二%）	四、〇〇	

完全肥料區

	完全肥料區	追肥（貫）
堆肥	三〇〇、〇〇	
大豆粕	二一、〇〇	
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	
硫酸加里（四二%）	四、〇〇	

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾容量（石）		
籾重量（貫）		
玄米容量（石）		
玄米重量（貫）		
藁重量（貫）		

	容量（石）	重量（貫）
籾	五、二六五	一四四、三七五
玄米	一二、五〇〇	三、一二〇
玄米重量	一九二、〇〇〇	二一、〇〇〇

以上成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當玄米四斗二升ノ増收ヲ得タリ

試驗地　粕屋郡青柳村大字今在家字大坪一五五番地

地主及作人　篠崎龜次郎

試驗地區劃……（無燐酸區　六畝歩）（完全肥料區　六畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

	元肥（貫）	追肥（貫）
無燐酸區	二〇〇、〇	—
硫酸大堆肥	一七、五	一〇、五
硫酸加里粕肥（四二%）	四、〇	—
過燐酸石灰粕肥（一五%）	一〇、〇	一〇、五
硫酸加里（四二%）	四、〇	—

成績（反當收量）

	籾容量（石）	籾重量（貫）	玄米容量（石）	玄米重量（貫）
無燐酸區	五、六三三	一四七、〇〇〇	一〇九、一二五	二、八七三
完全肥料區	五、九一〇	一五九、五二五	一二〇、二二五	三、一二八

以上成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當玄米二斗五升五合ノ増收ヲ得タリ

試驗地　鞍手郡植木町字飯寄一四五四番地

地主　白水トミヨ

作人　大庭傳太郎

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）（完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

	元肥（貫）	追肥（貫）
無燐酸區	二〇〇、〇	—
硫酸大堆肥	二〇〇、〇	—
硫酸加里粕肥（四二%）	二一、〇	—
過燐酸石灰粕肥（一五%）	二〇〇、〇	—
硫酸加里（四二%）	四、〇	—

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾重量（石）	三、九七五	三、九八二
玄米重量（貫）	一一、六六二五	一一、四四五〇
籾重量（石）	二、一一一	二、一一五
玄米重量（貫）	六三、七五〇	六四、三五〇
藁重量（貫）	二六一、五二五	二六四、九七五

右成績ニヨルニ兩區殆ント差異ヲ認メスト雖モ炭坑地ナルヲ以テ試驗地設定後陷落セルヲ以テ成績明カナラス

試驗地　鞍手郡若宮村大字金生字牟田七七五番地

地主　石井房次

作人　和田增吉

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）（完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

	無燐酸區		完全肥料區	
	元肥（貫）	追肥（貫）	元肥（貫）	追肥（貫）
堆肥			二〇〇、〇	—
大豆粕			一〇〇、〇	一〇、五
硫酸加里（四二%）			四〇、五	—
完全肥料區				
堆肥			二〇〇、〇	—
大豆粕			一〇〇、〇	一〇、五
過燐酸石灰（一五%）			一〇〇、五	—
硫酸加里（四二%）			四〇、〇	—

	無燐酸區	完全肥料區
籾重量（石）	四、〇	—
玄米重量（貫）	三、〇〇〇	三、六〇〇
籾重量（石）	八八、〇五〇	一〇三、八〇〇
玄米重量（貫）	一、七九一	二、一三六
藁重量（貫）	八五、五〇〇	九六、〇〇〇

以上成績ニヨルニ反當過燐酸十貫施用ニヨリ玄米反當三斗四升五合ノ增收ヲ得タリ

試驗地　筑紫郡春日村大字小倉字五反間五一番地

地主及作人　稻永久助

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩）（完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

	無燐酸區		完全肥料區	
	元肥（貫）	追肥（貫）	元肥（貫）	追肥（貫）
厩肥			一〇〇、〇	—
大豆粕			一七、五	一〇、五
硫酸加里（四二%）			四、〇	—
完全肥料區				
厩肥			一〇〇、〇	—
大豆粕			一七、五	一〇、五
過燐酸石灰（一五%）			一〇、〇	—
硫酸加里（四二%）			四、〇	—

試驗地區割	大正六年稻作	施肥	反當	以上成績	玄米重容量	玄米重容量	反當收量
硫過大堆肥	硫大堆肥	硫過大堆肥	硫大堆肥	試驗地主及作人	筑紫郡三宅村大字鹽原字牛町一〇四八番地	筑紫郡金武村大字飯盛字昆沙門二二三番地	無燐酸區
燐酸	燐酸	燐酸	燐酸	倉光茂造	森藤政吉	倉光茂造	一一〇二三三五、二一八七〇五五五〇〇〇五〇
燐酸豆加石灰粕肥	燐酸豆加里粕肥	燐酸豆加石灰粕肥	燐酸豆加里粕肥	早良郡金武村大字飯盛字昆沙門二二三番地	重松健次郎	早良郡金武村大字飯盛字昆沙門二二三番地	一一九五五、二二四、二六四二五五〇〇五三〇〇
完全肥料	完全肥料	完全肥料	完全肥料	玄米重容量	玄米重容量	玄米重容量	完全肥料區
四一五%（四二%）	四二%（四一五%）	四二%（四一五%）	四二%（四一五%）	成績	成績	成績	五畝歩
無燐酸區	無燐酸區	無燐酸區	無燐酸區	反當收量（反當數量）	反當收量（反當數量）	反當數量（反當收量）	無燐酸區
五畝歩	五畝歩	五畝歩	五畝歩	石灰十貫施用ニヨリ玄米反當一斗六升五合ノ増収ヲ得タリ	過燐酸石灰十貫施用ニヨリ玄米反當一斗六升五合ノ増収ヲ得タリ	元肥	追肥
二〇一〇、四〇七〇、〇〇五〇（貫）	二一一〇、四〇七〇、〇〇五〇（貫）	二一一〇、四〇七〇、〇〇五〇（貫）	二一一〇、四〇七〇、〇〇五〇（貫）	一一〇二六八、三五七〇五〇〇	一一九四二、六八五〇五〇〇	二一一〇、四〇七〇、〇〇五〇（貫）	二一一〇、四〇七〇、〇〇五〇（貫）

試驗地區割	大正八年稻作	施肥	反當	玄米重容量	玄米重容量	反當收量
硫過大堆肥	硫大堆肥	硫過大堆肥	硫大堆肥	試驗地主及作人	筑紫郡三宅村大字鹽原字牛町一〇四八番地	無燐酸區
燐酸	燐酸	燐酸	燐酸	倉光茂造	森藤政吉	一一〇二三三五、二一八七〇五五五〇〇〇五〇
燐酸豆加石灰粕肥	燐酸豆加里粕肥	燐酸豆加石灰粕肥	燐酸豆加里粕肥	早良郡金武村大字飯盛字昆沙門二二三番地	重松健次郎	一一〇二三三五、二一八七〇五五五〇〇〇五〇
完全肥料	完全肥料	完全肥料	完全肥料	玄米重容量	玄米重容量	完全肥料區
四一五%（四二%）	四二%（四一五%）	四二%（四一五%）	四二%（四一五%）	成績	成績	五畝歩
無燐酸區	無燐酸區	無燐酸區	無燐酸區	反當収量（反當數量）	反當収量（反當數量）	無燐酸區
五畝歩	五畝歩	五畝歩	五畝歩	石灰十貫施用ニヨリ玄米反當一斗六升五合ノ増収ヲ得タリ	過燐酸石灰十貫施用ニヨリ玄米反當一斗六升五合ノ増収ヲ得タリ	元肥	追肥
二一一〇、四一〇、〇〇〇〇（貫）	二一一〇、四一〇、〇〇〇〇（貫）	二一一〇、四一〇、〇〇〇〇（貫）	二一一〇、四一〇、〇〇〇〇（貫）	一一一三、四三三、一六四、〇五三、七〇〇、〇〇七五〇〇〇五〇〇	一一一三、四三三、一六四、〇五三、七〇〇、〇〇七五〇〇〇五〇〇	二一一〇、四一〇、〇〇〇〇（貫）	二一一〇、四一〇、〇〇〇〇（貫）

成績（反當數量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾重量（石）	一九、六三七五	二〇、六三七五
玄米重量（貫）	三、五〇〇〇	二、五〇〇〇
籾容量（石）	一三、五八三	三、六三四
玄米重量（貫）	一七、九七二五	一四、三五五〇〇
藁重量（貫）	一七、五〇〇〇	一八、五二五〇〇

右成績ニヨルニ燐酸ノ効果少シ過燐酸石灰反當十貫施用ニヨリ反當玄米五升一合ノ増收アルノミ

試驗地　早良郡原村大字原小字有町

地主及作人　高木新藏

試驗地區劃……（無燐酸區　四畝歩／完全肥料區　四畝歩）

大正八年稻作（神力種）

施肥量（反當）

	無燐酸區	完全肥料區	追肥（貫）
元肥（貫）			
大堆肥	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	
硫酸加里（四二%）	一七、五	一七、五	一〇、五
豆粕肥	四、〇	四、〇	
過燐酸石灰（一五%）			
硫酸加里（四二%）	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、五

成績（反當數量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾重量（石）	三、九四二	三、五七五
玄米重量（貫）	一〇、九二〇〇	一〇、八〇〇
籾容量（石）	二、二九一	二、一一五
玄米重量（貫）	八、二〇〇	八、一九〇〇
藁重量（貫）	一三、五〇〇	一二、六〇〇〇

以上成績ニヨルニ完全肥料區ハ無燐酸區ニ比シ減收セリ尙追テ報告セン

試驗地　浮羽郡姫治村大字小鹽字櫻田九一九合番地

地主及作人　佐藤隆夫

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩／完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（雄町）

施肥量（反當）

	無燐酸區	完全肥料區	追肥（貫）
元肥（貫）			
厩肥	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	
大豆粕肥	二一、〇〇	二一、〇〇	
硫酸加里（四二%）	四、〇	四、〇	
過燐酸石灰（一五%）			
硫酸加里（四二%）	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	

試驗地區割……

大正八年稻作

（神力）施肥

（反當）

試驗地主及作人	以上成績ヲ玄米ニ換算シタル反當收量	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸
愛媛郡菅田村大字高原字枝松	玄米二斗四升ノ精收ヲ得タリ	無肥	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區
五畝歩	四四番地	三〇四〇〇	三一〇〇〇	元肥一〇四四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）

大正八年稻作

（神力）施肥

（反當）

試驗地區割	以上成績ヲ玄米ニ換算シタル反當收量	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸
愛媛郡菅田村大字高原字枝松	玄米二斗四升ノ精收ヲ得タリ	無肥	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區
五畝歩	四四番地	二〇〇〇〇	一〇〇〇〇	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）

大正八年稻作

（神力）施肥

（反當）

試驗地區割	右成績ニ換算シタル反當收量	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸	硫酸加里	燐酸
愛媛郡菅田村大字高田字木寺	玄米二斗五升五合ノ精收ヲ得タリ	無肥	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區	無燐酸區	完全肥料區
五畝歩	一番地	二〇〇〇〇	一〇〇〇〇	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）	元肥一〇四〇〇〇（貫）	追肥一〇七〇〇（貫）

過燐酸石灰（一五%）
燐酸加里（四二%）

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾重量（石）	三一〇、〇	
籾容量（貫）	四、〇	
玄米重量（石）	一五五、二二五	六、二二五
玄米容量（貫）	三、六六〇	一六八、〇〇〇
藁重量（貫）	一四二、七二五	一五一、二〇〇
	一七七、七五〇	一八六、〇〇〇

右成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ反當玄米一斗二升ノ増收ヲ得タリ

試驗地　企救郡企救町大字上南方字三反田四六番地

地主　日吉定次郎

作人　日吉市太郎

試驗地區劃……（無燐酸區　五畝歩／完全肥料區　五畝歩）

大正八年稻作（神力）

施肥量（反當）	無燐酸區	追肥（貫）
元肥	三〇〇、〇	七、〇
堆肥	一四、〇	
硫酸加里（四二%）	四、〇	
完全肥料區	三〇〇、〇	

大豆粕（一五%）
過燐酸石灰（四二%）
硫酸加里

成績（反當收量）

	無燐酸區	完全肥料區
籾重量（石）	一四、〇	七、〇
籾容量（貫）	一〇、〇	
玄米重量（石）	四、〇	
玄米容量（貫）	六、四五〇	六、六七五
玄米重量（貫）	一六四、二五〇	一七七、〇〇〇
藁重量（貫）	三、四〇三	四、〇〇〇
	一五二、〇〇五	一六一、〇〇〇
	一九二、〇〇〇	二〇一、〇〇〇

以上成績ニヨルニ反當過燐酸石灰十貫施用ニヨリ玄米反當六斗二分ノ増收ヲ得タリ

但シ以上掲ゲタル稻作試驗ノ收量ハ何レモ四坪刈取リ之レヲ反當收量ニ換算セルモノナリ

（ロ）加里肥効試驗

試驗地　宗像郡東郷村大字田熊字池町三九一番地

地主及作人　中村爲次郎

試驗地……（完全肥料區　五畝歩／無加里區　五畝歩）

大正七年冬作（蓼苦）

施肥量（反當）	無加里區	第一回追肥	第二回追肥
元肥（貫）	一五〇、〇	—	—
堆肥			

大正七年麥作

試驗地區劃	地主及作人	以上成績ニ	整種種ヲ	稈質質ル	重重容ニ	量量量ニ	成績	石木下過柔堆	燐酸	石下過柔堆	燐酸	施肥	無肥	加里量	區	反當
江口	山門郡三橋村大字白鳥小字東榎町	反當木灰二十貫	施用ヨリ種籾反當一斗六升七合ノ増收ヲ得タリ	石	貫	石	灰肥灰粕肥	燐酸石油	灰肥灰粕肥	燐酸石油	完全肥料區	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇
〃	〃	〃	〃	一五四一	一八一〇	一九三〇	五〇〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇
〃	〃	〃	〃	六三	四一	七五	〇五	〇七	〇五	〇七	〇五	〇七	〇五	〇七	〇五	〇七
〃	〃	〃	〃	五四	八一	九三	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
〃	〃	〃	〃	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷
〃	〃	〃	〃	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
〃	〃	〃	〃	完全肥料區	完全肥料區	完全肥料區	完全肥料區	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥

試驗地區劃……無肥加里完全肥料區區五五畝歩

大正七年麥作

試驗地區劃	地主及作人	以上成績ニ	整種種ヲ	稈質質ル	重重容ニ	量量量ニ	成績	石木下過柔堆	燐酸	石下過柔堆	燐酸	施肥	無肥	加里量	區	反當
橋爪	八女郡長峰村大字吉田小字京早稲田	木灰加用區ニ於テ減收セリ	施用ヨリ種籾反當一八八四四六七番地	石	貫	石	灰肥灰粕肥	燐酸石油	灰肥灰粕肥	燐酸石油	完全肥料區	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇
文治	〃	〃	〃	三五	八二	六二	五〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇	二〇二〇
〃	〃	〃	〃	四六	八九	五七	〇七	〇七	〇五	〇七	〇五	〇七	〇五	〇七	〇五	〇七
〃	〃	〃	〃	五三	四一	三二	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〃	〃	〃	〃	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷
〃	〃	〃	〃	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
〃	〃	〃	〃	完全肥料區	完全肥料區	完全肥料區	完全肥料區	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥	第一回追肥

無加里區

元肥（貫）

堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇		
下肥（五%）	二〇、〇〇	二荷	一荷

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇		
下肥（五%）	二〇、〇〇	二荷	一荷
木灰	二〇、〇〇		

成績（反當收量）

無加里區

種實容量（石）	一、九九八		
種實重量（貫）	六九、〇〇〇		
莖稈重量（貫）	七三、五〇〇		

完全肥料區

種實容量（石）	二、一三〇		
種實重量（貫）	七六、五〇〇		
莖稈重量（貫）	八五、五〇〇		

以上成績ニヨリ反當木灰二十貫施用ニヨリ反當種實一斗三升二合ノ增收ヲ得タリ

試驗地　築上郡千束村大字野田小字久保田七一一番地

地主及作人　有永五十藏

試驗地區劃……（無加里區　九畝歩　完全肥料區　九畝歩）

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

無加里區

元肥（貫）

堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇		
下肥（五%）	二〇、〇〇	二荷	一荷

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇		
下肥（五%）	二〇、〇〇	二荷	一荷
木灰	二〇、〇〇		

成績（反當收量）

無加里區

種實容量（石）	二、三四〇		
種實重量（貫）	七一、四〇〇		
莖稈重量（貫）	八九、四〇〇		

完全肥料區

種實容量（石）	二、五五〇		
種實重量（貫）	八五、二〇〇		
莖稈重量（貫）	九八、一〇〇		

右成績ニヨルニ反當木灰二十貫加用ニヨリ種實反當二斗一升ノ增收ヲ得タリ

試驗地　嘉穗郡千手村大字大力小字イカヤロ

地主　田中重五郎

作人　有吉重太郎

試驗地區劃……（無加里區　五畝歩　完全肥料區　五畝歩）

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

無加里區

	元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇〇		
榮種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	二荷	一荷
下肥	二荷		
石灰	二〇、〇〇		

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇		
榮種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	二荷	一荷
下肥	二荷		
石灰	二〇、〇〇		

成績（反當收量）

	無加里區	完全肥料區
種實重量（貫）	一、一二五	一、三五〇
莖稈重量（貫）	三八、九四四	五一、三〇〇
	三四、二四〇	四三、二〇〇

以上成績ニヨルニ反當木灰二十貫加用ニヨリ種實反當二斗二升五合ノ增收ヲ得タリ

試驗地　三池郡江浦町大字江ノ浦小字北田中一二八番地

地主　荒木福太郎

作人　荒木榮太郎

試驗地區劃……（無加里區　五畝歩）（完全肥料區　五畝歩）

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

無加里區

	元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇〇		
榮種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	二荷	一荷
下肥	二荷		
石灰	二〇、〇〇		

完全肥料區

堆肥	一五〇、〇〇		
榮種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	二荷	一荷
下肥	二荷		
石灰	二〇、〇〇		

成績（反當收量）

	無加里區	完全肥料區
種實容量（石）	二、一三〇	二、一〇〇
種實重量（貫）	六四、五〇〇	六六、〇〇〇
莖稈重量（貫）	九三、〇〇〇	一一四、〇〇〇

右成績ニ依ルニ種實容量ニ於テ殆ト差異ヲ認メス

試驗地　糸島郡可也村大字小金丸字新川一九二八番地

地主及作人　石郷辰太郎

試驗地區劃……{完全肥料區　五畝歩
　　無加里區　五畝歩

大正七年麥作（稞麥）

施肥量（反當）

	無加里區 元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
完全肥料區			
堆肥	二〇〇、〇〇	—	—
大豆粕	一四、〇〇	—	—
下肥	二荷	二荷	—
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	—	—
木灰	一五、〇〇	—	—
石灰（五%）	二〇、〇〇	—	—

成績（反當收量）

	無加里區	完全肥料區
種實容量（石）	二、〇九二	二、一〇八
種實重量（貫）	八一、六〇〇	八二、六八〇

右成績ニヨルニ兩區殆ント差異ナシ

以上述ヘタル大正七年冬作成績ハ何レモ四坪刈取リ之レヲ反當收量ニ換算セリ

試驗地　粕屋郡志免村大字別府字中ノ坪五八七番地

地主及作人　藤德三郎

試驗地區劃……{無加里區　五畝歩
　　完全肥料區　五畝歩

大正八年稻作（神力）

施肥量（反當）

	無加里區 元肥（貫）	追肥（貫）
完全肥料區		
堆肥	二〇〇、〇〇	—
大豆粕	一七、五	一〇、五
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	—
堆肥	二〇〇、〇〇	—
大豆粕	一七、五	一〇、五
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇	—
硫酸加里（四二%）	五、〇〇	—

成績（反當）

	無加里區	完全肥料區
籾容量（石）	五、二五〇	五、七五〇
籾重量（貫）	一四八、五〇	一五三、〇〇
玄米容量（石）	二、七五〇	二、八八〇
玄米重量（貫）	二一〇、〇〇	二一六、〇〇
藁重量（貫）	二一六、〇〇〇	二二五、〇〇〇

但シ収量ハ四坪刈取リ反當ニ換算セリ

右成績ニヨルニ硫酸加里反當五貫施用ニヨリ反當玄米一斗〇五合ノ増収ヲ得タリ尚重テ報告セン

（ハ）石灰肥効試驗

砂地ハ多クハ石灰分ノ含量少ナク之レカ缺乏ニヨリ往々作物ノ生育充分ナラサルコトアリ故ニ神湊ノ砂地ヲ選ヒ石灰ノ肥効試驗ヲ行ヘリ

試驗地　宗像郡神湊町大字江口小字一三九五番地

地主及作人　辻野貞太郎

試驗地區劃……（完全肥料區　六畝歩）（石灰加用完全肥料區　六畝歩）

大正七年麥作（稈麥）

施肥量（反當）	完全肥料區元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇		
木下灰肥	二〇、〇〇 二荷	二荷	一荷

石灰加用完全肥料區			
堆肥	一五〇、〇〇		
菜種油粕	一五、〇〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇〇		

成績（反當收量）	完全肥料區	石灰加用完全肥料區
種實容量（石）	一、九九八	二、一五一
種實重量（貫）	六九、九〇〇	七二、九〇〇
莖稈重量（貫）	五七、九〇〇	六六、〇〇〇

但シ収量ハ四坪刈取リ反當ニ換算セリ

右成績ニヨルニ反當石灰三十貫施用ニヨリ種實反當一斗五升三合ノ増収ヲ得タリ

試驗地　三池郡三川村大字川尻小字池端一九九三番地

地主及作人　木下惣太郎

目的　炭坑水ノ浸入ニヨリ土質ノ惡變セルヲ改良スルニアリ

試驗地區劃……（完全肥料區　五畝歩）（石灰加用完全肥料區　五畝歩）

大正七年麥作（稈麥）

施肥量（反當）	完全肥料區元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	一五〇、〇		
菜種油粕	一五、〇		
過燐酸石灰（一五%）	一〇、〇		
木下灰肥	二〇、〇 二荷	二荷	一荷
石灰（五%）	二〇、〇 二荷	一荷	

木灰（五%）	二〇、〇				
石灰加用完全肥料區					
堆肥	一五〇、〇〇				
菜種油粕（一五%）	一五、〇〇				
過燐酸石灰（五%）	一〇、〇	二荷			
木下肥灰	二〇、〇	二荷			
石灰	三〇、〇				

成績（反當收量）

完全肥料區				石灰加用完全肥料區
種實容量（石）	四、〇五〇			五、四〇〇
種實重量（貫）	六、〇〇〇			二〇一、〇〇〇
莖稈重量（貫）	一五六、〇〇〇			一九八、〇〇〇

但シ四坪ヲ刈取リ反當ニ換算セリ

以上成績ニヨルニ石灰ヲ加用セルモノト否ラサルモノトノ差反當種實一石三斗五升ナリ

試驗地　糸島郡波多江村大字波多江字持田一二一五番地

地主及作人　上原友吉

大正七年冬作（蕓薹）

目的　石灰ノ肥効ヲ試驗スルニアリ

試驗地區劃……〔完全肥料區 五畝歩〕〔石灰加用完全肥料區 五畝歩〕

施肥量（反當）

完全肥料區

	元肥（貫）	第一回追肥	第二回追肥
堆肥	二〇〇、〇		
大豆粕肥	一四、〇		
下肥灰（五%）	二〇、〇	二荷	
木灰（一五%）	一〇、〇		一荷

過燐酸石灰加用完全肥料區

堆肥	二〇〇、〇		
大豆粕肥	一四、〇	二荷	
下肥灰（五%）	二〇、〇		一荷
木灰（一五%）	二五、〇		
石灰	一〇、〇		

石灰加用完全肥料區

成績（反當）

完全肥料區

種實容量（石）	〇、八七	一、一四〇
種實重量（貫）	二六、一〇〇	三四、二〇〇

但シ四坪刈取リ反當ニ換算セリ

以上成績ニヨルニ種實反當二斗七升ノ増收ヲ得タリ

第二肥料試驗

試驗ニ用ヒタル品種ハ水稻ニアリテハ特別ノモノヲ除ク外青選種ニシテ耕種ノ梗概ハ種藝部ノ方法ニ準セリ

一、石灰窒素肥効試驗（第十一回）

石灰窒素ノ肥効ヲ試驗スル爲メ三尺角ノ木框中ニ於テ試培セルモノニシテ太正八年稻作ノ成績次ノ如シ

加用肥料名	一框籾重量(瓦)	一框藁重量(瓦)
石灰窒素、過燐酸石灰硫酸加里	三一〇、三	二九六、三
石灰窒素、燐酸曹達、炭酸加里	二八九、六	三六〇、六
硫酸安母尼亞、過燐酸石灰硫酸加里	三三四、六	四五七、〇
硫酸安母尼亞、燐酸曹達、炭酸加里	三一三、六	四二七、〇

右成績ニヨレバ硫酸安母尼亞區ハ何レモ優レリ尙試驗ヲ重ネテ報告セン

但燐酸加里及炭酸加里ハ化學用ノモノヲ使用セリ

(二)、窒素肥料連用試驗（第十一回）

主要窒素肥料連用ノ結果ヲ見ル爲メ三尺角ノ木框中ニ栽培セリ大正八年水稻作ノ成績左ノ如シ

區名	一框籾重量(瓦)	一框藁重量(瓦)
無肥料區	一〇二、七	一一一、二
蚕豆區	二九七、六	三七三、三
紫雲英區	三一二、六	三七六、一
大豆區	三二六、六	三九四、〇
鯨搾粕區	三三二、一	四六八、七
大豆粕區	三四八、〇	四三三、六
硫酸安母尼亞區	三三五、三	四六三、六

以上成績ニヨレハ大豆粕區最モ良好ナリ尙試驗ヲ重ネテ報告セン

(三)燐酸肥料連用試驗（第十一區）

主要燐酸肥料連用ノ結果ヲ見ル爲メ直徑二尺ノ陶管中ニ於テ試培セルモノニテ大正八年水稻作ノ成績次ノ如シ

區名	一陶管籾重量(瓦)	一陶管藁重量(瓦)
米糠區	一六二、〇	二七〇、〇
骨粉區	一四七、〇	一九七、〇
燐酸曹達區	一四二、三	一九八、〇
過燐酸石灰區	一三五、六	二一三、〇
無燐酸區	一四三、三	一八八、六

以上成績ニヨルニ米糠區最モ良好ニシテ過燐酸石灰區最劣等ナリ尙試驗ヲ重テ報告セン

但窒素肥料トシテ硫酸安母尼亞加里肥料トシテ化學用硫酸加里ヲ使用セリ

(四)、石灰連用試驗（第十一回）

永年ニ於ケル石灰連用ノ地力ニ及ホス影響ヲ試驗センカ爲メ三尺角ノ木框ニ試栽セリ

大正八年稻作成績ヲ示セハ次ノ如シ

區名	一框籾重量(瓦)	一框藁重量(瓦)
無石灰區	二三八、六	二八三、三
廿五貫石灰區	二七三、六	三一二、〇
五十貫石灰區	二九五、六	三二〇、〇
百貫石灰區	三〇三、〇	三二一、六
二百貫石灰區	二八六、三	二九三、三
三百貫石灰區	一八三、三	一八一、三

以上成績ニヨルニ石灰五十貫區乃至百貫迄ハ成績最モ良好ナリ尙試驗ヲ重ネテ報告セン

(五)、加里肥料肥効試驗（第一區）

諸種加里肥料ノ肥効ヲ試驗スル爲メ直徑二尺ノ陶管ニ試培セリ

品種	神力種	供試加里肥料分析成績次ノ如シ
印加里肥料	甲號	加里(%)
印加里肥料	乙號	三二、七八
木灰		八、三五
肥料用硫酸加里		五、〇〇
		四二、〇〇

共通肥料トシテ硫酸安母尼亞及過燐酸石灰ヲ使用セリ而シテ三要素ノ施肥量ハ各反當三貫宛トセリ

大正八年稻作成績ヲ示セハ次ノ如シ

區名	一陶管籾重量(瓦)	一陶管糞重量(量)
甲號區	一三〇、三	一八三、六
乙號區	一二八、三	一八四、三
加里肥料區	一五四、〇	二一五、〇
硫酸加里區	一二七、三	一七八、七
灰區	一五五、三	二二七、七
化學用硫酸加里區	—	—
無加里區		

以上成績ニヨルニ化學用硫酸加里區最モ良好ニシテ木灰區最モ劣レリ無加里區ハ病害ノ爲メ成績不明ナリ尙重テ試驗報告セン

(六)、硫酸化里肥効試驗（第一回）

本場土壤ニ於テ硫酸加里ヲ施用セルモノト然ラザル場合トノ收量ノ相違ヲ比較シ尙永年ノ間ニ於ケル成績ヲ得ルヲ目的トス

試驗區劃……{無加里區 / 完全肥料區}

大正八年稻作（神力）

成績（反當收量）

	玄米容量(石)	玄米重量(貫)	無加里區	完全肥料區
	二、一二五	八十、一七五	二、一〇〇	八〇、四三〇

右成績ニヨレバ加里ノ肥効ヲ認メラレズ尙試驗ヲ重ネテ報告セン

(七)、有機質及無機質肥料連用試驗（第六回）

有機質及無機質肥料ノ地力ニ及ボス影響ヲ試驗セントス

試驗地區劃……{有機質肥料區 / 無機質肥料區}　二畝半 / 二畝半

大正八年稻作（神力）

成績（反當收量）

	玄米容量(石)	玄米重量(貫)	有機質肥料區	無機質肥料區
	二、〇五五	七八、〇九〇	二、一六五	八二、七〇三

右成績ニヨルニ無機質肥料區良好ナリ尙試驗ヲ重ネテ報告セン

(八)、過燐酸石灰肥効試驗（第一回）

過燐酸石灰ヲ施用セルト否ヲザル場合トノ收量ノ相違ヲ比較シ尙永年ノ間ニ於ケル成績ヲ得ルヲ目的トス

試驗地區劃……{無完全燐酸區 / 肥料區}

大正八年稻作（神力）

成績（反當收量）

	玄米容量(石)	玄米重量(貫)	無燐酸區	完全肥料區
	一、九八六	七六、〇六四	二、〇五〇	七八、七二〇

右成績ニヨルニ燐酸ノ肥効顯著ナラズ

第三　不良土改試驗

(一)、新田原果樹肥料試驗

試驗地　京都郡仲津村
地主　柏木勘八郎
管理人　谷次郎
供試反別　三反歩
試驗地區劃……（無石灰完全肥料區　石灰加用無燐酸區　石灰加用完全肥料區）

目的　不良土ニ果樹ニ對スル燐酸及ビ石灰ノ効果ヲ試驗スルニアリ

施肥量（一本當）

無石灰完全肥料區

大豆粕　三百目　過燐酸石灰（一五%）　百五十目
硫酸加里（四二%）四十目

石灰加用無燐酸區

施肥量（一本當）

石灰　三百目　大豆粕　三百目　硫酸加里　四十目
石灰加用完全肥料區
大豆粕　三百目　過燐酸石灰　百五十目
石灰　三百目　硫酸加里　四十目

生育調査成績（長十郎）

果樹一本ニ於ケル枝ノ總延長（十六本平均）

大正八年秋

石灰加用完全肥料區	（尺）	一五三、一〇
石灰加用無燐酸區	（尺）	一五八、二二
無石灰完全肥料區	（尺）	一一四、二四

洋梨（十二本平均）

石灰加用完全肥料區	（尺）	七〇、五九
石灰加用無燐酸區	（尺）	五五、二三
無石灰完全肥料區	（尺）	五三、〇八

枇杷（十三本平均）

石灰加用完全肥料區	（尺）	九五、九〇
石灰加用無燐酸區	（尺）	八七、四六
無石灰完全肥料區	（尺）	七九、六〇

右ノ成績ニヨルニ石灰ノ効果カ生育上著シキヲ認ム尚重ネテ報告セン

二、黑土果樹肥料試驗

前年ヨリ引續キ新田原ニ於ケルト同一設計ニヨリ黑土ニ對スル石灰及燐酸ノ肥効試驗ヲ行ヘリ其ノ成績左ノ如シ

生育調査成績（長十郎）

果樹一本ニ於ケル枝ノ總延長（二十本平均）

大正八年秋

石灰加用完全肥料區	（尺）	一三〇、五〇
石灰加用無燐酸區	（尺）	一〇七、〇一
無石灰完全肥料區	（尺）	一二二、一三

枇杷

石灰加用完全肥料區	（尺）	九三、七八
石灰加用無燐酸區	（尺）	八〇、一八

無石灰完全肥料區（尺）　五八、六三

右ノ成績ニヨレハ燐酸及石灰ノ効果ヲ認ム尚追テ報告セン

(三)、砂地改良試驗（第六年目）

前年ニ引續キ粕屋郡古賀驛附近ノ砂地ニ於テ落花生及ヒ小麥ノ試作ヲ行ヒツヽアリ其ノ成績左ノ如シ

大正七年冬作（赤坊主）

	種實容量(石)	種實重量(貫)	反當收量
莖稈重量(貫)	〇、八〇〇	二九、六〇〇	四九、〇〇〇

大正八年夏作（落花生）

	種實容量(石)	種實重量(貫)	反當收量
莖重量(貫)	三、一〇〇	五四、九七〇	四九、〇〇〇

右成績ニヨルニ益々良好ニシテ落花生ノ如キ年ヲ重ヌルニ從ヒ充實ノ度ヲ增加セリ

第四分拆成績

(一)、依賴分析

大正八年度依賴分析成分數ハ一百三十ニシテ其主ナルモノヽ成績ヲ掲クレハ左ノ如シ

供試品百分中

物品名	窒素	燐酸	加里	依賴者
畑作用完全第五號配合肥料	四・三八	一〇・三〇	—	鞍手郡古月村農會
㊐印多木肥料	五・三三	一五・七四	—	粕屋郡大川村農會
麻芥灰	—	〇・二八	一・八四	企救郡大里町　田島又三郎
麻芥灰	—	〇・三五	一・〇九	宗像郡池野村農會
大麻子搾粕	四・一六	一・七二	一・一七	筑紫郡住吉町　櫻井龜吉
微粉炭	〇・六六	〇・〇五	〇・三一	粕屋郡宇美村　高津敬三郎
棉實粕	五・四一	一・四三	一・二三	八女郡羽犬塚町　江崎重生
棉實粕	一・三二	〇・七三	—	宗像郡神興村　松尾初太郎
棉實粕	二・六八	一・五六	—	宗像郡神興村　富永竹一

(二)、場用分析

場用分析成分數ハ三百五十五ナリ

畜産之部

畜産之部

業務ノ主ナルモノハ種禽種卵及仔豚ノ配布トス

第一　豚

副業奬勵並ニ自給肥料生産ノ目的ヲ以テ飼養容易且ツ肉質善良ナルバクシヤー種及中ヨークシヤー種ヲ繁殖養成シ仔豚ノ拂下ヲ行ヘリ

(一)本年度配布數　廿七頭

(二)豚種種付

優良豚繁殖ヲ計ランカタメ無代ニテ一般當業者ノ種付ニ應セリ

本年度種付回數　十回

(三)飼料

本年度内ニ使用セシ飼料配合左ノ如シ

	一頭一日分量				
	大麥	米糠	鮫	醬油粕	根菜類	石灰木灰
親豚	五合	八合	一升	二百匁	百二匁	少量
孕豚	一升	五合	一升五合	百匁	百匁	仝
兒豚	五合	—	五合	五十匁	五十匁	仝

第二　家禽

農家ニ最モ適切ナル副業養鷄ヲ奬勵シ益々鷄數ノ增加ヲ圖リ且ツ品質改善ノ目的ヲ以テ實用ニ適スルモノヲ

選擇シ種禽種卵ノ配布ヲ行ヘリ

(一) 種禽種卵ノ配布

本年度配布數左ノ如シ

年月	産卵總數	種卵配布數	同人員	種禽配布數	同人員
大正八年四月	五三二	三四九	二五	四二	一二
同 五月	五八八	三四二	三一	三八	一一
同 六月	四五〇	二九六	二四	一六	六
同 七月	四〇八	一九九	一五	二九	七
同 八月	三六四	二二五	一五	一三	五
同 九月	二二二	二一五	一二	一六	七
同 十月	一六五	一二二	一一	一八	六
同 十一月	一四三	四八	四	二〇	七
同 十二月	一七九	五二	三	一三	三
計	二〇〇	四六	三	二一	六
大正九年一月	三九〇	一四四	九	一八	三
同 二月	四五四	三一一	一三	三〇	三
同 三月	四・〇九五	二・三四九	一六五	二七四	七六
計					

(二) 飼養種類

(イ) 卵用種　白色レグホーン

(ロ) 卵肉兼用種　名古屋

成績

	体質	熟巣性	産卵早晩	一ヶ年一羽平均産卵數	平均一個卵量	体重 雄	体重 雌
白色レグホーン	強	無	早	一四三個	一五・七匁	五四八匁	四五一匁
褐色レグホーン	強	少	早	一三〇	一三・五	五四〇	四二〇
名古屋	頗強	多	稍早	一二七	一四・五	八六二	五九〇

(三) 孵化育雛

本年度施行回數

(イ) 孵化

人工法 サイファー式 孵卵器 百四十卵入 一臺 二回(九月、二月)

伊田式 孵卵器 百二十卵入 一臺 三回(六月、九月、二月)

自然法 名古屋種母鶏 五羽 一回(三月)

(ロ) 育雛

人工法 高橋式 育雛器 一個 三回(七、九、三月)

當場式 育雛器 二個 二回(九、三月)

(四) 飼料

本年度常時給飼セル種禽飼料配合左ノ如シ

一日十羽分量

米糠	三合	芽麦	二合	骸貝殻	四合
魚粉	十五匁	青菜	百匁	大豆粕	一合
				大麥	四合

備考

大麥ハ前日ヨリ水ニ浸積セルモノヲ粒餌(夕餌)トナシ其ノ他ノモノハ調製シテ練餌トシテ朝晝ノ二回ニ分與ス大豆粕及魚粉ハ煮沸セル後練餌ニ混ス飲料水ハ常ニ新鮮ナルモノヲ鉢ニ入レテ備エテ置ク

(五) 家禽ノ管理

雨天或ハ寒氣甚シカラサル限リハ毎日舍外ニ出シテ運動セシメ鶏舍及運動場ハ毎日午前中ニ一回掃除ヲ

行ヒ尚鶏舎ハ春秋ノ二回ニクレオリン五十倍液ニテ消毒シ砂浴場ノ土ハ二三日毎ニ土換或ハ打起ヲナシ又驅虫劑（石灰四硫黄劑一ノ割合ニ混シタルモノ）ヲ撒布シテ羽虱ノ驅蟲ヲ行フ其他器具類ハ時々日光消毒ヲナシ或ハ洗滌シテ清潔ニス

（六）産卵増進試驗

純粹種ト雖モ尚各個体ニ依リテ能力ノ優劣アルヲ以テ前年度ヨリ繼續シトラツプネストヲ使用シ白色レグホーン種及名古屋種産卵能力ヲ調査シ淘汰法ヲ行ヘリ之レニ供用セシ羽數左ノ如シ

白色レグホーン　十羽

ナゴヤ　十五羽

（七）委托試驗

本場ニ於ケル種禽種卵ノ不足ヲ補フタメ左記ノ所ニ委托シ優良ナルモノヲ選擇シ配布セリ

三潴郡三又村　三谷高吉

病理之部

行ヒ尚鶏舎ハ春秋ノ二回ニクレオリン五十倍液ニテ消毒シ砂浴場ノ土ハ二三日毎ニ土換或ハ打起ヲナシ又驅虫劑（石灰四硫黄劑一ノ割合ニ混シタルモノ）ヲ撒布シテ羽虱ノ驅蟲ヲ行フ其他器具類ハ時々日光消毒ヲナシ或ハ洗滌シテ清潔ニス

（六）産卵増進試驗

純粹種ト雖モ尚各個体ニ依リテ能力ノ優劣アルヲ以テ前年度ヨリ繼續シトラップネストヲ使用シ白色レグホーン種及名古屋種産卵能力ヲ調査シ淘汰法ヲ行ヘリ之レニ供用セシ羽數左ノ如シ

白色レグホーン　十羽

ナゴヤ　十五羽

（七）委托試驗

本場ニ於ケル種鶏種卵ノ不足ヲ補フタメ左記ノ所ニ委托シ優良ナルモノヲ選擇シ配布セリ

三豫郡三又村　三谷高吉

病理之部

病理之部

第一　稻白葉枯病對品種比較試驗

一、試驗目的　左記品種ノ稻白葉枯病ニ對スル抵抗力ノ强弱ヲ檢セントス。

一、供試品種　三井神力、味坂中稻六號、味坂中稻五號、味坂中稻二號、日之出撰、光明錦、樫棒、旭、山北妨主、赤神力、

第一標準區　本場神力純系、　第二區標準　本場神力純系、

一、試驗場所　三井郡味坂村大字八坂牟田豐太郎氏所有田

一、施肥量本場　標準肥料ニヨル

一、試驗區面積(各區)　一畝

一、成　績

區名	被害程度	發病坪數	備考
三井神力	輕	一・三割	晩稻
味坂中稻六號	稻ノド發病セズ	被害殆ドナシ	中稻ノ晩
味坂中稻五號	最輕	〇・三	中稻ノ晩
味坂中稻二號	輕	一・七	中稻ノ晩
日ノ出撰	輕	〇・三	晩
光明錦	ナシ	被害殆ドナシ	中
樫棒	ナシ	被害殆ドナシ	早
旭	輕	二・〇	晩

山北坊主	稍々重	晩
赤神力	最輕	晩
第一標準區本場神力純系	輕	晩
第二標準區本場神力純系	重	晩

一、收量表

區名	籾一升ノ重量	畝當籾收量	畝當籾重量	畝當藁重量
三井神力	二九〇匁	五斗九五〇匁	一六貫九〇〇匁	四九貫六〇〇匁
味坂中稻六號	二八〇匁	六・四〇〇	一七・六〇〇	四五・六〇〇
味坂中稻五號	二六五匁	六・七二〇	一七・五五〇	四四・六〇〇
味坂中稻二號	二七五匁	六・四二〇	一七・三五〇	四六・五〇〇
日ノ出撰	二七五匁	六・〇五〇	一六・四五〇	四五・三五〇
光明錦	二六五匁	四・九二〇	一二・六五〇	三五・六〇〇
樫棒	二四〇匁	六・七五〇	一六・二〇〇	四三・三〇〇
旭	二七〇匁	六・六五〇	一七・七五〇	四九・四〇〇
山北坊主	二六〇匁	七・〇一〇	一八・二五〇	四九・七〇〇
赤神力	二七五匁	六・五六〇	一八・〇五〇	四六・六〇〇
第一標準區	三〇〇匁	五・七一〇	一六・六〇〇	四五・一〇〇
第二標準區	二八〇匁	六・二七〇	一七・六五〇	三八・五〇〇

以上試驗ノ成績ニヨレバ味坂中稻六號（神力日ノ出乙ヨリホ號）光明錦、樫棒、最モ抵抗力強ク赤神力、日ノ出撰、等之ニ次ギ三井神力、山北坊主、等ハ抵抗力大ナラズ神力種ノ被害最モ多シ而シテ收量其ノ他ヨリ推セバ本試驗ハ年數ヲ重ヌルニアラザレバ確言スルヲ得ズ

第二　稻胡麻葉枯病被害苗移植試驗

一、試驗目的　稻胡麻葉枯病ノ被害ヲ受ケタル苗（所謂燒苗）ヲ挿秧スレバ本田ニ於テモ其ノ被害激甚ナルヤヲ檢セントス

一、供試品種　神力純系

一、設計

一、被害苗移植第一區

胡麻葉枯病特有ノ病斑ヲ多數ニ有スル苗ヲ一本植トシ施肥用量ハ本場標準トス

二、被害苗移植第二區

胡麻葉枯病特有ノ病斑ヲ多數ニ有スル苗ヲ一本植トシ施肥用量ハ本場標準トス

三、標準區

胡麻葉枯病ノ被害全然ナキ苗ヲ一本植トシ施肥量ハ本場標準ニ從フ

一、成績

區名	被害株數 大	被害株數 中	被害株數 小	被害株數 計	無被害株數	備考
被害苗移植第一區	八	一二〇	六九〇	八八	四六二	供試株數 一二八〇
被害苗移植第二區	八六	二七八	七七八	二二四	一三六	供試株數 一二八〇
標準（無被害苗）區	二四	一九四	六六	八二四	三七六	供試株數 一二〇〇

右試驗ノ成績ニヨレバ

1、施肥量充分ナル場合ニ於テハ胡麻葉枯病被害苗ヲ本田ニ移植スルモ本田ニ於テハ必ズシモ本病ノ發生多カラズ

2、苗時代ノ胡麻葉枯病ハ枯葉ト共ニ消失シ新葉ニ傳染セザル場合少シトセザルガ如シ

3、本病發生ノ多少ハ本田ニ於ケル諸種ノ關因ニヨリテ左右セラルルコト最モ大ナルガ如シ

第三　柑橘瘡痂病豫防試驗

(イ)　諸種ノ藥劑ノ効果比較試驗

一、試驗目的　柑橘瘡痂病豫防上諸種ノ藥劑ノ効果ノ優劣ヲ知ラントス

一、供試品種　溫州密柑十五年生

一、試驗場所　粕屋郡立花村大字原上字角田井上藤三郎氏所有園

一、供試本數　各區四本宛トス但シ硫黃合劑〇、二度液區ノミハ三本トス

一、一本ニ撒布シタル藥液量　一升五合內外トス。

一、撒布回數　全部三回トス

一、撒布時期

回數	撒布月日	天候	柑橘發育狀況	備考
第一回	四月下旬（四月廿八日）	晴天	新梢ニ四、五枚ノ葉ヲ生ジ小ナル蕾ヲ形成シ居タリ	ナシ
第二回	五月下旬（五月廿五日）	晴天	花瓣ハ全部落下シ幼果ヲ生ズ但シ幼果ノ頭上ノ雌雄未ダ脫セザルモノアリ然レ共手ニテ觸ルレバ容易ニ落下ス	花盛期ハ五月十七日前後
第三回	六月中旬（六月十五日）	午前中降雨アリ午后ハ曇	果ハ肥大シ食指頭大乃至母指大ニ達ス	此ノ期ハ梅雨ニ入リ降雨多ク撒布困難ナリ此ノ際ハ藥液ヲ一般ニ一、二回ノヨリモ多量使用ス

一、諸種藥劑

藥劑名	調合量及濃度	備考
一、三斗式石灰ボルドウ區	石灰一二〇匁　硫酸銅一二〇匁　水三斗	鹽基性
二、四斗式曹達ボルドウ區	炭酸曹達一六〇匁　硫酸銅一二〇匁　水四斗	鹽基性
三、三斗式過石灰ボルドウ區	硫酸銅一二〇匁　石灰三〇〇匁　水三斗	鹽基性
四、四斗式石灰ボルドウ區	石灰一二〇匁　硫酸銅一二〇匁　水四斗	強鹽基性
五、少石灰ボルドウ區	石灰六〇匁　硫酸銅一二〇匁　水三斗	中性又微弱アルカリー性
六、硫黃合劑區甲	ボーメ比重　〇・二度	煮沸稀薄硫黃合劑
七、硫黃合劑區乙	ボーメ比重　〇・五度	石灰九〇匁硫黃華一二〇匁水一斗
八、過マンガン酸加里液區	三千倍液	藥劑ヲ撒布セズ無豫防トス
九、標準區		

一、成績

藥劑名	木ノ番號	健全果	病果	發病步合	備考
三斗式石灰ボルドウ合劑區	1	八九	三	〇・〇〇五〇	發病シタルモノト雖モ病理ハ著シク凸出シタルモノナク形小ナリ果形整ヒタルモ煤病ノ發生多シ
	2	五二	一		
	3	二四二	一		
	4	四一五	一		
	計	七九八	四		
四斗式曹達ボルドウ合劑區	1	四一一	一四		發病シタルモノト雖モ病斑ハ著シク凸出シタルモノナク病斑ハ小ナリ煤病ノ發生ハ他ノボルドウ撒布區ヨリ少シ
	2	二六五	一〇		
	3	四七六	二五		

三斗式過石灰ボルドウ合劑區	4	四〇七	三四	〇•〇五三二	新葉ニ害ナキモ撒布當時老葉ノ落下スルモノ他區ニ比シ著シク多シ煤病ノ發生甚ダ多シ
	計	一、五五九	八三		
	1	二九	一		
	2	一八二	二		
	3	六八	二		
	4	二六一	二	〇•〇一一一	普通ボルドウニ於ケルト異ナル所ナシ而シテ煤病及煤点病ノ發生多シ
四斗式石灰ボルドウ合劑區	計	五四〇	六		
	1	五二	一		
	2	八〇	五		
	3	四三四	五		
	4	一一八	一	〇•〇一六一	藥害ナキモ煤病ノ發生ハ多シ果形整一ナリ
少石灰ボルドウ合劑區	計	六八四	一一		
	1	一五六	一		
	2	一七六	二		
	3	二四六	三		
	4	一三三	四	〇•〇〇九八	發病シタルモノハ無豫防區ノモノヽ如ク病斑突出シ果不整ナレドモ色澤佳良煤病ノ發生ハ少シ
硫黄合劑ボーメ比重〇•二度區	計	七一一	七		
	1	一〇九	四〇		
	2	一一二	九		
	3	九	九		
硫黄合劑ボーメ比重〇•五度區	計	二三〇	五八	〇•二五二二	發病狀態ハ無豫防區ニ異ナラザルモ煤病ノ發生少ク果ハ色澤ヨシ
	1	一〇〇	七二		
	2	六八	一七		
	3	一六七	二二		
過マンガン酸加里液區	4	二五	二五		
	計	三六〇	一三六	〇•三七七八	
	1	二六四	四五		
	2	七三	一五		
	3	一三三	三七		
標準區	計	四七〇	九七	〇•二〇六四	無豫防區ニ於ケルト異ナラズ
	1	二八二	一五二		
	2	一一	一六		
	3	一六〇	七四		
	4	二〇〇	七〇	〇•四七七八	
	計	六五三	三一二		

以上試驗ノ結果ヲ總合スルニ

一、本試驗ニ於ケル効果ノ優劣ヲ順位ヲ以テ示セバ左ノ如シ

1、三年式石灰ボルドウ合劑　2、少石灰ボルドウ合劑　3、過石灰ボルドウ合劑　4、四斗式石灰ボルドウ合劑　5、曹達ボルドウ合劑　6、過マンガン酸加里液　7、硫黄合劑ボーメ比重〇•二度液　8、硫黄合劑ボーメ比重〇•五度液

二、本病豫防ニハ一般ニボルドウ合劑類ノ効果顯著ニシテ硫黄合劑過マンガン酸加里等ハ効果少ク殆ンド豫防ノ効果ヲ認メズ

三、一般ニボルドウ合劑類撒布區ハ他區ニ比シ煤病ノ發生多シ就中過石灰ボルドウ區及普通ボルドウ區ニ於テ著シク曹達ボルドウ區ニ於テハ發生稍々少シ之ガ原因ハ尚ホ研究ヲ要スルモノナレドモ多分ボルドウ液ヲ撒布スルトキハ介殼虫ノ寄生菌ヲ殺滅シ介殼蟲ノ增殖ヲ遠進スルニ起因スベシ而シテボルドウ合劑撒布區ニ發生シタル介殼虫ノ主ナルモノハ綿介殼虫ニシテ其ノ他みかんのながかひがらむしみかんのまるかひがらむし等ナリキ

四、硫黄合劑撒布區ニ於テ果ノ色澤ノ佳良ナルハ本劑ヲ撒布スレバだに類及ビ介殼虫ヲ殺滅スルニ原因スルモノナラン

故ニ柑橘瘡痂病ノ豫防劑トシテハ普通石灰ボルドウ合劑又ハ少石灰ボルドウ合劑ノ使用ヲ最モ賞用スベク硫黄合劑ハ賞用スベキモノニアラズ然レドモコヽニ最モ注意スベキハ石灰ボルドウ合劑ヲ撒布スレバ煤病ノ發

生多キコト之ナリサレバボルドウ合劑ヲ撒布シタルトキハ介殼虫驅除ニ力ヲ盡サザルベカラズ。

(ロ) 藥劑撒布時期試驗

一、試驗目的　柑橘瘡痂病豫防上ボルドウ液ヲ一回撒布スルモノトセバ如何ナル時期ニ撒布シタル方最モ有効ナルヤヲ檢知セントス

一、供試品種　温州密柑十五年生

一、試驗場所　粕屋郡立花村大字原上字角田井上藤三郎氏所有園

一、供試本數　各四本宛トス

一、一本ニ撒布シタル藥液量　一升五合内外トセリ

一、撒布回數　全部一回トス

一、撒布時期

區名	撒布月日	果ノ大サ
四月下旬區	四月廿八日	蕾ヲ生ズ
五月下旬區	五月廿六日	果ノ直徑二分内外ニ達ス
六月中旬區	六月十五日	果ノ直徑三分乃至五分ニ達ス
標準		

一、成績

區名	木ノ番號	健全果	病果	發病歩合	備考
四月下旬區	1	一〇三	〇一八	二七	
	2	一四五	二七		
	3	一四〇	二六	三・二三三	
	4	二五七	四〇		
計		六四五	一一一	一・四六八	
五月下旬區	1	七三	三六		
	2	一七二	二一		
	3				
	4	三一八	四一		
計		五六三	九八	一・四八二	
六月中旬區	1	三六一	二九		
	2	九四	一〇六		
	3	二二一	四七		
	4	一五六	一五二		
計		七八二	三三四	二・九九三	
標準區	1	二八二	一五二		
	2	一一	一六		
	3	一六〇	七四		
	4	二〇〇	七〇		
計		六五三	三一二	三・二三三	

以上試驗ノ結果ニヨレバ

1、標準區、六月中旬一回撒布區、五月下旬一回撒布區、四月下旬一回撒布區ノ準ニ發病多シ

2、藥劑撒布區ハ何レモ標準區ヨリ發病少キモ六月中旬一回撒布區ノ發病率ハ標準區ト大差ナシ

3、藥劑ノ効果試驗ニ於ケルガ如ク三回撒布ノモノニアリテハ殆ンド完全ニ豫防シ得ラルヽモ一回撒布ニテハ効果甚ダ薄弱ナリ

故ニ柑橘瘡痂豫防トシテハ四月下旬、五月下旬、及六月中旬ノ三回撒布スベシ

第四　白菜腐敗病ニ關スル試驗

（イ）病原菌ニ關スル試驗

甲、接種試驗

數回ノ室內及野外試驗ニヨリテ本病ノ病原菌ハ一種ノ白色細菌ナルコトヲ確認シタリ

乙、諸種ノ植物ニ關スル感染力試驗

白菜腐敗病細菌ハ白菜類ノ外人參、甘藍、大根、葱、セルリー等ヲモ侵シ特有ノ腐敗病ヲ惹起セシムルコトヲ接種試驗ニヨリテ確認シタリ。

丙、白菜ノ發育時期ト發病ノ關係試驗

多數ノ實驗ニヨリテ本病々原細菌ハ播種後四十日以上ヲ經タル白菜ニアラザレバ接種スルモ發病セザルコトヲ認メタリ。

丁、病原細菌ノ形態及ビ生理的性質ニ關スル試驗

病原菌ハ中庸大ノ短桿狀細菌ニシテ四•八本ノ鞭毛ヲ有ス諸種ノ培養基ニテ色素ヲ生產セズ諸種ノ糖類ヲ醱酵スルコトナク「リトマクミルク」ヲ赤變ス胡蘿蔔ノ腐敗菌トハタダ其ノ糖類ニ對スル作用ヲ異ニスルノミナルコトヲ認メタリ。

（ロ）豫防法ニ關スル試驗

甲　白菜腐敗病ト播種時期トノ關係試驗

一、試驗目的　白菜ノ播種時期ト病害發生多少トノ關係ヲ知ラントス

一、供試品種　芝罘白菜

一、試驗場所　本場蔬菜園內

一、一區　七十八本宛トス

一、肥培　本場ニ於ケル白菜普通栽培法ニ從フ

一、設計

播種時期　八月中旬區　八月下旬區

播種月日　八月十六日　八月廿五日

播種時期　九月上旬區　九月中旬區

播種月日　九月四日　九月十三日

一、成績

區名	罹病數 重	中	輕	計	健全	發病歩合
八月中旬區	一七	八	一一	三六	四二	四•六一五
八月下旬區	八	二	四	一四	六四	一•七九六
九月上旬區	—	—	—	—	七六	〇•二六五
九月中旬區	—	—	—	—	七八	—

以上試驗ノ結果ニヨレバ

1、白菜腐敗病ハ播種期ノ早キ程發病多シ

2、八月下旬亦ハ九月上旬ニ播種シタルモノハ發病スレドモ其ノ程度亜ニ歩合ハ甚タ少シ

3、九月中旬區ハ全然發病セズ

4、九月中旬ニ播種シタルモノハ結球不良ニシテ收量少シ

故ニ白菜ノ腐敗病ヲ豫防セントセバ白菜ノ播種期ヲ八月下旬ヨリ九月上旬迄トナスヲ最可トス

備考

罹病數ノ中重トシタルハ全然腐敗スルカ半バ以上腐敗シタルモノニシテ中ハ葉ノ五枚以上ヲ侵サレタルモノナリ輕トハ外部ノ葉二、三枚侵サレタルモノニシテ病葉ヲ除去スレバ販賣用トナスコトヲ得ルモノトス

乙、土地消毒試驗

一、試驗目的　白菜ノ腐敗病豫防トシテ土地消毒ノ効果ヲ檢知セントス

一、供試品種　芝罘白菜
一、試驗場所　本場蔬菜園
一、供試數　十本宛
一、肥　培　本場ニ於ケル白菜普通栽培法ニ從フ
一、設　計

A 石灰消毒

區名	反當施用量	備考
第一區	二五〇〇貫	播種一週日前施用
第二區	四〇〇〇貫	
第三區	一〇〇〇貫	

B 木灰消毒

區名	反當施用量	備考
第一區	二四〇〇貫	原肥施用ノ際混合シテ用ユ
第二區	四〇〇〇貫	
第三區	八〇〇〇貫	

C 石灰窒素消毒

區名	反當施用量	備考
第一區	五〇〇貫	播種一週日前ニ施用ス
第二區	一五〇〇貫	
第三區	三〇〇〇貫	

D 硫酸加里消毒

區名	反當施用量	備考
第一區	五〇〇貫	原肥施用ノ際混合シテ用ユ
第二區	一〇〇〇貫	
第三區	二〇〇〇貫	

E 硫黃華消毒

區名	反當施用量	備考
第一區	一〇本	全前
第二區	三〇本	
第三區	五〇本	

F 二硫化炭素消毒

區名	反當施用量	備考
第一區	二封度	播種前一週日前土面ニ所々ニ小孔ヲ穿チ注入ス
第二區	四封度	
第三區	一〇封度	

G 石灰硫黃合劑消毒

區名	濃度及回數	備考
第一區	二〇度一回	耕耘ノ後噴霧器ヲ用ヒテ藥液ヲ撒布スルモノトス
第二區	二〇度二回	
第三區	三〇度一回	
第四區	三〇度二回	

H 燒土消毒

區名	備考
第一區	燒土ヲ行フ
第二區	全上

耕耘ノ後地面ニ藁ヲ撒ケ火ヲ放ツ

I 標準

區名	備考
甲	土地消毒ヲ行ハズ
乙	全
丙	全
丁	全

比較ニ供ス

一、成績

A 石灰消毒

區名	反當施用量	供試數	罹病數	罹病歩合
第一區	二五〇〇貫	一一一〇〇〇本	二三二本	二三二割
第二區	一五〇〇貫		二三二本	二三二割

B 木灰消毒

區名	反當施〇量	供試數	罹病數	罹病歩合
第一區	二四〇〇貫	一一一〇〇〇本	一一一本	一一一割
第二區	八〇〇貫		二本	二割

C 石灰窒素消毒

區名	反當施用量	供試數	罹病數	罹病歩合
第一區	一五〇〇貫	一一一〇〇〇本	三三三本	三三三割
第二區	三一〇〇貫		三本	三割

D 硫酸加里消毒

區名	反當施用量	供試數	罹病數	罹病歩合
第一區	一五〇〇貫	一一一〇〇〇本	一一ナシ本	一一割
第二區	二一〇〇貫		一本	一割

E 硫黃華消毒

區名	反當施用量	供試數	罹病數	罹病歩合
第一區	一三一〇貫	一一一〇〇〇本	一ナシ本	一割
第二區	三六一〇貫		一ナシ本	一割
第三區	二一〇〇貫			
第四區	一〇〇〇貫			

F 二硫化炭素消毒

區名	反當施用量	供試數	罹病數	罹病歩合
第一區	二封度	一一一〇〇〇本	二本	二割
第二區	四封度		三本	三割
第三區	一〇封度		一本	一割

G 石灰硫黄合劑消毒

區名	濃度及回數	供試數	罹病數	歩合
第一區	二〇度一回	一〇〇本	三本	三割
第二區	二〇度二回	一〇〇本	二本	二割
第三區	三〇度一回	一〇〇本	四本	四割
第四區	三〇度二回	一〇〇本	一本	一割

H 燒土消毒

區名	供試數	罹病數	歩合
第一區	一〇〇本	六本	六割
第二區	一〇〇本	二本	二割
第三區	一〇〇本	三本	三割
第四區	一〇〇本	四本	四割

I 標準

區名	供試數	罹病數	歩合
甲	一〇〇本	六本	六割
乙	一〇〇本	二本	二割
丙	一〇〇本	三本	三割
丁	一〇〇本	四本	四割

本試驗ニ於テハ各區共ニ其ノ施肥量ヲ同一トシ殺菌劑ハ總テ一週間前ニ施用シ置キタリ。

以上試驗ノ結果ニヨレバ一般ニ土壤消毒區ハ標準區ニ比シ被害少ク殊ニ燒土區硫黄華消毒區、硫酸加區消毒區、木區消毒區等ハ稍効果顯著ナレドモ其ノ他ノ藥劑ニアリテハ其ノ顯シカラザルヲ認ム、勿論一ケ年ノ成績ナレバ之ヲ以テ斷定的結論ヲ附スルコト能ハザレドモ殺菌ノ効果アルコトハ疑ヲ入レズ尚繼續試驗ノ上其ノ効果ヲ確定セントス。

第五　蚕豆ノ葉燒病豫防試驗

一、試驗目的　蠶豆ノ葉燒病ノ豫防上種子消毒ノ効果ノ有無ヲ檢セントス

一、供試品種　蠶豆在來種

一、試驗場所　本場畑地

一、一區ノ面積　一畝歩

一、設計

一、標準區
無豫防區トシ比較ニ供ス

二、フォルマリン二百倍液種子消毒區甲
市販ノフォルマリンニ二百倍ノ清水ヲ加エ攪拌シタル後該液ニ種子ヲ浸漬スルコト二十分間ノ後速ニ取出シ水洗シタル後乾燥セシム

三、フォルマリン二百倍液種子消毒區乙
第二區ト同樣ニ種子ヲ二百倍フォルマリン液ヘ四十分間浸漬シ消毒ス

四、フォルマリン百倍液種子消毒區
市販ノフォルマリンニ一〇〇倍ノ清水ヲ加エ攪拌シタル後該液ニ種子ヲ三十分間浸漬シ速ニ取上ゲ水洗シタル後陰乾セシム

五、木灰多用區
播種ノ際ニ普通肥料ノ外ニ木灰一〇貫ヲ種子ノ上ニ撒布ス

一、成績　各區トモニ發病程度ニ差異ヲ生セス種子消毒ノ効果ヲ全然認メス尚本年モ重テ試驗セントス

第六　小麥ノ腥黑穗豫防試驗

一、試驗目的　小麥ノ腥黑穗病ノ豫防上種子消毒ノ効果ヲ知ラントス

一、供試品種　小麥白坊主

一、供試種子　八女郡川崎村産ニシテ種ノ中ニハ多數ノ腥黑穗菌ノ硬膜胞子塊ヲ混入ス

一、施肥量　本場標準ニ從フ

一、試驗區面積　十五歩宛

一、設計

一、標準區

種子ハ何等ノ處理ヲ爲サズ播種ス

二、硫酸銅液消毒區

硫酸銅四匁ヲ水一斗ニ溶解シタル液ニ種子ヲ五時間浸漬ス

三、石灰乳消毒區

石灰十匁ヲ水一升ニ溶解セシメ石灰乳ヲ製シ之ニ種子ヲ五時間浸漬ス

四、フォルマリン百倍液消毒區甲

フォルマリン百倍液ニ種子ヲ三時間浸漬ス

五、フォルマリン百倍液消毒區乙

フォルマリン百倍液ニ種子ヲ三時間浸漬ス

六、フォルマリン二百倍液消毒區甲

フォルマリン二百倍液ニ種子ヲ五時間浸漬ス

七、フォルマリン二百倍液消毒區乙

フォルマリン二百倍液ニ種子ヲ八時間浸漬ス

八、冷水溫湯浸種區

種子ヲ冷水溫湯浸法ニヨリテ消毒ス

大正七年度及ヒ八年度ノ成績次表ノ如シ

區名	一坪ニ於ケル腥黑穗本數	備考
一、標準區	五三・〇〇〇本	三八〇・〇〇〇本
二、硫酸銅液消毒區		
三、石灰乳消毒區		
四、フォルマリン百倍液消毒區甲	〇・六六六	
五、フォルマリン百倍液消毒區乙		
六、フォルマリン二百倍液消毒區甲		
七、フォルマリン二百倍液消毒區乙		
八、冷水溫湯浸種區	三・〇〇〇	六・〇〇〇

備考　一坪ニ於ケル黑穗ノ本數ハ各區ノ兩端及ヒ中央ニ各々三ケ所一坪宛ヲ選定シ其ノ部分ヲ精査シ黑穗ヲ檢出シ其ノ總數ヲ三ニテ除シテ其ノ平均ヲ以テ表セリ

以上試驗ノ成績ニヨレハ

1、種子ノ消毒ヲナシタルモノハ標準區ニ比シ腥黑穗ノ發生數甚ダ尠キカ或ハ全ク生セズ

2、冷水溫湯浮法ニテハ完全ニ本病ヲ豫防スルコト能ハザルモノヽ如シ

3、フォルマリンハ種子ノ發芽ヲ害スル傾向ヲ有スルヲ以テ百倍又ハ二百倍ヨリモ濃度薄キモノヲ用ユル要アリ

4、本病豫防ニハ石灰乳又ハ硫酸銅ヲ用ヒタル方可ナルガ如シ

第七　柿ノ炭疽病ニ關スル試驗研究

柿ノ炭疽病菌ノ純粹栽培養ヲ用ヒ各種ノ柿樹並ニ柿果ニ接種シ耐病性ニ關シテ試驗研究中ナリ本年度ニ於テハ嘉穗郡農會ヨリ送附セラレタル柿果富有、甲州、百目、蜂屋、祇園坊、無核尾谷、堂上蜂屋及西篠等ニ就テ試驗シタルモ無核ノ外何レモ耐病性ヲ有シ其ノ間優劣ヲ認メサリキ柿樹ニアリテハ横野、富有、葉カクシ蜂屋、君遷子ニ接種シタルニ横野、富有ハ最モ侵害シ易キコト世評ト異ラス尙詳細ナル事實ハ試驗研究中ニツキ後日發表スヘシ。

第八　大豆ノ病害ニ關スル調査

本場内ニ栽培スル綠肥用大豆ノ病害ノ種類ニ就テ調査シタルニ左記數種ノ發生ヲ認メタリ

一、大豆ノ葉燒病又ハ細菌病（Pseudomnas Glycina Nakans.）主トシテ葉ニ發生スルモ莢又ハ莖ヲ侵ス被害大ナラズ

二、大豆ノ露菌病（Peronos poravicine, De Bary.?）葉ニ發生ス被害大ナラズ

三、大豆ノ黄核病（Sclerotinia Libertiana, Lack, Sclnotiawrp.）莖葉莢ヲ侵ス

四、大豆ノ立枯病（Nectria jpomoee, Halsted）根及ビ莖ヲ侵害ス

五、大豆ノ白絹病（Hypochnus centrifugus（len）snl.）莖ノ地際ヲ侵ス

六、大豆ノ病（Womyce ssojae.（P.Henu）ay）葉ヲ侵ス

七、大豆ノ褐斑病（Septria glycines, Hemmi.?）葉ヲ侵ス

八、大豆ノ斑葉病（Phyllosticta sojaecola mass.?）葉ヲ侵ス

九、大豆ノ炭疽病（Colletrihu wsp）莢及ビ莖ヲ侵害ス

以上ノ中最モ損害ヲ與フルハ大豆ノ炭疽病ニシテ主トシテ莢ニ發生シ結果ヲ害シ甚タシキ時ハ收穫皆無トナル本病ノ豫防法並ニ病原ノ種名ニ就テハ研究中ナリ

第九　野角窒扶斯菌ノ配布

郡農會又ハ町村ノ申込ニヨリ配布シタル本年度ノ野鼠チブス菌ブイヨン培養ハ七百七十五町歩分ナリ。

第十　螟蛾發生期調査

点燈數	月日	月齢	天候	温度	二化螟蟲 雌	二化螟蟲 雄	二化螟蟲 小計	三化螟蟲 雌	三化螟蟲 雄	三化螟蟲 小計	合計	備考
四	五・一	四・一	曇	一六・四								
全	五・二	四・二	雨	一一・四	一		一				一	
全	五・三	四・三	晴	一五・九								
全	五・四	四・四	晴	一九・九								
全	五・五	四・五	晴	二一・五	一		一				一	
全	五・六	四・六	晴	一六・〇								
全	五・七	四・七	曇	一六・五								
全	五・八	四・八	曇	一七・〇	一		一				一	
全	五・九	四・九	曇	一七・五	一		一				一	
全	五・一〇	四・一〇	雨	二一・六	一〇		一〇				一〇	
全	五・一一	四・一一	雨	一三・五	一		一				一	
全	五・一二	四・一二	曇	一七・五	一		一				一	
全	五・一三	四・一三	曇	一二・五	一		一				一	
全	五・一四	四・一四	曇	一二・七	一		一				一	
全	五・一五	四・一五	曇	一一・五	一		一				一	
全	五・一六	四・一六	曇	一〇・二	一		一				一	
全	五・一七	四・一七	曇	一二・五	一		一				一	
全	五・一八	四・一八	晴	一五・〇	一		一				一	
全	五・一九	四・一九	晴	一五・三	一		一				一	
全	五・二〇	四・二〇	雨	一七・八	一		一				一	
全	五・二一	四・二一	曇	一五・五	一		一				一	
全	五・二二	四・二二	曇	一二・八	一		一				一	
全	五・二三	四・二三	曇	一一・九	一		一				一	
全	五・二四	四・二四	晴	一四・五	一		一				一	
全	五・二五	四・二五	曇	一三・〇	一		一				一	
全	五・二六	四・二六	曇	一五・六	一		一				一	
全	五・二七	四・二七	晴	一四・七	一		一				一	
全	五・二八	四・二八	曇	一八・七	一		一				一	
全	五・二九	四・二九	晴	一七・八	一		一				一	

全	五・三〇	五・一	晴	一七・九	一九	一三	三二	｜	｜	｜	三二
全	五・三一	五・二	曇	一八・三	二六	一七	四三	｜	｜	｜	四三
全	六・一	五・三	曇	一七・〇	二三	九	三二	二	五	七	三八
全	六・二	五・四	曇	二〇・〇	八六	六四	一五〇	六	二	八	一五八
全	六・三	五・五	曇	二〇・〇	二四	一六	四〇	三	二	五	四五
全	六・四	五・六	雨	一八・〇	三六	一八	五四	三	一	三	五七
全	六・五	五・七	曇	二一・〇	三六	二八	六四	五	四	九	六三
全	六・六	五・八	曇	二一・〇	五三〇	一〇九	六三九	二	一四	一六	六五五
全	六・七	五・九	曇	二三・三	二二四	一一三	三三七	六	二	八	三四五
全	六・八	五・一〇	曇	二三・一	七二六	二一二	九三八	二	九	一一	九四九
全	六・九	五・一一	雨	二二・九	三〇九	二八六	五九五	二	一	三	五九八
全	六・一〇	五・一二	晴	二三・五	三七二	二九〇	六六二	六	｜	六	六六八
全	六・一一	五・一三	曇	二〇・五	三六二	一九一	五五三	四	五	九	五六二
全	六・一二	五・一四	曇	二一・八	三九九	一三二	五三〇	六	六	一三	五四二
全	六・一三	五・一五	雨	一八・〇	三〇〇	一五〇	四五〇	｜	｜	｜	四五〇
全	六・一四	五・一六	曇	二〇・〇	二六	一〇	三六	｜	｜	｜	三六
全	六・一五	五・一七	曇	二一・七	三二三	七三	三九六	｜	｜	｜	三九六
全	六・一六	五・一八	曇	二一・七	九四九	一二四	一〇七三	｜	｜	｜	一・〇七三
全	六・一七	五・一九	曇	二〇・二	三〇三	二八	五二〇	四	四	八	五二八
全	六・一八	五・二〇	曇	二一・〇	三二八	一六二	三九〇	二	｜	二	三九二
全	六・一九	五・二一	曇	二〇・五	一六三	七二	二三三	二	三	五	二三八
全	六・二〇	五・二二	曇	一九・〇	五八	一四	七二	｜	｜	｜	七二
全	六・二一	五・二三	雨	二一・五	二三三	一二九	三五二	｜	｜	｜	三五二
全	六・二二	五・二四	晴	二〇・九	一九四	一六七	三六一	｜	｜	｜	三六一

全	六・二三	五・二五	晴	二〇・五	一六六	一二八	二九四	｜	｜	｜	二九四
全	六・二四	五・二六	曇	二三・〇	二九七	一五二	四四九	｜	｜	｜	四四九
全	六・二五	五・二七	曇	二二・五	二六六	一三九	四〇五	二	一	三	四〇八
全	六・二六	五・二八	曇	一九・〇	一二〇	九七	二一七	｜	｜	｜	二一七
全	六・二七	五・二九	曇	二三・五	一六三	一四八	三一〇	｜	｜	｜	三一〇
全	六・二八	六・一	曇	二二・四	一二七	九二	二二九	二	｜	二	二三一
全	六・二九	六・二	晴	二二・七	二〇八	一三一	三三九	｜	｜	｜	三三九
全	六・三〇	六・三	曇	二三・〇	三六	二五	六三	｜	｜	｜	六三
全	七・一	六・四	曇	二〇・〇	四三	二三	六五	｜	｜	｜	六五
全	七・二	六・五	曇	二三・五	一四	一五	二九	｜	｜	｜	二九
全	七・三	六・六	曇	二二・六	二〇	四	二四	｜	｜	｜	二四
全	七・四	六・七	曇	二四・五	二	四	六	｜	｜	｜	六
全	七・五	六・八	曇	二六・五	四八	三六	八四	｜	｜	｜	八四
全	七・六	六・九	晴	二八・〇	三三	二六	五八	｜	｜	｜	五八
全	七・七	六・一〇	曇	二二・〇	一四	一〇	二四	｜	｜	｜	二四
全	七・八	六・一一	曇	二〇・〇	四八	八〇	一二八	｜	｜	｜	一二八
全	七・九	六・一二	晴	二三・九	六四	三七	一〇二	｜	｜	｜	一〇二
全	七・一〇	六・一三	曇	二三・五	二四	四〇	六四	｜	｜	｜	六四
全	七・一一	六・一四	曇	二三・七	三〇	八	三八	｜	｜	｜	三八
全	七・一二	六・一五	曇	二四・五	一四	二三	三七	｜	｜	｜	三七
全	七・一三	六・一六	晴	二三・四	一七	一一	二八	｜	｜	｜	二八
全	七・一四	六・一七	晴	二三・五	一八	一二	三〇	｜	｜	｜	三〇
全	七・一五	六・一八	晴	二三・四	一一	二三	三四	｜	｜	｜	三四
全	七・一六	六・一九	曇	二三・四	一七	二〇	三七	｜	｜	｜	三七

放電器一個

仝	九・三	七・九	曇	二七・一	二	二	四	―	―	―	四	
仝	九・四	七・一〇	晴	二五・〇	二一	一三	三四	―	―	―	三四	
仝	九・五	七・一一	曇	二四・〇	七	二	九	―	―	―	九	
仝	九・六	七・一二	晴	二〇・五	一二	二	一四	一	一	六	二〇	
仝	九・七	七・一三	晴	一七・八	一	二	三	―	―	―	三	
仝	九・八	七・一四	曇	二五・二	八	―	八	―	―	三	一一	
仝	九・九	七・一五	雨	二三・七	二	―	二	―	―	―	二	
仝	九・一〇	七・一六	晴	二〇・七	三	一	四	二	―	二	六	
仝	九・一一	七・一七	曇	一九・四	一	―	一	―	―	―	一	
仝	九・一二	七・一八	曇	一八・八	一	―	一	―	二	二	三	
仝	九・一三	七・一九	雨	一八・〇	二	二	四	―	―	―	四	暴風
仝	九・一四	七・二〇	曇	二〇・五	二	―	二	―	―	―	二	
仝	九・一五	七・二一	曇	二〇・六	二	―	二	二	五	七	九	
仝	九・一六	七・二二	雨	一九・一	一	一	二	一	一	二	四	
仝	九・一七	七・二三	晴	一八・二	―	―	―	一	一	二	二	
仝	九・一八	七・二四	晴	一九・九	一	―	一	一	一	二	三	
仝	九・一九	七・二五	晴	一七・八	―	―	―	一	一	二	二	
仝	九・二〇	七・二六	曇	一八・五	―	一	一	―	―	―	一	
仝	九・二一	七・二七	晴	一八・六	―	―	―	―	―	―	―	
仝	九・二二	七・二八	晴	一三・八	―	二	二	―	―	―	二	
仝	九・二三	七・二九	曇	一六・三	―	―	―	―	一	一	一	暴風
仝	九・二四	八・一	雨	一八・四	―	一	一	一	―	一	二	
仝	九・二五	八・二	晴	一六・二	―	―	―	一	―	一	一	
仝	九・二六	八・三	曇	一四・六	―	―	―	―	―	―	―	
仝	九・二七	八・四	晴	一六・〇	―	―	―	―	―	―	―	
仝	九・二八	八・五	曇	一六・〇	―	―	―	―	―	―	―	
仝	九・二九	八・六	晴	一五・一	―	―	―	―	―	―	―	
仝	九・三〇	八・七	曇	二〇・二	―	―	―	―	―	―	―	

備考　温度ハ攝氏ヲ以テシ午後十時ノ観測トス

螟蛾發生期調査

八女郡水田村螟蟲試驗地内ニ適當ノ位置五ケ所ヲ選定シ十燭光電燈点火シテ前夜ノ螟蛾飛來誘殺數ヲ翌朝二化三化並ニ各雌雄ニ別チテ螟蛾發生ノ初期盛期終期ヲ調査セシ結果ハ左表ノ如シ

点火數	月日	月齡	天候	温度	二化螟蟲			三化螟蟲			合計	備考
					雌	雄	小計	雌	雄	小計		
四	五・三〇	五・一	晴	二六・七	二二	六二	八四	一五	一二	二七	一一一	一個故障
五	五・三一	五・二	晴	二六・〇	六	一三	一九	二	五	七	二六	
五	六・一	五・三	晴	二八・〇	三二	九五	一二七	二	七	九	一三六	
五	六・二	五・四	曇	二八・一	三七	一七八	二一五	三	一一	一四	二二九	
五	六・三	五・五	曇後雨	二〇・五	一六	一一六	一三二	二	三	五	一三七	
五	六・四	五・六	雨	二三・七	四	五	九	一	一	二	一一	
五	六・五	五・七	曇	二三・〇	一一	一九	三〇	一	一〇	一一	四一	
五	六・六	五・八	曇	二六・五	二	四六	四八	一	一八	一九	六七	
五	六・七	五・九	曇	二七・九	七	五三	六〇	一	八	九	六九	
五	六・八	五・一〇	曇	二五・〇	一四	八一	九五	―	二六	二六	一二一	
五	六・九	五・一一	曇	二六・九	四	三四	三八	一	一三	一四	五二	
五	六・一〇	五・一二	曇	二八・二	一	一〇	一一	―	六	六	一七	

四	六・一一	五・一三	曇	二九・四	一	一〇	一一	｜	四	四	一五	一個故障
五	六・一二	五・一四	曇	二四・〇	｜	六	六	｜	｜	｜	六	
四	六・一三	五・一五	雨	二六・〇	｜	一五	一五	｜	一	一	一六	一個故障
五	六・一四	五・一六	曇	二四・〇	五	一〇	一五	｜	五	五	二〇	
五	六・一五	五・一七	曇	二三・七	一〇	一六	二六	｜	四	四	三〇	
五	六・一六	五・一八	曇（少雨）	二三・六	八五	五六	一四一	二	一九	二一	一六二	
五	六・一七	五・一九	晴後曇	二三・五	三三	一六八	二〇一	｜	六	六	二〇七	
五	六・一八	五・二〇	晴後曇	二六・五	二三	一六八	一九一	｜	六	六	一九七	
五	六・一九	五・二一	晴	二六・八	三四	一八四	二一八	｜	一三	一三	二三一	
五	六・二〇	五・二二	晴	二六・四	六七	二六一	三二八	｜	三二	三二	三六〇	
五	六・二一	五・二三	曇後雨	二六・八	二	二五	三六	｜	二	二	三八	
五	六・二二	五・二四	曇	二五・二	一〇五	一〇六	二二一	｜	三	三	二二四	
五	六・二三	五・二五	晴	二六・三	七七	一三八	二二五	｜	｜	｜	二二五	
五	六・二四	五・二六	晴	二五・〇	八〇	一二五	二〇五	｜	三	三	二〇八	
五	六・二五	五・二七	曇後雨	二七・五	一七二	一九九	三七一	｜	｜	｜	三七一	
五	六・二六	五・二八	曇後雨	二四・〇	一三三	六三	一九六	｜	｜	｜	一九六	
五	六・二七	五・二九	晴	二六・〇	九八	六六	一六四	｜	｜	｜	一六四	
五	六・二八	六・一	曇後雨	二四・〇	八九	八六	一七五	｜	六	六	一八一	
五	六・二九	六・二	曇	二三・五	三〇	九〇	一二〇	｜	｜	｜	一二〇	
五	六・三〇	六・三	晴	二六・〇	二四二	一九九	四四一	｜	｜	｜	四四一	
五	七・一	六・四	雨	二〇・五	四六	三一	七七	｜	｜	｜	七七	
五	七・二	六・五	雨後曇	二三・九	九七	九二	一八九	｜	｜	｜	一八九	
五	七・三	六・六	雨	三〇・〇	五一	三八	八九	｜	｜	｜	八九	
五	七・四	六・七	曇時々雨	二八・一	一八	七	二五	｜	｜	｜	二五	

五	七・五	六・八	曇	二七・八	一〇	一九	二九	｜	｜	｜	二九
五	七・六	六・九	晴後曇	二七・九	一四	九	二三	｜	｜	｜	二三
五	七・七	六・一〇	曇後雨	二六・八	一九	八	二七	｜	｜	｜	二七
五	七・八	六・一一	晴後曇	二四・五	二	一九	二一	｜	｜	｜	二一
五	七・九	六・一二	晴後曇	二五・八	六	三	九	｜	｜	｜	九
五	七・一〇	六・一三	曇	二六・五	四	三	七	｜	｜	｜	七
五	七・一一	六・一四	曇後雨	二七・〇	一〇	七	一七	｜	｜	｜	一七
五	七・一二	六・一五	曇後晴	二五・〇	四	三	七	｜	｜	｜	七
五	七・一三	六・一六	晴	二九・一	五	二	七	｜	｜	｜	七
五	七・一四	六・一七	晴	二七・九	六	七	一三	二	｜	二	一五
五	七・一五	六・一六	晴	二九・三	五	二	七	二	｜	二	九
五	七・一六	八・一九	晴	三〇・一	一〇	六	一六	二	｜	二	一八
五	七・一七	六・二〇	曇後雨	二七・三	五	七	一二	一五	六	二一	三三
五	七・一八	六・二一	曇	三〇・三	八	九	一七	一二	一	一三	三〇
五	七・一九	六・二二	晴	二九・〇	一〇	九	一九	一三	一	一四	三三
五	七・二〇	六・二三	晴	三〇・三	｜	四	四	一九	一九	三八	四二
五	七・二一	六・二四	曇	三〇・三	一	七	八	四〇	八	四八	五六
五	七・二二	六・二五	晴	二九・九	｜	｜	｜	一六	四	二〇	二〇
五	七・二三	六・二六	晴	二九・〇	｜	｜	｜	一五	五	二〇	二〇
五	七・二四	六・二七	晴	二八・〇	｜	三	三	一三	一三	二六	二九
五	七・二五	六・二八	後曇	三〇・〇	｜	｜	｜	三	七	一〇	一〇
五	七・二六	六・二九	晴	三〇・〇	｜	｜	｜	五	五	一〇	一〇
五	七・二七	七・一	曇	二八・三	｜	｜	｜	三	五	八	八
五	七・二八	七・二	晴	二八・〇	｜	｜	｜	｜	三	三	三

五	七•二九	七•三	晴後曇	三〇•五	―	―	―	―	二	二	二	
五	七•三〇	七•四	曇	三〇•五	―	一	一	二	二	四	五	
五	七•三一	七•五	雨後曇	三〇•二	―	―	―	一	―	一	一	
五	八•一	七•六	晴	三〇•三	―	―	―	―	―	―	―	
五	八•二	七•七	曇	三一•一	―	―	―	一	―	一	一	
五	八•三	七•八	曇（強風）	三〇•七	―	―	―	―	―	―	―	
五	八•四	七•九	雨（強風）	二五•八	―	―	―	―	―	―	―	
五	八•五	七•一〇	晴	二六•〇	―	―	―	―	―	―	―	
五	八•六	七•一一	晴	二八•九	―	―	―	―	―	―	―	
五	八•七	七•一二	晴	二九•〇	―	―	―	―	―	―	―	
五	八•八	七•一三	晴	二八•六	―	三	三	―	―	―	三	
五	八•九	七•一四	晴	二七•七	―	一	一	―	―	―	一	
五	八•一〇	七•一五	晴	二四•〇	―	二	二	―	―	―	二	
五	八•一一	七•一六	晴	二四•五	六	五	一一	―	―	―	一一	
五	八•一二	七•一七	晴	二五•八	七	六	一三	―	―	―	一三	
四	八•一三	七•一八	晴	二三•七	―	三	三	―	―	―	三	一個故障
四	八•一四	七•一九	曇（時々雨）	二五•九	七	六	一三	―	―	―	一三	一個故障
四	八•一五	七•二〇	曇	二五•七	―	―	―	―	―	―	―	一個故障
五	八•一六	七•二一	雨（強風）	二四•五	―	一	一	―	―	―	一	
四	八•一七	七•二二	曇後晴	二四•三	一七二	一〇六	二七八	八八	三八	一二六	四〇四	一個故障
三	八•一八	七•二三	晴	二六•一	九二	八三	一七五	六三	三二	九五	二七〇	二個故障
五	八•一九	七•二四	晴	二六•〇	一八六	一四六	三三二	一〇二	五四	一五六	四八八	
五	八•二〇	七•二五	曇後晴	二六•八	一五三	一四四	二九七	四八	三五	八三	三八〇	
五	八•二一	七•二六	晴	二六•〇	一〇〇	一三〇	二三〇	六七	四二	一〇九	三三九	
五	八•二二	七•二七	晴	二五•五	二七七	一七二	四四九	一三三	五九	一九二	六四一	
五	八•二三	七•二八	晴後曇	二七•八	二九〇	一一六	四〇六	二二〇	八七	三〇七	七一三	
四	八•二四	七•二九	晴	二五•五	六九	七三	一四二	一五九	一一三	二七二	四一四	一個故障
	八•二五	七•三〇	曇後雨	二七•三	―	―	―	―	―	―	―	停電
五	八•二六	七•一	晴後曇	二七•三	一三五	一七二	三〇七	三五四	一九〇	五四四	八五一	
五	八•二七	七•二	晴	二七•三	一八八	五九	二四七	二六三	一四三	四〇六	六五三	
五	八•二八	七•三	晴	二七•三	一二五	四六	一七一	一五七	一〇〇	二五七	四二八	
四	八•二九	七•四	晴	二九•三	六〇	五六	一一六	一三三	九九	二三二	三三八	一個故障
五	八•三〇	七•五	晴	二六•五	六四	六九	一三三	七一	四三	一一四	二四七	
五	八•三一	七•六	曇後晴	二七•三	五一	三三	八四	三五	四二	七七	一六一	
五	九•一	七•七	晴（午後驟雨）	二七•三	五〇	二四	七四	二五	三〇	五五	一二九	
五	九•二	七•八	晴後曇（午後驟雨）	二六•八	二〇	三一	五一	二〇	二九	四九	一〇〇	
五	九•三	七•九	曇	二六•八	一六	二一	三七	五	一二	一七	五四	
五	九•四	七•一〇	雨後曇	二八•〇	二〇	一七	三七	六	―	六	四三	
五	九•五	七•一一	雨後晴	二七•〇	七	五	一二	一	八	九	二一	
五	九•六	七•一二	晴	二五•五	四	一一	一五	一	八	九	二四	
五	九•七	七•一三	晴	二四•八	六	六	一二	一	四	五	一七	
五	九•八	七•一四	晴	二五•三	一	九	一〇	一	―	一	一一	
五	九•九	七•一五	雨	二五•五	―	一	一	―	―	―	一	
五	九•一〇	七•一六	雨後晴	二五•八	二	八	一〇	―	一	一	一一	
五	九•一一	七•一七	曇	二三•〇	四	二	六	―	―	―	六	
五	九•一二	七•一八	晴後曇	二三•〇	四	―	四	―	二	二	六	
五	九•一三	七•一九	曇	二三•五	五	一	六	―	―	―	六	
五	九•一四	七•二〇	晴後曇	二四•〇	九	八	一七	一	―	一	一八	

期間	点火燈数	雌	雄	計	雌	雄	計	備考
自五月十二日至五月二十日	九	二六	一五四	一五四	一七	二七	四四	一個故障
自五月二十一日至六月十日	九	一五	一四	一四	一	一	二	一個故障
自六月十一日至六月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自六月二十一日至七月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自七月十一日至七月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自七月二十一日至八月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自八月十一日至八月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自八月二十一日至九月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自九月十一日至九月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自九月二十一日至十月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十月十一日至十月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十月二十一日至十一月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十一月十一日至十一月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十一月二十一日至十二月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十二月十一日至十二月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十二月二十一日至一月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自一月十一日至一月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自一月二十一日至二月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自二月十一日至二月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自二月二十一日至三月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自三月十一日至三月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自三月二十一日至四月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自四月十一日至四月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自四月二十一日至五月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自五月十一日至五月二十日	九	一	一	一	一	一	一	

右表ヲ更ニ各月半旬別ニ換算シテ螢蛾飛來數ノ多少ヲ示セハ左表ノ如シ

試驗地ニ於ケル午前十時爾後ハ試驗地ニ於ケル午後六時ノ觀測ナリ

期間	点火燈数	雌	雄	計	雌	雄	計	備考
自五月二十一日至六月十日	九	一五六	一五四	一五四	一七	二七	四四	一個故障
自六月十一日至六月二十日	九	一	一	一	一	一	二	一個故障
自六月二十一日至七月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自七月十一日至七月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自七月二十一日至八月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自八月十一日至八月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自八月二十一日至九月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自九月十一日至九月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自九月二十一日至十月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十月十一日至十月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十月二十一日至十一月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十一月十一日至十一月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十一月二十一日至十二月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十二月十一日至十二月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自十二月二十一日至一月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自一月十一日至一月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自一月二十一日至二月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自二月十一日至二月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自二月二十一日至三月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自三月十一日至三月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自三月二十一日至四月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自四月十一日至四月二十日	九	一	一	一	一	一	一	
自四月二十一日至五月十日	九	一	一	一	一	一	一	
自五月十一日至五月二十日	九	一	一	一	一	一	一	

第十一　螟蛾發生時間調査

螟蛾發生期調査ト共ニ一夜内ニ於ケル各時間別即チ日沒ヨリ翌朝消燈時ニ至ル螟蛾ノ飛翔狀況ヲ調査セシニ左表ノ如シ

誘蛾燈点火各時誘殺蛾數調査表

月日	自午後七時至仝八時	自午後八時至仝九時	自午後九時至仝十時	自午後十時至仝十一時	自午後十一時至仝十二時	計	自午後零時至消火	總計
七・五 二化雄	二	二	二	二	二	一〇	一	二〇
自八・一六日至八・二〇日 三	三	二	一	一	一	一〇	一	二〇
自八・二一日至八・二五日 二〇	六〇	一	一	一	一	一	一	四〇
自八・二六日至八・三一日 二九	一〇八	一	一	一	一	一	一	四〇
自九・一日至九・五日 二五	四八	一	一	一	一	一	一	四〇
自九・六日至九・一〇日 二五	四五	一	一	一	一	一	一	四〇
自九・一一日至九・一五日 二五	二七	一	一	一	一	一	一	四〇
自九・一六日至九・二〇日 二四	七	一	一	一	一	一	一	四〇
自九・二一日至九・二五日 二四	一	一	一	一	一	一	一	四〇
自九・二六日至九・三〇日 二五	一	一	一	一	一	一	一	四〇

右表ニ於ケル同一時間内ノ螟蛾飛來數ヲ綜合スレハ左表ノ如シ

誘蛾燈点火各時誘殺蛾數調査表

七・二〇	三化雄	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	二化雄	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	三化雄	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八・二一	二化雄	三	一九	一九	一四	九〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
	三化雄	二	一六	一二	一九	四九	八五	六一	一二	一二	一二	一四
八・二六	二化雄	二	二二	一七	一六	一二	一六	一二	一二	一二	一二	一二
	三化雄	二	二三	二	一二	一二	一八	一二	一二	一二	一二	一二
	二化雄	九	一六	一二	一二	一二	一八	一二	一二	一二	一二	一二
	三化雄	六	一二	一二	一二	一二	一八	一二	一二	一二	一二	一二
八・三〇	二化雄	一五	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
	三化雄	一五	一四	一九	一四	六九	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
九・四	二化雄	七	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
	三化雄	二	一六	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二

	自午後七時至仝八時	自午後八時至仝九時	自午後九時至仝十時	自午後十時至仝十一時	自午後十一時至仝十二時	計	自午前零時至消火	總計
二化 雌	四七	三九	七二	四一	二六	五六九	三八	六〇七
二化 雄	四四	一三	一五	一三	八八	四九四	七九	五七三
三化 雌	一七	二六	二九	九七	四四	五五五	九一	一・六四六
三化 雄		九四	五三	五八	四四	二四九	九九	二四八

備考

一、電燈十燭光点火

二、二化三化螟蟲何レモ午後八時ニ仝九時ニ於テ最モ多ク午後七時ヨリ仝八時ニ至ル間最モ少キモ此ノ時間ニハ未タ陽光アリテ誘蛾燈ノ効力薄弱ナリ次ニ午後十一時ヨリ仝十二時及午前零時ヨリ消燈ニ至ル兩者少ク点火時間ニ換算スルトキハ後者最モ少ナシ

第十二　螟蟲對水稻品種試驗

水稻ノ品質ニヨル螟蟲ノ被害即チ心枯莖數、葉鞘變色莖數刈葉刈株潜伏蟲數及供試水稻品種ノ草丈分蘖數左表ノ如シ

第一回

（自七月十七日至七月二十日）

品種名	調査坪數	草丈 最長	草丈 最短	草丈 平均	分蘖 最多	分蘖 最少	分蘖 平均	心枯莖數
神力三十二號	二坪	一四・三寸	一〇・七寸	一四・二寸	一〇本	二本	六・七本	九本
仝 二十四號	仝	一四・七	一〇・四	一二・四	一五	三	六・六	三
仝 二十三號	仝	一二・五	一〇・二	一二・〇	一五	三	八・一	六
仝 二十號	仝	一四・〇	一〇・三	一二・一	一三	五	八・七	一七
仝 十二號	仝	一三・九	一〇・一	一一・七	一四	五	八・九	一二
福岡早稻二號	仝	一五・四	九・六	一二・〇	一二	二	七・〇	七
福岡中稻三號	仝	一五・五	一〇・五	一二・三	一二	三	八・〇	一五
味坂中稻六號	仝	一五・七	一〇・一	一二・五	一二	三	七・七	一六
仝 五號	仝	一五・六	一〇・〇	一二・〇	一三	三	七・七	一六
仝 二號	仝	一五・五	一一・一	一二・一	一四	四	八・〇	一五
雄町	仝	一六・九	一〇・九	一四・〇	九	二	五・七	二五
萬作	仝	一七・三	一一・四	一五・四	一二	二	五・一	一四
高津	仝	一七・九	一二・八	一五・二	一三	二	六・一	八
白紅屋	仝	一七・三	一〇・七	一四・二	一〇	二	五・八	一六
福岡晩稻五六號	仝	一三・六	九・〇	一〇・七	一二	二	六・五	二
仝 五十七號	仝	一三・五	九・二	一一・四	一三	二	六・七	九
仝 五十六號	仝	一四・二	九・一	一一・八	一三	四	七・八	一六
仝 五十四號	仝	一三・六	八・四	一一・三	一三	三	七・三	七
仝 五十一號	仝	一二・七	九・一	一一・三	一四	三	七・五	六
仝 五十號	仝	一四・〇	九・四	一一・三	一三	三	七・八	三
仝 四十一號	仝	一四・〇	一〇・〇	一一・三	一二	二	七・六	一六
仝 四十號	仝	一三・八	九・五	一一・三	一四	四	八・七	二
仝 三十八號	仝	一三・二	九・六	一一・六	一四	三	八・八	一六
仝 三十六號	仝	一三・〇	九・二	一一・一	一三	三	八・二	一〇
仝 三十四號	仝	一三・〇	九・九	一一・四	一三	三	七・九	一三
仝 三十三號	仝	一三・九	九・四	一一・九	一三	三	七・四	一三
仝 三十一號	仝	一四・〇	九・五	一二・〇	一三	三	七・九	一三
仝 三十號	仝	一五・〇	九・三	一二・〇	一三	三	八・二	一〇
仝 二十八號	仝	一三・八	九・五	一二・一	一四	三	八・八	一六

全　十五號	全	一三・六	一〇・五	一・一七	二	二	七・四	一〇
三島ヨボレ　六十三號	全	一二・五	八・八	一〇・八	一三	二	七・五	一一
全　六十二號	全	一二・六	一〇・〇	一一・三	一四	五	九・三	八

第　二　回　（至自七月十七日　八月四日）

品種名	調査坪數	莖 最長	莖 最短	莖 平均	分蘖 最多	分蘖 最少	分蘖 平均	心枯莖數
早稻神力三十二號	二坪	一三・〇寸	一一・五寸	一二・八寸	六本	八本	一七・五本	六本
全　二十四號	全	一三・一	一二・三	一二・一	一三	六	一二・七	一二
全　二十三號	全	一一〇・六	一一・七	一八・八	一七	八	一六・九	四七
全　二十號	全	一一一・三	一六・〇	一六・四	一〇	八	一七・八	一六
全　十二號	全	一一一・六	一七・〇	一六・九	一〇	一〇	一八・七	一六
福岡早稻二號	全	一一一・三	一三・八	一八・一	一七	七	一八・三	一
福岡中稻三號	全	一一一・七	一三・四	一八・三	一二	五	一九・九	一
保坂中稻六號	全	一一一・三	一一・三	一九・一	一五	八	一八・五	一
全　五號	全	一一一・五	一七・〇	一一〇・一一	一八	一一	一七・四	一
全　二號	全	一一一・四	一五・六	一九・六	一七	八	一六・八	一
雄町	全	一一四・〇	一五・六	一一〇・〇	一四	五	一一・三	一
高作	全	一六・五	一七・六	一一・七	一〇	三	一一・六	一
高瀬	全	一六・〇	一七・五	一一・七	一七	三	一一・一	一
白眉	全	一六・〇	一八・五	一八・一	一六	一	一六・〇	一
福岡國稻五八號	全	一六・五	八・七	一四・一	一一	四	一四・四	一
紅五十七號	全	一八・五	一〇・七	一六・一	一八	四	一五・四	一

第　三　回　（至自八月十二日　八月二十日）

品種名	調査坪數	莖 長	莖 最	莖 最短	莖 平均	分蘖 最多	分蘖 最少	分蘖 平均	心枯莖數
早稻神力三十二號	二坪	一〇・五本	一二・五寸	一五・四寸	一六本	四本	一五・〇本	一本
全　二十四號	全	一三・六	一五・〇	一六・一	一三	一	一一・五	一
全　二十三號	全	一六・五	一一〇・〇	一六・七	一五	一一	一五・四	一
全　五十六號	全	一八・三	一一・四	一一〇・四	一七	六	一六・八	一
全　五十四號	全	一八・一	一一・一	一五・六	一七	六	一六・〇	一
全　五十一號	全	一八・七	一一・三	一六・三	一六	八	一七・七	一
全　五十號	全	一九・三	一五・九	一六・五	一六	一〇	一八・一	一
全　四十一號	全	一〇・〇	一一・三	一七・一	一〇	六	一九・七	一
全　四十號	全	一八・一	一五・八	一六・一	一五	一一	一一・四	一
全　三十八號	全	一八・八	一一・一	一六・一	一〇	六	一九・四	一
全　三十六號	全	一七・八	一一・七	一六・三	一〇	一〇	一一〇・九	一
全　三十四號	全	一八・七	一四・三	一六・一	一七	一〇	一一〇・五	一
全　三十三號	全	一九・〇	一四・三	一七・一	一六	一一	一四・六	一
全　三十一號	全	一九・五	一四・四	一六・九	一五	一一	一四・三	一
全　三十號	全	一九・三	一五・五	一六・九	一五	九	一四・五	一
全　二十八號	全	一九・六	一一・七	一八・四	一三	一〇	一一・六	一
全　十五號	全	一一〇・〇	一一・三	一七・六	一四	八	一一・六	一
三島ヨボレ　六十三號	全	一一〇・三	一一・五	一七・一	一九	一	一八・九	一一
全　六十二號	全	一一〇・三	一五・六	一七・八	一六	一一	一一五・〇	一一

全二十號	全	二九・八	一九・〇	二四・五	一九	一	六・一	｜
全十二號	全	三〇・〇	一八・三	二五・一	一六	二	七・二	｜
福岡早稻二號	全	三二・〇	二三・七	二六・七	二六	九	一七・七	一五
福岡中稻三號	全	三〇・七	二〇・〇	二四・一	一九	九	一六・九	二二
味坂中稻六號	全	三〇・一	二五・四	二七・三	二三	八	一六・五	一〇
全五號	全	二九・四	二四・八	二七・一	二七	五	一六・五	一〇
全二號	全	三〇・五	二三・〇	二七・〇	二五	七	一五・八	一三
雄町	全	三九・七	二六・〇	二九・七	二三	五	一一・二	一六
萬作	全	三四・八	二六・〇	二九・五	一五	三	一三・一	二五
高津	全	三七・五	二七・〇	三一・九	一八	五	一〇・八	二二
白紅屋	全	三五・五	二六・〇	三〇・七	二四	九	一五・〇	｜
福岡晩稻五八號	全	二七・七	一四・五	二二・七	二九	七	一九・一	一三
全五十七號	全	二六・七	一八・〇	二三・三	三二	九	一八・八	二〇
全五十六號	全	二五・五	二二・二	二三・四	三〇	一〇	一七・八	二六
全五十四號	全	二七・〇	一九・九	二四・三	二六	九	一八・六	二四
全五十一號	全	二六・七	二一・五	二四・一	三〇	一〇	一七・九	二三
全五十號	全	二七・七	二〇・七	二五・〇	二六	一〇	一八・八	二三
全四十一號	全	二七・五	二三・五	二五・一	三三	九	二〇・〇	二九
全四十號	全	二七・〇	一九・八	二四・〇	三五	一三	二三・〇	一六
全三十八號	全	二七・六	一八・五	二三・七	三八	九	二五・四	一七
全三十六號	全	二七・五	二三・二	二四・三	四三	一二	二〇・七	二
全三十四號	全	二六・三	二二・〇	二五・四	三四	一〇	一九・一	一三
全三十三號	全	二五・七	二一・五	二三・七	三七	一〇	一九・五	一五
全三十一號	全	二七・五	二〇・〇	二三・九	三二	九	一九・六	二〇
全三十號	全	二七・〇	二〇・〇	二三・四	三六	一三	二〇・〇	一三
全二十八號	全	二七・六	二二・五	二五・二	三五	一五	二〇・一	二〇
全十五號	全	二七・六	二一・五	二五・七	二九	九	一八・六	二六
三島コボレ六十三號	全	二七・六	二〇・三	二五・〇	三六	八	一八・八	｜
全六十二號	全	二九・〇	二〇・三	二五・三	四六	一一	二〇・一	｜

第四回

（自八月廿九日至九月五日）

品種名	調査坪數	莖長			分蘖			葉稍變色莖
		最長	最短	平均	最多	最少	平均	
早稻神力三二號	二坪	三四・〇寸	二四・〇寸	二九・七寸	三五本	三本	一六・六本	｜本
全二十四號	全	二七・五	二一・〇	二六・三	二九	九	一六・七	｜
全二十三號	全	三三・〇	二三・〇	二六・五	三〇	一〇	一九・三	｜
全二十號	全	三三・五	二七・三	三〇・五	二六	八	一八・三	｜
全十二號	全	三三・五	二七・〇	三一・〇	二七	一〇	一七・六	｜
福岡早稻二號	全	三三・五	一七・〇	二五・一	三三	一	一七・六	一
福岡中稻三號	全	三六・六	一六・九	三三・四	｜	｜	一六・七	四
味坂中稻六號	全	三三・八	二〇・五	三三・三	｜	｜	一五・六	二
全五號	全	三四・六	二四・四	三一・五	｜	｜	一六・四	｜
全二號	全	三三・九	二六・二	三一・六	｜	｜	一五・七	一
雄町	全	三七・〇	一六・八	三三・六	｜	｜	一一・二	一
萬作	全	四二・二	二四・四	三五・八	｜	｜	一一・九	二
高津	全	四〇・五	二三・八	三五・二	｜	｜	一〇・七	一五
白紅屋	全	三六・八	一八・六	二七・八	｜	｜	一五・〇	一五

品種名	調査坪數	長 整 最長	長 整 最短	長 整 平均	分 最多	分 最少	分 平均	業稻壁色性
福岡早稻二號	二坪	三五・二寸	二六・七寸	三四・四寸	三〇本	三本	二五・八本	一・五

第五回

（自九月十一日至九月十八日）

品種名	調査坪數	長 整 最長	長 整 最短	長 整 平均	分 最多	分 最少	分 平均	業稻壁色性
福岡晚稻五八號	全	三〇・五	二・六	二五・三	—	—	一九・〇	—
全 五七號	全	三二・六	二五・二	二六・二	—	—	一八・七	—
全 六號	全	三二・六	二五・七	二六・八	—	—	一八・五	—
全 四號	全	三二・九	二二・六	二六・二	—	—	一八・四	—
全 五一〇號	全	三三・〇	二五・四	二六・三	—	—	一七・七	—
全 四五號	全	三二・九	二六・二	二六・二	—	—	一八・六	四
全 四六八號	全	三二・六	二六・〇	二六・三	—	—	一八・七	一
全 三三〇號	全	三二・四	二四・五	二六・四	—	—	二二・六	一
全 三六二號	全	三〇・六	二二・四	二七・二	—	—	二二・二	—
全 三四三號	全	三〇・四	二二・四	二七・〇	—	—	二〇・七	二
全 三三一號	全	二九・九	二二・二	二六・九	—	—	一九・〇	二
全 三三一號	全	三〇・二	二二・二	二七・四	—	—	一九・三	二
全 三二〇號	全	二九・四	二〇・六	二六・八	—	—	一九・四	二
全 二八二號	全	三二・二	二五・六	二六・七	—	—	一九・九	四
全 一五一號	全	三二・九	二六・八	二九・七	—	—	一八・四	二
三島ヨガレ 六三號	全	三二・五	二五・二	二五・八	—	—	一八・八	—
全 六二號	全	三二・三	二二・九	二五・〇	—	—	二〇・一	二
福岡晚稻五八號	全	三〇・五	二・六	二二・三	—	—	一九・〇	—
全 五七號	全	三二・六	二五・二	二六・二	—	—	一八・七	—
全 五六號	全	三二・六	二五・七	二六・八	—	—	一八・五	—
全 五五號	全	三二・九	二二・六	二六・二	—	—	一八・四	—
全 五四號	全	三三・〇	二五・四	二六・三	—	—	一七・七	—
全 四一〇號	全	三二・九	二六・二	二六・二	—	—	一八・六	四
全 四〇一號	全	三二・六	二六・〇	二六・三	—	—	一八・七	一
全 三八六號	全	三二・四	二四・五	二六・四	—	—	二二・八	一
全 三四〇號	全	三〇・六	二二・二	二二・二	—	—	二二・二	—
全 三三一號	全	三〇・四	二二・四	二二・〇	—	—	二〇・七	二
全 三三一號	全	二九・九	二二・九	二二・九	—	—	二〇・九	一
全 三二〇號	全	三〇・二	二二・二	二二・四	—	—	一九・二	一
全 二八二號	全	二九・四	二〇・六	二六・八	—	—	一九・四	二
全 一五一號	全	三二・九	二六・八	二九・七	—	—	一八・四	二
三島ヨガレ 六三號	全	三二・五	二五・二	二五・八	—	—	一八・八	—
全 六二號	全	三二・三	二二・九	二五・〇	—	—	二〇・一	二
福岡晚稻五八號	全	三〇・五	二・六	二二・三	—	—	一九・〇	—
全 味坂中稻六號	全	三二・六	二五・二	二六・二	—	—	一八・七	—
全 五二號	全	三二・二	二五・七	二六・八	—	—	一八・六	—
全 高雄町	全	三二・〇	二五・四	二六・〇	—	—	一八・四	—
全 高雄作津	全	三二・九	二二・八	二四・二	—	—	一一・四	—
全 高雄屋紅	全	三二・〇	二五・二	二五・三	—	—	一〇・〇	—
福岡晚稻五八號	全	三二・九	二二・〇	二四・四	—	—	一四・一	—
全 五七號	全	三二・二	二二・四	二五・二	—	—	一四・一	—
全 五六號	全	三四・六	二二・六	二二・八	—	—	一二・二	—
全 五五號	全	三四・八	二二・六	二二・二	—	—	一二・二	—
全 五四號	全	三二・〇	二二・二	二二・二	—	—	一二・二	—
全 四一〇號	全	三二・二	二二・二	二二・〇	—	—	一〇・七	二
全 四〇一號	全	三二・六	二二・〇	二二・二	—	—	一〇・九	二
全 三八六號	全	三二・四	二〇・六	二六・八	—	—	一九・二	二
全 三四〇號	全	三〇・六	二二・二	二二・二	—	—	二二・二	—
全 三三一號	全	三〇・四	二二・四	二二・〇	—	—	二〇・七	二
全 三三一號	全	二九・九	二二・九	二二・九	—	—	二〇・九	一
全 三二〇號	全	三〇・二	二二・二	二二・四	—	—	一九・二	一
全 二八二號	全	二九・四	二〇・六	二六・八	—	—	一九・四	二
全 一五一號	全	三二・九	二六・八	二九・七	—	—	一八・四	二
三島ヨガレ 六三號	全	三二・五	二五・二	二五・八	—	—	一八・八	—
全 六二號	全	三二・三	二二・九	二五・〇	—	—	二〇・一	二

三島コギレ六三號	全	三四・五	二六・六	三二・八	二三	九・七	二六・一	六
全 六二號	全	三九・四	二六・二	三二・九	二五	九	二六・〇	三

第六回 （大正九年三月中旬）

品種名	調査坪數	總莖數	被害莖數	刈溝伏蟲數 二化	刈溝伏蟲數 三化	刈株溝伏蟲數 二化	刈株溝伏蟲數 三化
早稻神力二二號	四坪	三九〇一	九六	三四	一	一六	一四
全 二〇號	全	四〇一八	一四四	八	一	二〇	一
全 二二三號	全	四〇四二	七三	八	一	一七	一
全 二四號	全	三九二二	六九	二	一	二二	二
全 三二二號	全	三九〇六	一八	一	一	二三	二
福岡早稻 二號	全	三六二四	二五	一三	一	九五	一
高 津	全	三四〇	二七四	六二	一	九六	一
高 作	全	二四六	二二〇	二五	一	六〇	二
雄 町	全	二六〇八	七八	四	一	四八	二
白 紅 屋	全	三一四〇	九三	六	一	四二	一
味坂中稻 二號	六	三六二	二二	七	一	三二	八
全 五號	全	三二〇	二七〇	二	一	二二	一
全 六號	全	三一六七	一六八	六六	一	四二	二
福岡中稻 三號	全	三六二九	三四一	二四	一	一四	一
福岡晩稻 一五號	全	三八一八	一八三	二七	一	四七	六
全 二八號	全	三九五五	二三五	一九	一	四三	二
全 三〇號	全	三八六六	八五	一五	一	三二	二
全 三一號	全	三九三四	八七	二	一	二九	三
全 三三號	全	三六二二	六三	八	一	四六	二
全 三四號	全	三四九	四一	五	一	三五	三
全 三六號	全	四〇六四	一〇六	一九	一	一六	二
全 三八號	全	三九九	九一	一〇	一	三五	六
全 四〇號	四	四〇七六	三二	六六	一	三〇	六
全 四一號	全	三九四六	三〇三	一六	一	四〇	五
全 五〇號	全	四〇〇一	一五五	一〇	一	三〇	四
全 五一號	全	三九六六	一六六	一八	一	三六	一〇
全 五四號	全	三六六六	一一七	一〇	一	二八	一〇
全 五六號	全	三六六五	八二	一〇	一	二〇	一二
全 五七號	全	四〇二九	一六五	四	一	四三	一六
全 五八號	全	三六二四	一四八	七	一	三一	八
三島コギレ六二號	全	四〇四六	九五	七	一	四七	六
全 六三號	全	三六二九	五二	一	一	六三	一

第十三、蟲害對苗代肥料配合量試驗

苗代肥料配合量表 （反當施用量）

試驗別	窒素	燐酸	加里
全 標準區	二・〇〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇
全 窒素三倍區	六・〇〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇
〃 燐酸二倍區	四・〇〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇
〃 加里二倍區	二・〇〇〇	一	一

試驗區別	調査坪數	莖 最長	莖 最短	莖 平均	莖 最多	莖 最少	莖 平均	莖 心枯莖數
區、全半量								
無窒素區	一・〇〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	二〇	八	一三・二	一
燐酸三倍區	二・〇〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	一四	六	一〇・〇	一
全二倍區	二・〇〇〇	五・四〇〇	八・一〇〇	五・四〇〇	一四	六	一〇・八	一
全單用區	一	二・七〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	一四	七	一一・三	一
全半量區	二・〇〇〇	一・三五〇	二・七〇〇	二・七〇〇	一六	七	一〇・九	一
無燐酸區	二・〇〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	一三	六	八・八	一
加里三倍區	二・〇〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	一四	七	一一・三	一
全二倍區	二・〇〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	一四	六	一〇・六	一
全單用區	一	二・七〇〇	二・七〇〇	二・七〇〇	一四	七	一〇・九	一
全半量區	二・〇〇〇	二・七〇〇	五・四〇〇	二・七〇〇	一四	五	一〇・〇	一
無加里區	二・〇〇〇	一・三五〇	二・七〇〇	一・三五〇	一四	六	八・八	一
無肥料區	一	一	一	一	一四	七	七・三	一

右表ノ如ク肥料配合量ヲ異ニシテ育成セシ苗ヲ本田ニ於テ標準肥料（反當窒素二、〇〇〇燐酸三、〇〇〇加里三、〇〇〇）ヲ施シ以テ單ニ苗ノ生育狀況ノ差異ニ因ル螟蟲ノ被害即チ心枯莖數葉鞘變色莖數刈藁刈株潛伏蟲數及供試水稻ノ草丈分蘖數ヲ調査セシニ左表ノ如シ

第一回

（自八月十二日 至八月廿日）

試驗別	調査坪數	莖 最長	莖 最短	莖 平均	莖 最多	莖 最少	莖 平均	莖 心枯莖數
標準區	一坪	一五・一寸	一一・五寸	一三・〇寸	一五本	七本	一一・〇本	一
窒素三倍區	全	一三・六	八・六	一二・二	一四	三	七・三	一
窒素二倍區	全	一五・九	一二・〇	一一・九	二〇	八	一三・二	一
窒素單用區	全	一三・五	一〇・二	一一・八	一四	六	一〇・〇	一
窒素半量區	全	一五・三	九・七	一一・五	一四	五	一〇・八	一
無窒素區	全	一二・八	一〇・一	一一・五	一四	七	一一・三	一
燐酸三倍區	全	一三・五	一〇・六	一一・四	一四	七	一〇・九	一
燐酸二倍區	全	一四・〇	一一・三	三・九	一六	七	九・九	一
燐酸單用區	全	一一・〇	八・七	九・九	一三	六	八・八	一
燐酸半量區	全	一四・四	一〇・四	一二・六	一四	七	一〇・六	一
無燐酸區	全	一三・一	一〇・八	一二・〇	一四	六	九・三	一
加里三倍區	全	一四・〇	四〇・一	一二・〇	一五	七	一〇・六	一
加里二倍區	全	一七・〇	一〇・六	八・九	一四	六	一四・一	一
加里單用區	全	一三・八	九・一	一〇・四	一三	五	九・〇	一
加里半量區	全	一三・一	一〇・〇	一一・七	一四	六	九・六	一
無加里區	全	一四・七	一〇・七	一二・五	一五	八	一一・〇	一
無肥料區	全	一二・一	九・〇	一〇・七	一四	五	九・二	一

第二回

（自七月廿七日 至八月四日）

試驗區別	調査坪數	莖 最長	莖 最短	莖 平均	莖 最多	莖 最少	莖 平均	莖 心枯莖數
標準區	一坪	二三・五寸	一三・〇寸	一九・五寸	三四本	一一本	二六・六本	二四
窒素三倍區	全	二三・七	一五・〇	一九・三	二九	一九	一七・四	一三
窒素二倍區	全	二二・七	一八・五	二一・五	二八	一九	二九・一	二三
窒素單用區	全	二二・〇	一五・〇	一九・二	二一	一〇	二二・七	二四

窒素半量區	全	二三・〇	二六・〇	二〇・二	三六	二二	二五・二	二二
無窒素區	全	二三・〇	二六・五	二六・六	三五	二五	二六・四	八
燐酸三倍區	全	二三・〇	二六・六	二九・二	三六	二八	二六・二	六二
燐酸二倍區	全	二三・〇	二八・〇	二〇・四	三五	二四	二五・七	九
燐酸單用區	全	二〇・五	二〇・六	二六・〇	三五	二三	二三・〇	二二
燐酸半量區	全	二二・五	二八・七	二〇・八	三五	二七	二六・七	四八
無燐酸區	全	二二・八	二七・三	二九・八	三三	二三	二四・六	九
加里三倍區	全	二二・〇	二七・六	二六・五	三二	二五	二六・二	六
加里二倍區	全	二二・五	二七・〇	二〇・〇	三五	二六	二五・七	六九
加里單用區	全	二〇・三	二四・〇	二六・〇	三五	二五	二四・三	七
加里半量區	全	二二・八	二八・六	二〇・四	三九	二六	二五・七	四
無加里區	全	二三・六	二七・六	二九・三	四〇	二六	二五・二	四九
無肥料區	全	二九・七	二六・三	二八・六	四四	二六	二四・六	一

第二回　（自八月十二日至八月二十日）

試驗區別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	分蘖 最多	分蘖 最少	分蘖 平均	心枯莖數
標準區	一坪	三一寸・五	二二寸・五	二七寸・五	三〇	二一本	二五本・四	六本
窒素三倍區	全	三二・〇	二五・〇	二七・六	三九	二二	二四・七	五
窒素二倍區	全	三二・五	二二・六	二九・二	三四	二二	二四・二	一
窒素單用區	全	三〇・〇	二五・〇	二六・九	三五	二二	二五・〇	四
窒素半量區	全	三二・〇	二四・五	二六・五	三六	二二	二五・七	四
無窒素區	全	二九・六	二六・三	二七・七	三七	二七	二六・五	四七

第四回　（自八月二十九日至九月五日）

試驗區別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	分蘖 最多	分蘖 最少	分蘖 平均	葉脈變色程
標準區	一坪	三三寸・九	二八寸・三	三三寸・〇	二七本	一本	八本・九	一本
窒素三倍區	全	三三・七	二九・九	三二・一	二四	二	七・八	二
窒素二倍區	全	三三・九	三二・三	三〇・六	二二	三	二三・三	二
窒素單用區	全	三二・五	二八・四	二七・四	二六	一	七・九	六
窒素半量區	全	三三・九	二四・一	三〇・一	二二	三	二二・五	一
無窒素區	全	三二・三	二〇・三	二六・二	二五	二	八・三	二
燐酸三倍區	全	三三・三	二二・六	二五・二	二四	四	八・〇	四
燐酸二倍區	全	三二・六	二七・八	三〇・〇	二七	七	二二・七	一

試驗別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	分蘖 最多	分蘖 最少	分蘖 平均	葉綿羽色程
燐酸單用區	全	二九・四	二〇・一	二九・二	二二	一	五・五	—
燐酸牛糞區	全	三一・四	二一・九	二九・七	二二	一	二一・三	一
無燐酸區	全	三二・五	二九・五	二七・八	二六	七	八・四	八
加里三倍區	全	三一・六	二四・九	二六・二	二三	四	九・一	三
加里二倍區	全	三三・八	二二・六	二六・八	二九	四	二一・八	二
加里單用區	全	二九・九	二八・二	二三・二	二二	一	五・八	一
加里牛糞區	全	三一・七	二二・九	二七・七	二二	五	一〇・一	一
無加里區	全	三五・六	二九・〇	二六・一	二三	一	七・九	三
無肥料區	全	二四・三	二〇・一	二四・八	二七	一	六・八	—

第五回

（九月十八日）

試驗別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	分蘖 最多	分蘖 最少	分蘖 平均	葉綿羽色程
標準區	一坪	三五・七寸	二六・二寸	三二・九寸	二六本	二二本	二〇・〇本	五本
窒素三倍區	全	三六・〇	三一・二	三三・六	二九	七	二〇・四	—
窒素二倍區	全	三九・九	三二・三	三三・六	二二	二	二〇・九	二
窒素單用區	全	三六・二	三二・一	三三・九	二二	一四	二〇・九	—
窒素牛糞區	全	三六・二	二九・〇	三三・三	二四	二二	二二・〇	—
無窒素區	全	三五・八	三二・九	三三・九	二四	一四	二三・一	—
燐酸三倍區	全	三五・九	三二・九	三三・〇	二二	一七	二二・七	—
燐酸二倍區	全	三五・九	三〇・四	三三・〇	二二	一二	二〇・二	一
燐酸單用區	全	三七・九	三二・一	三三・九	二二	一四	二〇・九	—
燐酸牛糞區	全	三六・一	三二・四	三四・〇	二〇	二二	二二・六	一

第六回

（大正九年三月中旬）

試驗別	調査坪數	總莖數	被害莖數	刈籾潛伏蟲數 二化	刈籾潛伏蟲數 三化	刈株潛伏蟲數 二化	刈株潛伏蟲數 三化
標準區	一坪	六三六	三六	五五	一	一四五	二五
窒素三倍區	全	六六七	二二	一	一	九	四
窒素二倍區	全	六三五	三三	二	一	一一	三
窒素單用區	全	七〇一	二九	五	一	一五	一
窒素牛糞區	全	六三二	二二	二	一	八	一
無窒素區	全	七六六	二六	二	一	六	一
燐酸三倍區	全	七六六	二二	二	一	一四	二二
燐酸二倍區	全	六六二	六	一	一	二	三
燐酸單用區	全	七二二	二六	三	一	四	一
燐酸牛糞區	全	六六九	二六	二	一	六	一
無燐酸區	全	七四四	二四	二	一	五	一
加里三倍區	全	六五五	三〇	二	一	六	一

第十四　螟蟲對本田肥料配合量試驗

肥料配合量（反當施用量）

試驗區別	窒素	燐酸	加里
標準區	二貫〇〇〇	三貫〇〇〇	三貫〇〇〇
窒素三倍區	八・一〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇
窒素二倍區	五・四〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇
窒素單用區	二・七〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇
窒素半量區	一・三五〇	—	—
無窒素區	—	三・〇〇〇	三・〇〇〇
燐酸三倍區	二・七〇〇	九・〇〇〇	三・〇〇〇
燐酸二倍區	二・七〇〇	六・〇〇〇	三・〇〇〇
燐酸單用區	—	三・〇〇〇	三・〇〇〇
燐酸半量區	二・七〇〇	一・五〇〇	三・〇〇〇
無燐酸區	二・七〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇
加里三倍區	二・七〇〇	三・〇〇〇	九・〇〇〇
加里二倍區	二・七〇〇	三・〇〇〇	六・〇〇〇
加里單用區	—	三・〇〇〇	三・〇〇〇
加里半量區	二・七〇〇	三・〇〇〇	一・五〇〇
無加里區	二・七〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇
無肥料區	—	—	六・〇〇〇

苗代期ニ於テハ標準肥料（反當窒素二、〇〇〇貫燐酸二、七〇〇貫加里二、七〇〇）ニテ育成シ本田ニ於テハ前表ノ肥料配合量ヲ施用シ其ノ配合量ニヨル螟蟲ノ被害即チ心枯莖數、葉鞘變色莖數、刈藁刈株潛伏虫ノ程度及供試水稻ノ草丈、分蘖數ヲ調査セシニ左表ノ如シ

第一回（自七月十七日至七月二十日）

試驗區別	調査坪數	草長 最長	草長 最短	草長 平均	分蘖數 最多	分蘖數 最少	分蘖數 平均	心枯莖數
標準區	二坪	一四・一寸	一〇・六寸	一〇・七寸	一三本	六本	九・三本	—
窒素三倍區	仝	一六・八	一〇・五	一三・三	一九	九	一三・〇	—
窒素二倍區	仝	一五・二	一〇・八	一三・〇	一四	六	一二・四	—
窒素單用區	仝	一五・〇	八・六	一三・一	一三	三	一一・八	—
窒素半量區	仝	一三・一	一〇・三	一一・六	一三	五	八・七	—
無窒素區	仝	一二・六	九・二	一一・一	一二	四	七・一	—
燐酸三倍區	仝	一三・八	一〇・三	一一・九	一三	五	八・七	—
燐酸二倍區	仝	一三・八	一〇・三	一三・〇	一四	六	九・八	—
燐酸單用區	仝	一二・四	九・一	一〇・九	一二	三	七・二	—
燐酸半量區	仝	一三・七	九・八	一二・一	一三	五	九・二	—
無燐酸區	仝	一三・五	一〇・二	一二・三	一三	四	八・七	—

試驗區別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	分蘖數 一株最多莖數	分蘖數 一株最少莖數	分蘖數 平均	心枯莖數
加里三倍區	二坪	一四・三	九・五	一二・一	一七	六	一〇・八	—
加里二倍區	全	一四・七	一〇・九	一二・五	一七	四	九・九	—
加里單用區	全	一四・六	九・六	一二・三	一九	四	一〇・五	—
加里牛糞區	全	一四・八	九・四	一二・二	一五	三	九・三	—
無加里區	全	一三・八	九・六	一二・七	一四	三	八・七	—
無厩料區	全	一二・七	八・〇	一〇・五	九	三	六・四	—

第二回（自七月二十七日至八月二十四日）

試驗區別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	分蘖數 一株最多莖數	分蘖數 一株最少莖數	分蘖數 平均	心枯莖數
標準區	二坪	二一寸・〇	一五寸・五	一八寸・五	一六	一一	一三・六	一三〇
窒素三倍區	全	二四・五	一五・五	二一・四	一九	一九	一六・一	一九一
窒素二倍區	全	二六・五	一六・四	二〇・二	一九	一六	一五・一	一〇七
窒素單用區	全	二三・三	一五・五	一七・七	一四	一七	一三・九	一八七
窒素牛糞區	全	二二・九	一五・二	一八・二	一六	一四	一二・七	一一六
無窒素區	全	一八・五	一四・〇	一六・四	一九	一七	一二・三	一四
燐酸三倍區	全	二二・五	一七・〇	一八・九	一六	一〇	一六・八	八九
燐酸二倍區	全	二二・〇	一四・八	一八・五	一六	一〇	一六・五	一一八
燐酸單用區	全	一九・五	一二・七	一六・二	一八	七	一二・五	一四七
燐酸牛糞區	全	二二・〇	一四・三	一八・四	一六	一一	一六・五	一四
無燐酸區	全	二〇・五	一四・六	一八・五	一四	一一	一六・〇	一四
加里三倍區	全	二三・〇	一四・五	一九・二	一四	一〇	一二・三	一四
加里二倍區	全	二二・五	一六・三	一九・一	一四	一一	一二・〇	八九

試驗區別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	分蘖數 最多	分蘖數 最少	分蘖數 平均	心枯莖數
加里單用區	二坪	二六・六	一二・〇	一九・二	一四	一三	一四・九	六四
加里牛糞區	全	二四・一	一六・二	一八・九	一九	一一	一二・九	五一
無加里區	全	二二・〇	一五・一	一八・五	一二	一一	一九・六	一二
無厩料區	全	一九・五	一二・〇	一五・四	一五	一二	一一・八	一七

第三回（自八月十二日至八月二十日）

試驗區別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	分蘖數 最多	分蘖數 最少	分蘖數 平均	心枯莖數
標準區	二坪	二五寸・五	一〇寸・八	二二寸・六	二六	一一	一九・一	一六
窒素三倍區	全	二〇・五	一二・九	一六・六	一四	一六	一六・一	—
窒素二倍區	全	二九・八	一〇・七	一六・六	一二	一二	一〇・四	—
窒素單用區	全	二七・五	一九・一	一四・一	一二	八	一八・二	—
窒素牛糞區	全	二五・一	一〇・〇	一二・〇	一二	一一	一六・〇	—
無窒素區	全	二二・五	一七・七	一二・四	一〇	八	一五・五	—
燐酸三倍區	全	二六・六	一〇・一	一四・〇	一六	九	一六・一	—
燐酸二倍區	全	二五・五	一〇・〇	一二・二	一四	一〇	一七・一	二五
燐酸單用區	全	二二・二	一九・〇	一一・九	一二	七	一二・八	二四
燐酸牛糞區	全	二六・一	一二・〇	一四・二	一四	一一	一七・〇	一五
無燐酸區	全	二六・五	一〇・二	一四・二	一六	八	一七・二	二〇
加里三倍區	全	二七・一	一〇・八	一四・八	一二	一一	一六・八	一一
加里二倍區	全	二七・八	一二・六	一四・六	一〇	一一	一七・一	一〇
加里單用區	全	二九・二	一九・五	一二・〇	一四	一一	一九・〇	一二
加里牛糞區	全	二七・六	一一・〇	一〇・一	一六	九	一六・一	一一

無加里區	二坪	三五・八	三二・五	三三・八	二六	一一	一七・一	四
無肥料區	全	三二・八	九・三	三二・〇	三六	一	一三・三	三四

第四回（自八月二十九日至九月五日）

試驗區別	調査坪數	葉長 最長	葉長 最短	葉長 平均	分蘖數 最多	分蘖數 最少	分蘖數 平均	葉稍變色葉數
標準區	二坪	二七・四寸	二四・五寸	二七・三寸	一	一	一七・一本	二六
窒素三倍區	全	三二・五	二七・三	二七・五	一	一	一六・一	一
窒素二倍區	全	三二・八	二五・五	二九・一	一	一	二〇・四	一
窒素單用區	全	二九・六	二九・九	二七・四	一	一	一八・三	一
窒素半量區	全	二六・五	二二・二	二五・九	一	一	一六・〇	一
無窒素區	全	二七・〇	二二・二	二四・五	一	一	一三・五	一
燐酸三倍區	全	二〇・六	二二・二	二七・六	一	一	一八・一	四
燐酸二倍區	全	二六・九	二四・五	二六・五	一	一	一七・九	一
燐酸單用區	全	二七・〇	二一・七	二四・八	一	一	一三・二	一
燐酸半量區	全	二九・一	二二・一	二六・七	一	一	一七・五	一
無燐酸區	全	二六・九	二二・八	二六・四	一	一	一八・〇	二
加里三倍區	全	二九・七	二二・六	二七・〇	一	一	一七・六	一
加里二倍區	全	二七・九	二二・六	二六・七	一	一	一七・八	四
加里單用區	全	二二・八	二二・二	二二・三	十	十	一九・七	一
加里半量區	全	二二・〇	二二・九	二六・七	十	十	一七・〇	一
無加里區	全	二九・八	二二・九	二六・七	十	十	一八・二	一
無肥料區	全	二七・六	二〇・六	二二・九	十	十	一二・七	一

第五回（自九月十八日至九月十一日）

試驗區別	調査坪數	葉長 最長	葉長 最短	葉長 平均	分蘖數 最多	分蘖數 最少	分蘖數 平均	葉稍變色葉數
標準區	二坪	二四・一寸	二九・九寸	二三・一寸	二九本	一〇本	一一・九本	三本
窒素三倍區	全	二七・二	二〇・九	二四・五	二〇	八	一一・九	四
窒素二倍區	全	二五・九	二九・七	二二・五	二〇	一〇	一七・八	一
窒素單用區	全	二四・四	二六・二	二一・七	一一	七	一五・一	一
窒素半量區	全	二四・五	二八・五	二一・六	二	八	一二・六	一
無窒素區	全	二二・四	二八・五	二〇・二	一九	七	一一・九	一
燐酸三倍區	全	二四・八	二六・九	二四・一	一二	九	一四・五	一
燐酸二倍區	全	二二・七	二六・五	二一・七	一二	九	一二・一	一
燐酸單用區	全	二八・九	二七・六	二〇・七	一〇	七	一〇・九	一
燐酸半量區	全	二四・二	二七・八	二一・九	一八	八	一四・〇	一
無燐酸區	全	二五・二	二〇・二	二二・〇	一二	八	一四・二	一
加里三倍區	全	二四・五	二六・六	二二・五	二二	九	一四・四	一
加里二倍區	全	二五・四	二六・二	二二・二	一四	九	一四・二	一
加里單用區	全	二五・六	二七・二	二二・四	二〇	一〇	一四・八	一
加里半量區	全	二四・九	二七・〇	二二・六	一四	八	一四・〇	一
無加里區	全	二二・八	二六・八	二〇・九	一二	八	一四・〇	一
無肥料區	全	二〇・六	二七・〇	一九・六	一四	七	一〇・六	一

第六回（大正九年三月中旬）

試驗區別	調査坪數	總莖數	被害莖數	刈藁潛伏蟲數 二化	刈藁潛伏蟲數 三化	刈株潛伏蟲數 二化	刈株潛伏蟲數 三化
標準區	四坪	一・五八五本	三一本				
窒素三倍區	仝	二・三三二	二〇匹	一		三四匹	四匹
窒素二倍區	仝	一・六九二	四〇	四		一四	七
窒素單用區	仝	一・五二二	一四四	一		一九	一四
窒素半量區	仝	一・三三五	五六	一		二	一三
無窒素區	仝	一・一七二	八四	一		二	一八
酸酸三倍區	仝	一・五〇一	七四	一		二〇	一三
燐酸二倍區	仝	一・四三〇	一三三	一		二五	一二
燐燐單用區	仝	一・〇六一	一五二	一		二〇	一二
燐酸半量區	仝	一・四四〇	一六	一		三〇	一三
無燐酸區	仝	一・四三三	四〇	一		二九	一四
加里三倍區	仝	一・三九四	七二	一		九	一六
加里二倍區	仝	一・四一九	一〇二	一		一〇	一〇
加里單用區	仝	一・五七六	九三	一		一七	一五
加里半量區	仝	一・三四一	五三	一		一三	四五
無加里區	仝	一・四二〇	八六	一		一三	一二
無肥料區	仝	一・一〇一	八二	四		一六	三〇

第十五　螟虫對栽植本數試驗

施肥量其他ハ全部同一トシ只タ一株ノ栽植本數ヲ異ニシテ之レニヨル螟蟲ノ被害即チ心枯莖數、葉鞘變色莖數、刈藁刈株潛伏虫數及ヒ供試水稻ノ草丈分、蘖ヲ調査セシニ左表ノ如シ

第一回（自七月十七日　至七月二十日）

試驗區別	調査坪數	莖 最長	莖 最短	莖 平均	分蘖數 最長	分蘖數 最多	分蘖數 最少	分蘖數 平均	心枯莖數
一本栽植區	二坪	一三・五寸	八・五寸	一〇・四寸	二本	一本	二本	五・八本	一
二本栽植區	仝	一四・〇	九・〇	一一・一	一六	七	三	一〇・二	一
三本栽植區	仝	一四・六	一〇・〇	一二・八	一九	七	三	一二・六	一
普通栽植區	仝	一四・四	九・六	一二・八	一九	四	二	一〇・六	一

第二回（自七月二十七日　至八月四日）

試驗區別	調査坪數	莖 最長	莖 最短	莖 平均	分蘖數 最長	分蘖數 最多	分蘖數 最少	分蘖數 平均	心枯莖數
一本栽植區	二坪	一九・五寸	一三・五寸	一六・二寸	二七本	三〇	九本	一四・九本	一二本
二本栽植區	仝	二七・二	一三・二	一三・五	三〇	二七	七	一三・三	二五
三本栽植區	仝	二五・七	一五・六	一三・五	二七	二	二	一二・六	三三
普通栽植區	仝	一九・九	一四・四	一三・二	三四	九	九	一三・〇	三七

第三回（自八月十二日　至八月二十日）

試驗區別	調査坪數	莖 最長	莖 最短	莖 平均	分蘖數 最長	分蘖數 最多	分蘖數 最少	分蘖數 平均	心枯莖數
一本栽植區	二坪	二六・七寸	二三・五寸	二五・四寸	三〇本	一〇本	一五・四本	二〇・〇	六本
二本栽植區	仝	二九・二	二〇・五	二七・〇	二七	六	一九・五	二〇・三	九
三本栽植區	仝	三〇・五	二五・〇	二七・九	二六	一四	二〇・三	二〇・〇	三三
普通栽植區	仝	二九・七	二四・五	二七・二	三〇	八	一〇・〇	二〇・〇	三三

第四回

（自八月二十九日 至九月五日）

試驗區別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	莖長 最多	莖長 最少	莖長 平均	出穗數	葉鞘變色莖數
一本栽植區	二坪	三三寸・四	二七寸・二	三〇寸・七	一	一	一四・八	七本	二
二本栽植區	仝	三四・四	二七・一	三〇・九	一	一	一八・〇	二	二
三本栽植區	仝	三四・四	二三・六	三一・四	一	一	一九・三	二	二
普通栽植區	仝	三五・三	二五・三	三〇・七	一	一	一九・一	二	二

第五回

（自九月十一日 至九月十八日）

試驗區別	調査坪數	莖長 最長	莖長 最短	莖長 平均	莖長 最多	莖長 最少	莖長 平均	出穗數	葉鞘變色莖數
一本栽植區	二坪	三五寸・八	二九寸・七	三三寸・四	一	一	一四・七	一〇本	一
二本栽植區	仝	三七・一	二九・一	三四・九	一	一	一八・〇	二	五
三本栽植區	仝	三七・七	三二・一	三五・五	一	一	一九・三	二	五
普通栽植區	仝	三八・六	三〇・六	三四・七	一	一	一九・一	一	五

第六回

（大正九年三月中旬）

試驗區別	調査坪數	總莖數	被害莖數	刈藁潛伏虫數 二化	刈藁潛伏虫數 三化	刈株潛伏虫數 二化	刈株潛伏虫數 三化
一本栽植區	二坪	一・六七九	四六	一四	一	一七	一
二本栽植區	仝	一・八六八	二七	九	一	五	三
三本栽植區	仝	一・八七九	四二	六	一	六	三
普通栽植區	仝	一・七八三	三九	五	一	九	二

第十六　べたりや瓢虫配付

郡又ハ町村農會及當業者ノ申込ニヨリ配付シタル本年度ノべたりや瓢虫ハ四千百六十五頭ナリ

綠肥之部

綠肥之部

本試驗ハ農商務省ノ指定ニ係リ之レカ經費ハ全額同省ヨリ交附セラルヽモノニシテ主トシテ青刈大豆ニ關スル改良增殖試驗ナリ

第一　品種比較試驗

目的　各種大豆ノ綠肥トシテノ優劣ヲ較査セントス

供試品種　各府縣ヨリ蒐集セシ大豆五十二種

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月下旬

播種量　反當八升

整地　麥ノ條間ニ作條ス

肥料　原肥トシテ左記肥料ヲ施用ス

肥料名	反當施用量	全上成分 N	P	K
堆肥	一〇〇・〇〇〇	〇・五八〇	〇・三〇〇	〇・五〇〇
木灰	一三・〇〇〇	—	〇・五七〇	一・五二一
過燐酸石灰	四・一〇〇	—	〇・六〇〇	—
計		〇・五八〇	一・四七〇	二・〇二一

管理　五月中旬除草

收穫　七月十五日

成績

品種名	蒐集先	反當生草量	反當乾草量	全上窒素含有量 莖葉	全上窒素含有量 根
秋大豆	標準	二二八・八二五	五六・五九五	三・〇四一	一・二一九
黑千石三〇號	靜岡農事試驗場	二五一・四〇〇	六一・八五〇	三・〇七二	〇・八六五
黑千石一三六號	仝	一九五・六〇〇	四九・四〇〇	二・四〇六	一・〇八三
黑千石三號	仝	二四七・六〇〇	六〇・九〇〇	二・三一九	一・〇四〇
黑千石八四號	仝	二六九・四〇〇	六六・三五〇	二・八二八	〇・九一〇
黑千石一二九號	仝	一九八・六〇〇	四九・六五〇	—	—
毛稞	鹿兒島農事試驗場	九四・五〇〇	二三・六二五	—	二・一〇二
黃莢豆	仝	九三・六〇〇	二三・五一〇	二・六九三	二・〇八一
黑大豆	宮崎農事試驗場	一七三・四〇〇	四三・二五〇	二・二二八	一・〇七四
秋大豆	佐賀農事試驗場	二五八・一三四	六三・五二四	—	—
元山白大豆	愛媛農事試驗場	一七六・五〇〇	四四・一二五	—	—
端川大豆	仝	一五一・六〇〇	三七・九一〇	二・六一五	一・六三〇
松瀨川大豆	仝	一五三・四〇〇	三八・三六〇	二・八九九	一・四六三
端川淡綠	朝鮮總督府勸業模範場	六六・四〇〇	一六・五〇〇	一・九六一	一・九〇七
蔚山	仝	二一・三〇〇	三〇・二二五	二・三四〇	一・四二五
長端	平安南道種苗場	一三〇・〇〇〇	三二・四〇〇	三・六四一	二・七六四
龍眼	仝	一二四・六〇〇	三〇・五五〇	二・九九六	一・六六五
平壤	仝	一二八・八〇〇	三二・三〇〇	二・九〇四	一・七八九
雲山	仝	一二九・一〇〇	三二・二六五	—	—
黑大豆	佐賀農事試驗場	一五九・六〇〇	三九・八〇〇	二・〇九八	〇・九七五
白大種	朝鮮元山德源種苗場	八八・二〇〇	二二・〇六〇	一・四八一	一・七四五
茶小粒	北海道農事試驗場	一二一・〇〇〇	三〇・二五〇	二・三六二	一・四五二
青大粒	仝	一三〇・〇〇〇	三二・四〇〇	二・六〇一	一・六五八
滿八七號	公主嶺滿鐵農事試驗場	一一八・六〇〇	二八・七五〇	二・九三七	一・八五三
滿一號	仝	不發芽	—	—	—
滿五號	仝	一三四・六〇〇	三二・七五〇	二・九九一	一・六一五
滿一〇九號	仝	一二一・〇〇〇	三〇・三五〇	二・五一九	一・四五九
滿一七〇號	仝	一三二・四〇〇	三三・一〇〇	二・八九四	二・一二四
滿一六七號	仝	一一八・〇〇〇	二九・六〇〇	一・九八〇	一・六四七
烏豆	阿猴廳農會	一二四・〇〇〇	三一・〇〇〇	二・二九八	一・二〇三
青皮豆	仝	一五五・二〇〇	三八・九〇〇	二・五一四	一・三九八
米豆	嘉義廳農會	六二・〇四〇	一五・五一〇	三・二七三	一・〇八九
青皮豆	仝	九三・〇〇〇	二三・三五〇	二・五六八	一・二六八
烏豆	臺灣總督府農事試驗場	一五六・〇〇〇	三九・〇〇〇	一・九七二	一・〇〇八
青皮豆	仝	一四三・二〇〇	三五・七〇〇	二・八〇七	一・六三〇
青皮豆	臺南廳農會	一三九・五〇〇	三三・九七五	—	—
烏豆	仝	一四八・八〇〇	三七・二〇〇	三・〇一二	一・四六三
米豆	臺中廳農會	五〇・八〇〇	一二・五〇〇	—	—
青皮豆	仝	一三六・六〇〇	三四・一四〇	一・一六八	一・一九二
青大豆	大分農事講習所	一五二・八〇〇	三八・一〇〇	二・六五五	一・〇七三
米豆	臺南廳農會	四九・二〇〇	一一・三〇〇	三・〇三四	一・七三四
紛粧豆	福岡縣三井郡宮陣	二〇三・二〇〇	五〇・〇八〇	三・三二二	一・〇二九
丸黑秋大豆	仝　八女郡光友	二四四・八〇〇	六〇・二〇〇	二・四〇六	〇・九九二

神力秋大豆	仝	三河	一八〇・四〇〇	四四・一〇〇	二・六七〇	一・〇六二							
トピカブリ	仝	仝	一五四・〇〇〇	三八・五〇〇	二・二二四	一・一二六							
丸秋大豆	仝	豐岡	一〇八・〇〇〇	二六・五〇〇	三・〇〇一	一・三四二							
中早生秋大豆	仝	仝	一二〇・〇〇〇	三〇・〇〇〇	二・五五八	一・二〇三							
山椒秋大豆	仝	北山	二六四・六〇〇	六六・一五〇	二・四二七	一・一三八							
大黒秋大豆	仝	仝	一四二・〇〇〇	三五・四〇〇	二・七五三	〇・九四三							
早生秋大豆	仝	仝	一〇六・二〇〇	二六・五五〇	二・七五三	一・〇五一							
青秋大豆	仝	豐岡	一四二・八〇〇	三五・六〇〇	三・一一〇	〇・九六九							
長秋大豆	仝	仝	五四・〇〇〇	一四・五〇〇	二・五九〇	一・一九二							
白大豆	大分農事講習所		一五七・八〇〇	三九・三五〇	二・二四六	一・〇八八							

第二 純系淘汰試驗

目的　在來種中ヨリ綠肥作物トシテ優良ナル系統ヲ選出セントス

供試品種　黃色秋大豆

耕種梗概

選種　欽損種子ヲ除ク

播種期　六月下旬

播種量　株間八寸條間一尺五寸ノ一粒蒔

整地　九尺畦ニ耕起シ之ニ間隔一尺五寸ノ横雁岐ヲ切ル

肥料　左記肥料ヲ原肥トシテ施用ス

肥料名	反當施用量	仝	上	成	分	N	P	K
堆肥		一〇〇・〇〇〇	〇・五八〇	〇・三〇〇	〇・五〇〇			
木灰		一三・〇〇〇	—	〇・五七〇	一・五二一			
過燐酸石灰		四・〇〇〇		〇・六〇〇	—			
計			〇・五八〇	一・四七〇	二・〇二一			

管理　七月中旬及ヒ八月中旬除草

收穫　十一月

試驗區數六區一區坪數一畝歩トシテ一產地ノ種子ヲ各々一區ニ配當シ調査ノ結果各區ヨリ母本三〇ツヽヲ選擇ス調査ハ葉ノ繁茂ノ度ヲ主眼トシ左ノ各項ニツキ調査セリ

開花期　成熟期　節數　草丈　種實

種子取寄セ先左ノ如シ

福岡縣三潴郡農會

八女郡木屋村　東野又吉　三〇本

仝　北山村　窪新左衛門　三〇

浮羽郡竹野村　吉武寅太郎　三〇

仝　江南村　尾花禎藏　三〇

三井郡宮陣村　今村繁光　三〇

第三 刈取時期試驗

目的　肥料成分含有量ノ最多時期ヲ研究シテ刈取最適期ヲ決定セントス

供試品種　黃色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月下旬

播種量　反當八升
整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ二三條ノ縱雁岐ヲ切ル
肥料

肥料名	反當施用量	全成分		
		N	P	K
堆肥	一〇〇・〇〇〇			
木灰	一三・〇〇〇	〇・五八〇	—	
過燐酸石灰	四・〇〇〇		〇・三〇〇	〇・五〇〇
			〇・五七〇	一・五二一
			〇・六〇〇	—
計		〇・五八〇	一・四七〇	二・〇二一

管理　五月中旬除草

成績

刈取時期	反當生草量	反當乾草量	乾草百分中窒素含有量		
			莖	葉	稈
六月五日	一六〇・〇〇〇	三七・二〇〇	三・九二三七	三・〇七八三	
六月十三日	一九〇・〇〇〇	四五・三〇〇	三・五二六五		—
六月二十日	二七八・〇〇〇	六七・〇〇〇	三・三五八四	二・七〇九八	
六月二十七日	三二〇・〇〇〇	七九・〇〇〇	三・一二一七	一・六六九二	

第四　栽倍法試驗

目的　一、耕作法試驗
綠肥大豆作ニ最適切ナル耕作法ヲ決定セントス

供試品種　黃色秋大豆
耕種梗概

選種　唐箕選
播種期　四月下旬
播種量　反當八升
整地　五尺畦ニ耕起シ点播條播ハ三條ノ縱雁岐ヲ切リ点播ハ株間六寸トス
肥料　原肥トシテ左記ノ肥料ヲ施用ス

肥料名	反當施用量	全成分		
		N	P	K
堆肥	一〇〇・〇〇〇			
木灰	一三・〇〇〇	〇・五八〇	—	
過燐酸石灰	四・〇〇〇		〇・三〇〇	〇・五〇〇
			〇・五七〇	一・五二一
			〇・六〇〇	—
計		〇・五八〇	一・四七〇	二・〇二一

管理　五月中旬一回除草

收穫　六月二十二日

成績

播種法	反當生草量	反當乾草量	備考
撒播	三九八・四〇〇	七五・八一〇	
点播	三四五・六〇〇	七〇・〇二〇	
條播	三六四・八〇〇	七二・九六〇	

二、播種時期試驗

目　的　綠肥大豆作ニ最適播種時期ヲ決定セントス

供試品種　黃色秋大豆

耕種梗概

選　種　唐箕選

播種期　四月十五日、廿五日、五月五日、十五日

播種量　八升トシ單作ハ條播間作ハ点播トス

整　地　單作ハ五尺畦ニ耕起シ之レニ三條ノ縱雁岐ヲ切ル間作ハ麥條間トス

肥　料　單作ハ原肥トシテ左記肥料ヲ施用セリ

肥料名	反當施用量	全	上	成	分
		N	P	K	
堆肥	一〇〇・〇〇〇	〇・五八〇	〇・三〇〇	〇・五〇〇	
木灰	一三・〇〇〇	—	〇・五七〇	一・五二一	
過燐酸石灰	四・〇〇〇	—	〇・六〇〇	—	
計		〇・五八〇	一・四七〇	二・〇二一	

間作ハ硫酸安母尼亞反當二、五〇〇(窒素〇、五〇〇)ヲ施用ス

管　理　五月中旬一回除草

收　穫　六月二十一日

成　績

(一)單作

播種期	反當生草量	反當乾草量	收穫期ノ草丈	備考
四月十五日	四三五・〇〇〇	八二・六八〇	二・二三	
仝　廿五日	三四五・〇〇〇	五八・六八〇	一・八八	
五月五日	三二七・〇〇〇	一九・六二〇	一・五九	
仝　十五日	九〇・〇〇〇	一三・五〇〇	一・一三	

(二)間作

播種期	反當生草量	反當乾草量	收穫期ノ草丈	備考
四月十五日	三八四・〇〇〇	六七・九六〇	二・〇六	
四月廿五日	三二四・〇〇〇	五一・八四〇	一・七四	
五月五日	三一八・〇〇〇	五四・〇六〇	一・六九	
五月十五日	一七四・〇〇〇	二九・五八〇	一・四五	

三、播種量試驗

目　的　綠肥大豆作ニ最適ナル播種量ヲ決定セントス

供試品種　黃色秋大豆

耕種梗概

選　種　唐箕選

播種期　四月下旬

播種量　表(一)(二)參照

整　地　五尺畦ニ耕起シ之ニ三條ノ縱雁岐ヲ切ル

肥　料　原肥左ノ如シ

管理　五月中旬除草
收穫　六月二十一日

成績（一）

肥料名	反施當用量	全上成分 N	全上成分 P	全上成分 K	株間	一株粒數	反生當草量	反乾當草量	備考
堆肥	一〇〇・〇〇〇				四寸	二	二二二・〇〇〇	三九・九六〇	
木灰	一三・〇〇〇				六	二	一四一・〇〇〇	二四・〇〇〇	
過燐酸石灰	四・一〇〇				八	二	八七・〇〇〇	一七・四〇〇	
計		〇・五八〇	〇・三〇〇	〇・五〇〇	一〇	二	九九・〇〇〇	一八・八四〇	
		—	〇・五七〇	一・五二一	二	三	二五二・〇〇〇	四七・八四〇	
		—	〇・六〇〇	—	四	三	一五〇・〇〇〇	二八・五〇〇	
		〇・五八〇	一・四七〇	二・〇二一	六	三	一三三・二〇〇	二七・九六〇	
					八	三	一五九・〇〇〇	一九・〇二〇	
					一〇	三	三六六・〇〇〇	六五・八八〇	
					四	四	三一九・二〇〇	六〇・六六〇	
					六	四	二二三・二〇〇	四六・八六〇	
					八	四			

成績（二）

播種量	反生當草量	反乾當草量	株間	一株粒數	反生當草量	反乾當草量	備考
			一〇	四	二一七・八〇〇	三四・八六〇	
			四	五	三九〇・〇〇〇	七二・一八〇	
			六	五	三五七・〇〇〇	六七・八六〇	
			八	五	二四〇・〇〇〇	四三・二〇〇	
			一〇	五	一四八・〇〇〇	三九・〇〇〇	
			一四	六	七三・〇〇〇	一四・六七〇	
			一六	六	八八・〇〇〇	一四・六七〇	
			一八	六	二一三・〇〇〇	一七・七六〇	
			二〇	六	一三八・〇〇〇	四四・七六〇	
五升	一七四・〇〇〇	三一・六六〇					
七	一〇二・〇〇〇	二〇・四〇〇					
九	二八五・〇〇〇	四八・九〇〇					
一一	三六三・〇〇〇	六五・三四〇					
一三	四二六・〇〇〇	七五・〇〇〇					
一五	四四一・〇〇〇	八〇・九四〇					

第五肥料試驗

一、肥料配合試驗

目的　肥料ヲ中性酸性鹽基性ノ三性ニ配合シ之カ綠肥ニ及ホス影響ヲ研究セントス

供試品種　黄色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月上旬

播種量　八升

整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ縦三條ノ雁岐ヲ切ル

肥料

区名	肥料名	反当施用量	全成分 N	全成分 P	全成分 K
中性区	硝酸安母尼亞	一・四〇	○・五〇		
	木灰	一七・〇九四			
	過燐酸石灰	五・五四	○・五〇		
	計		○・五〇		
鹽基性区	智利硝石	二・二一	○・三四		
	蒸製骨粉	一七・九二〇	○・一五七		
	木灰	一・三〇	○・三		
	計		○・五〇		
酸性区	硫酸安母尼亞	二・四四	○・五〇		
	過燐酸石灰	一〇・〇四〇			
	硫酸加里	九・一四五	○・五〇		
	計		○・五〇		

管理

五月中旬除草

収穫

六月二十二日

成績

区名	反当生産量	反当乾草量
中性区	五七六・〇〇〇	一〇三・六八〇
鹽基性区	四九九・二〇〇	八九・八二〇
酸性区	六二八・〇〇〇	一〇五・六〇〇

二、加里肥料適量試驗

目的　加里肥料ノ緑肥大豆作ニ施用セラル、最適量ヲ決定セントス

供試品種　黄色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月上旬

播種量　反當八升

整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ三條ノ縦雁岐ヲ切ル

肥料

区名	肥料名	反当施用量	全成分 N	全成分 P	全成分 K	全成分 $(HO)^2ca$
無加里区	石灰	一〇・二五六	○・五〇〇			一〇・二五六
	智利硝石	二〇・二九〇〇	○・五〇〇			一〇・二五六
	過燐酸石灰	二〇・二九〇〇	○・五〇〇	三・〇〇〇		
	木灰	一八・九七四		〇・一六七	○・五〇〇	一・二八二 八・九七四
	計		○・五〇〇	二・八三二 二・九九九		
加里五百匁区	石灰	一〇・二五六	○・五〇〇			一〇・二五六
	智利硝石	二〇・二九〇〇	○・五〇〇			一〇・二五六
	過燐酸石灰	二〇・二九〇〇	○・五〇〇	三・〇〇〇		
	木灰	八・九七四		〇・一六七	○・五〇〇	一・二八二 八・九七四
	計		○・五〇〇	二・八三二 二・九九九		

管理　五月中旬除草

收穫　六月二十二日

試驗區數　三區

一區坪數　五坪

成績

區名	反生當草量	反乾當草量
無加里區	四四一・六〇〇	八一・七二〇
五百目區	四五一・二〇〇	八一・二四〇
一貫目區	四一二・八〇〇	七八・四二〇
二貫目區	三八四・〇〇〇	七二・九六〇
三貫目區	四二二・四〇〇	八四・四八〇
四貫目區	四二二・四〇〇	八〇・二六〇

區名	全成分				上成分			
	N	P	K	$(OH)_2$ca	N	P	K	$(OH)_2$ca
無加里區								
硫酸加里區								
加里一貫目區								
過燐酸石灰	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇
硫酸加里	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇
過燐酸石灰	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇
硫酸加里	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇
加里二貫目區								
過燐酸石灰	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇
硫酸加里	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇
過燐酸石灰	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇
硫酸加里	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇
加里三貫目區								
過燐酸石灰	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇
硫酸加里	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇
過燐酸石灰	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇
硫酸加里	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇
加里四貫目區								
過燐酸石灰	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇	一・三三九	二・九〇〇	一・〇〇〇	五・三〇〇
硫酸加里	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇	〇・七七五	二・九〇〇	二・〇〇〇	五・三〇〇

目的　普通坊間ニ販賣セラル、加里肥料ノ綠肥大豆作ニ肥効ノ最モ顯著ナルモノヲ選定セントス

供試品種　黃色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月上旬

播種量　反當八升

整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ三條ノ縱雁岐ヲ切ル

肥料

區名	肥料名	反當施用量
無加里區	過燐酸石灰	一九・三三九
	硝石	五・〇〇〇
	計	五・三〇〇
硫酸加里區	硫酸加里	一・四五
	過燐酸石灰	一九・三三九
	硝石	五・〇〇〇
	計	五・三〇〇

区名	反當施用量	全上成分 N	P	K
木灰區	過燐酸石灰 一七・一〇〇		二・〇〇一	五・三〇〇
智利硝石 一四・八八〇		〇・七七五	二・八九九	
計 五・〇〇〇				

管理　五月中旬除草
收穫　六月二十二日
試驗區數　三區
一區坪數　五坪

成績

区名	反當生草量	反當乾草量
無加里區	三五五・二〇〇	六三・九六〇
硫酸加里區	三一六・八〇〇	六〇・一八〇
木灰區	三六四・八〇〇	六五・六四〇

四、燐酸肥料最適量試驗

目的　燐酸肥料ノ綠肥大豆作ニ施用セラルヽ最適量ヲ決定セントス

供試品種　黃色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月上旬

播種量　反當八升

整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ三條ノ縱畦岐ヲ切ル

肥料

区名	肥料名	反當施用量	全上成分 N	P	K
燐酸區	硫酸加里	一三・八〇〇	〇・五〇〇		
	智利硝石	三・二九〇			
燐酸五百目區	硫酸加里	一三・八〇〇	〇・五〇〇		
	過燐酸石灰	三・三三三			
	智利硝石	三・二九〇	〇・五〇〇	〇・五〇〇	
燐酸一貫目區	硫酸加里	一三・八〇〇	〇・五〇〇		
	過燐酸石灰	三・三三三			
	智利硝石	三・二九〇	〇・五〇〇	一・〇〇〇	
燐酸一貫五百目區	硫酸加里	一三・八〇〇	〇・五〇〇		
	過燐酸石灰	三・三三三			
	智利硝石	三・二九〇	〇・五〇〇	一・〇〇〇	
燐酸二貫目區	硫酸加里	一三・八〇〇	〇・五〇〇		
	過燐酸石灰	三・三三三			
	智利硝石	三・二九〇	〇・五〇〇	二・〇〇〇	
燐酸二貫五百目區	硫酸加里	一三・八〇〇	〇・五〇〇		
	過燐酸石灰	三・三三三			
	智利硝石	三・二九〇	〇・五〇〇	二・五〇〇	

管理　五月中旬除草
收穫　六月二十二日
試驗區數　三區

一區坪數　五坪

成績

區名	反當生草量	反當乾草量
無燐酸區	二八二・〇〇〇	五三・五八〇
燐酸五百目區	二一〇・〇〇〇	三九・九〇〇
燐酸一貫目區	二一六・〇〇〇	四七・五二〇
燐酸一貫五百目區	二七〇・〇〇〇	三二・四〇〇
燐酸二貫目區	二七三・〇〇〇	五七・三六〇
燐酸二貫五百目區	三一二・〇〇〇	六八・六四〇

五、燐酸肥料種類試驗

目的　普通坊間ニ販賣スル燐酸肥料ノ綠肥大豆作ニ肥効最モ卓絕ナルモノヲ選定セントス

供試品種　黃色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月上旬

播種量　反當八升

整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ三條ノ縱雁岐ヲ切ル

肥料

區名	肥料名	反當施用量	全上成分 N	全上成分 P	全上成分 K
無燐酸區	硫酸加里	一〇・〇〇〇	〇・七七五		
	硝利計	五・〇〇〇	〇・七七五		
	硝石	〇〇〇			
過燐酸石灰區	過燐酸石灰	九・六七〇		一・四五〇	
	硫酸加里	一〇・〇〇〇	〇・七七五		
	硝利計	五・〇〇〇	〇・七七五		
	硝石	〇〇〇			
蒸製骨粉區	蒸製骨粉	七・〇〇〇	〇・二八〇	一・四八七	二・一八七
	硫酸加里	一〇・〇〇〇	〇・四九六	一・四八七	二・一八七
	硝利計	三・二〇〇	〇・七七六		
	硝石	〇〇〇			

管理　五月中旬除草

收穫　六月二十二日

試驗區數　三區

一區坪數　五坪

成績

區名	反當生草量	反當乾草量
無燐酸區	三一二・〇〇〇	六五・五二〇
過燐酸石灰區	三一八・〇〇〇	六三・六〇〇
蒸製骨粉區	一八〇・〇〇〇	三六・〇〇〇

六、速効性窒素肥料適量試驗

目的　生育ノ初期ニ必要ナル速効性窒素肥料ノ施用量ヲ決定セントス

供試品種　黃色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月上旬

播種量　反當八升

整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ三條ノ縦雁岐ヲ切ル

肥料

區名	肥料名	反當施用量	全上成分 N	P	K
無窒素區	過燐酸石灰	二五・六四〇		一・〇〇〇	三・〇〇〇
	計	六・六六七			
	硫酸安母尼亞	二五・〇〇〇		二・〇〇〇	三・〇〇〇
	木灰	六・六四〇〇	〇・一〇〇		
	計	二五・六六七			
窒素百目區	過燐酸石灰	二五・六四〇		二・〇〇〇	三・〇〇〇
	計	六・六六七			
	硫酸安母尼亞	二・五〇〇	〇・五〇〇		
	木灰	六・六四〇〇	〇・一〇〇		
	計	二五・六六七			
窒素五百目區	過燐酸石灰	二五・六四〇		二・〇〇〇	三・〇〇〇
	計	六・六六七			
	硫酸安母尼亞	五・〇〇〇	一・〇〇〇		
	木灰	六・六四〇〇			
	計	二五・六六七			
窒素一貫目區	過燐酸石灰	二五・六四〇		二・〇〇〇	三・〇〇〇
	計	六・六六七			
	硫酸安母尼亞	一・〇〇〇	一・〇〇〇		
	木灰	二五・六四〇〇			
	計	六・六六七			
窒素二貫目區	過燐酸石灰	一五・〇〇〇		二・〇〇〇	三・〇〇〇
	計	二五・六六四	二・〇〇〇		
	硫酸安母尼亞	一・〇〇〇	二・〇〇〇		
	木灰	六・六四〇〇			
	計	二五・六六七			
窒素三貫目區	過燐酸石灰	一五・〇〇〇		二・〇〇〇	三・〇〇〇
	計	二五・六六四	三・〇〇〇		
	硫酸安母尼亞	二・〇〇〇	二・〇〇〇		
	木灰	六・六四〇〇			
	計	二五・六六七			

區名	肥料名	反當施用量	全上成分 N	P	K
窒素四貫目區	過燐酸石灰	六・六六七		一・〇〇〇	三・〇〇〇
	計				
	硫酸安母尼亞	二〇・〇〇〇	四・〇〇〇		
	木灰	二五・六四〇〇			
	計	六・六六七			
	過燐酸石灰	三・〇〇〇		二・〇〇〇	三・〇〇〇
	計		四・〇〇〇		

管理　五月中旬除草

收穫　六月二十二日

試驗區數　七區

一區坪數　五坪

成績

區名	反當草量	反當乾草量
無窒素區	四一二・八〇〇	九〇・八四〇
窒素百目區	四八〇・〇〇〇	一一〇・〇四〇
窒素五百目區	四八〇・〇〇〇	一一〇・〇四〇
窒素一貫目區	四二二・八〇〇	九〇・八六〇
窒素二貫目區	四一〇・八〇〇	八二・五六〇
窒素三貫目區	三六四・八〇〇	六九・三〇〇
窒素四貫目區	三五五・二〇〇	七四・五八〇

七、遲効性窒素肥料加用試驗

目的　遲効性窒素肥料ノ施用量ニヨリテ綠肥大豆作ノ植生ニ及ボス影響ヲ研究シ之ガ施用量ノ限度ヲ決定セントス

供試品種　黄色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月上旬

播種量　反當八升

整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ三條ノ縦雁歧ヲ切ル

肥料

区名	肥料名	反當施用量	全成分 N	全成分 P	全成分 K
堆肥無加用区	硫酸加里	一三・七貫			三・〇〇〇
	過燐酸石灰	一六・六六七		二・五〇〇	三・〇〇〇
	計				
堆肥五十貫加用区	硫酸加里	五〇・〇〇〇		〇・一五〇	〇・二五〇
	過燐酸石灰	一一・六一四	〇・二九〇	二・三五〇	二・九九九
	計	一五・六六七			
堆肥百貫加用区	硫酸加里	一〇・〇〇〇		〇・三〇〇	〇・五〇〇
	過燐酸石灰	一一・四三一	〇・五八〇	二・二〇〇	二・七四九
	計	一四・六七			
堆肥百五十貫加用区	硫酸加里	一五・〇〇〇		〇・四五〇	〇・七五〇
	過燐酸石灰	一〇・二九〇	〇・八七〇	二・二五〇	二・一二五
	計	一三・六七〇			
堆肥二百貫加用区	硫酸加里	二〇・〇〇〇		〇・六〇〇	一・〇〇〇
	過燐酸石灰	一二・六六七	一・一六〇	二・九〇〇	二・〇〇〇
	計				

区名	肥料名	反當施用量	全成分 N	全成分 P	全成分 K
堆肥二百五十貫加用区	硫酸加里	二五・〇〇〇		〇・七五〇	一・二五〇
	過燐酸石灰	一一・六六七	一・四五〇	一・七五〇	三・〇〇〇
	計				
堆肥三百貫加用区	硫酸加里	三〇・〇〇〇		〇・九〇〇	一・五〇〇
	過燐酸石灰	一〇・六六七	一・七四〇	一・六〇〇	三・〇〇〇
	計				

管理　五月中旬一回除草

収穫　六月二十二日

試験区数　七区

一区坪数　五坪

成績

区名	反當生草全量	反當乾草全量
無加用区	三五五・二〇〇	六七・五〇〇
五十貫加用区	三五五・二〇〇	七一・〇四〇
百貫加用区	三五五・二〇〇	六七・五〇〇
百五十貫加用区	三五五・二〇〇	六七・五〇〇
二百貫加用区	三五五・〇〇〇	七一・〇四〇
二百五十貫加用区	二八八・〇〇〇	五七・六〇〇
三百貫加用区	三二四・〇〇〇	六八・〇四〇

八、石灰適量試験

目的　石灰施用量ノ最適量ヲ決定セントス

供試品種　黄色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　四月上旬

播種量　反當八升

整地　五尺畦ニ耕起シ之ニ三條ノ畝ヲ切ル

肥料　左記ノ肥料ニ石灰ヲ加用ス

肥料名	反當施用量	全成分 N	全成分 P	全成分 K
堆肥	一〇〇・〇〇〇			
硫酸加里	六・八六〇	〇・五八〇	〇・三〇〇	〇・五〇〇
過燐酸石灰	七・八〇〇	—	—	一・五〇〇
石灰	—	—	一・一七〇	—
計	—	〇・五八〇	一・四七〇	二・〇〇〇

管理　五月中旬除草

収穫　六月二十二日

試驗區數　七區

一區坪數　五坪

成績

區名	反當生草量	反當乾草量
石灰無加用區	二七〇・〇〇〇	五四・〇〇〇
石灰二十五貫加用區	三三〇・〇〇〇	六二・七〇〇
石灰五十貫加用區	二七〇・〇〇〇	五四・〇〇〇
石灰百貫加用區	三一二・〇〇〇	五六・一六〇
石灰百五十貫加用區	二七〇・〇〇〇	五六・七〇〇
石灰二百貫加用區	一四四・〇〇〇	三〇・四八〇
石灰三百貫加用區	一八〇・〇〇〇	三七・八〇〇

九、　鹽基性最適濃度試驗

目的　綠肥大豆作ニ最適ナル鹽基ノ濃度ヲ研究セントス

供試品種　黄色秋大豆

耕種梗概

選種　唐箕選

播種期　六月十一日

播種量　一ポットニ十粒ヅヽ

土壤　本場内無肥料地土壤ヲポットニ容レ之ニ炭酸曹達（表參照）ヲ混合シタルモノナリ

收穫　九月十日

成績

區名	生草量	乾草量	備考
〇・〇〇〇 區	〇・〇五一	〇・〇一二	
〇・五〇〇 區	〇・〇四七	〇・〇一一	

一・〇区	一	〇・〇四	〇・〇四	一	不發芽
一・五区	一	〇・〇	〇・〇	一	全
二・〇区	一			一	全
二・五区	一			一	全
三・〇区	一			一	全
三・五区	一			一	全

第六　試驗用大豆採種

品　種　黄色秋大豆

耕種梗概

選　種　唐箕選

播種期　六月下旬

播種法　條間一尺五寸株間八寸ノ一粒蒔

整　地　九尺ノ平畦ニ耕起シ之ニ一尺五寸ノ間隔ニ横雁畝ヲ切ル

肥　料　原肥トシテ左記肥料ヲ施ス

肥料名	反當施用量	全成分 N	全成分 P	全成分 K
堆肥	一〇〇・〇〇〇	〇・五八〇	〇・三〇〇	〇・五〇〇
木灰	一三・〇〇〇	—	〇・五七〇	一・五二一
過燐酸石灰	四・一〇〇	—	〇・六〇〇	—
計	—	〇・五八〇	一・四七〇	二・〇二一

管　理　七月中旬、八月初旬二回除草中耕

収　穫　十一月中旬

収　量　一斗三升

第七　品種比較試驗用採種

目　的　各品種ノ繼續用種子ヲ得ルト同時ニ各品種ノ特性調査ヲ兼ネ行ワントスルニアリ

供試品種　肉眼ニヨリ不純種ヲ除ス

耕種梗概

選　種　六月下旬

播種期　株間八寸ノ一粒蒔

播種量　九尺平畦ノヲ作リ之ニ間隔一尺五寸ノ横雁畝ヲ切ル

整　地　肥料左記肥ヲ元肥トシテ施用セリ

肥料名	反當施用量	全成分 N	全成分 P	全成分 K
堆肥	一〇〇・〇〇〇	〇・五八〇	〇・三〇〇	〇・五〇〇
木灰	一三・〇〇〇	—	〇・五七〇	一・五二一
過燐酸石灰	四・一〇〇	—	〇・六〇〇	—
計	—	〇・五八〇	一・四七〇	二・〇二一

管　理　七月中旬八月初旬除草中耕ヲ行フ

収　穫　九月乃至十一月

區番號	品種名	蒐集先	嫩葉展開期	開花始期	開花末期	成熟期	花色	草色	節數	種實色
第一區	黑千石三〇號	靜岡農事試驗場	六月廿九日	九月一日	九月廿日	十一月卅日	紫	綠	一四	黑
二	仝一三六號	仝上	六月廿九日	九月二日	九月廿日	十一月卅日	紫	綠	一四	黑
三	仝三號	仝上	六月廿九日	九月二日	九月廿日	十一月卅日	紫	綠	一五	黑
四	仝八四號	仝上	六月廿九日	九月二日	九月廿日	十一月卅日	紫	綠	一四	黑
五	仝一二九號	仝上	六月廿九日	九月二日	九月廿日	十一月卅日	紫	綠	一五	黑
六	毛裸	鹿兒島農事試驗場	六月廿八日	七月卅一日	八月十五日	九月廿八日	紫	綠	一一	黃
七	黃莢	仝上	六月廿九日	八月四日	八月十九日	九月卅日	紫	綠	一一	黃
八	黑大豆	宮崎農事試驗場	六月廿九日	九月二日	九月廿一日	十二月廿五日	紫	綠	一二	黑
九	秋大豆	佐賀縣立農學校	六月廿九日	九月二日	九月廿一日	十一月廿日	紫	濃綠	一三	黃
一〇	元山白大豆	愛媛農事試驗場	六月廿九日	七月卅一日	八月十六日	十月廿九日	紫	濃綠	一二	黃
一一	端川大豆	仝上	六月廿八日	七月卅一日	八月廿日	十二月二日	紫	濃綠	一二	黃
一二	松瀬川大豆	仝上	六月廿九日	八月廿六日	九月十五日	十二月二日	白	綠	一三	黃
一三	端川淡綠	朝鮮勸業模範場	不發芽	—	—	—	—	—	—	—
一四	蔚山	仝上	六月廿九日	八月十八日	九月十日	十二月二日	白	淡綠	一三	黃
一五	長端	平安南道種苗場	六月廿九日	八月四日	八月廿日	十月廿九日	紫	濃綠	一三	黃
一六	龍眼	仝上	六月廿九日	八月九日	八月十三日	十一月一日	紫	綠	一三	黃
一七	平壤	仝上	六月廿九日	八月四日	八月廿日	十一月一日	紫	濃綠	一四	黃
一八	雲山	仝上	六月廿九日	八月四日	八月廿日	十一月一日	紫	濃綠	一一	黃
一九	黑大豆	佐賀農事試驗場	六月廿九日	九月五日	九月廿六日	十二月廿五日	紫	綠	一三	黑
二〇	白大種	朝鮮元山市外德源種苗場	不發芽	—	—	—	—	—	—	—
二一	茶小粒	北海道農事試驗場	六月廿八日	八月九日	八月廿二日	十二月二日	紫	淡綠	一四	褐
二二	青大粒	仝上	六月廿九日	七月卅一日	八月十五日	十月廿八日	紫	濃綠	一一	綠
二三	滿第八七號	滿鐵公主嶺農事試驗場	六月廿九日	七月廿八日	八月十五日	十月廿八日	紫	濃綠	一三	黃
二四	仝一號	仝上	不發芽	—	—	—	—	—	—	—
二五	仝五號	仝上	六月廿九日	七月卅日	八月十四日	十二月二日	紫	濃綠	一二	褐
二六	仝一〇九號	仝上	六月廿九日	七月廿八日	八月十五日	十月廿八日	白	濃綠	一四	黃
二七	仝一七〇號	仝上	六月廿九日	七月廿八日	八月十五日	十月十五日	白	濃綠	一三	黃
二八	仝一六七號	仝上	六月廿九日	七月廿八日	八月十五日	十月十五日	白	濃綠	一三	黃
二九	烏豆	臺灣阿緱廳農會	六月廿九日	八月四日	八月廿五日	十月十五日	紫	濃綠	一三	黑
三〇	青皮豆	仝上	六月廿九日	九月十五日	九月卅日	十一月廿日	紫	綠	一三	青
三一	米豆	臺灣嘉義廳農會	六月廿九日	八月八日	九月十九日	—	白	綠	二五	種子不登熟
三二	青皮豆	仝上	六月廿九日	九月十四日	九月卅日	十一月廿日	紫	綠	一三	青
三三	烏豆	臺灣總督府農事試驗場	六月廿九日	八月三日	八月廿五日	十月十四日	紫	濃綠	一四	黑
三四	青皮豆	仝上	六月廿九日	九月十五日	九月卅日	十一月廿日	紫	綠	一三	青
三五	青皮豆	臺南廳農會	仝	仝	九月卅日	十一月廿日	紫	綠	一三	青
三六	烏豆	仝上	仝	八月四日	八月廿四日	十月十五日	紫	綠	一三	黑
三七	米豆	臺中廳農會	仝	八月七日	九月廿日	—	—	—	二六	種子不登熟
三八	青皮豆	仝上	仝	九月十五日	九月卅日	十一月廿日	紫	綠	一三	青
三九	青大豆	大分縣立農事講習所	仝	八月廿六日	九月十四日	十一月卅日	紫	綠	一二	青
四〇	米豆	臺灣臺南廳農會	仝	八月九日	九月廿日	—	白	綠	二六	種子不登熟
四一	粉粧豆	福岡縣三井郡宮陣村	仝	生育不良	—	—	—	—	—	—
四二	丸黑秋大豆	仝八女郡光友村	仝	八月廿六日	九月十五日	十二月廿八日	紫	綠	一四	黑
四三	神力秋大豆	仝三河村	仝	生育不良	—	—	—	—	—	—
四四	トピカブリ	仝上	仝	九月一日	九月廿日	十一月卅日	紫	綠	一三	黃
四五	丸秋大豆	福岡縣八女郡豐岡村	不發芽	—	—	—	—	—	—	—
四六	中生秋大豆	仝上	不發芽	—	—	—	—	—	—	—

雜之部

四七	山粒秋大豆	仝 北山村	六月廿九日	八月廿六日	九月 十日	十一月廿日	紫	綠	一三	黃
四八	大黑秋大豆	仝 上	仝	九月 十日	九月廿五日	仝	紫	綠	一三	黑
四九	早生秋大豆	仝 上	不發芽	—	—	—	—	—	—	—
五〇	青秋大豆	仝 豐岡村	仝	九月 二日	九月 廿日	十一月廿日	紫	綠	一四	青
五一	長秋大豆	福岡縣八女郡	不發芽	—	—	—	—	—	—	—
五二	白大豆	大分縣農事講習所	仝	八月廿二日	九月十二日	十二月廿五日	紫	濃綠	一四	黃

雜之部

四七	山椒秋大豆	仝 北山村	六月廿九日	八月廿六日	九月 十日	十一月廿日	紫	綠	一三	黃
四八	大黑秋大豆	仝 上	仝	九月 十日	九月廿五日	仝	紫	綠	一三	黑
四九	早生秋大豆	仝 上	不發芽							
五〇	青秋大豆	仝 豐岡村	仝	九月 二日	九月 廿日	十一月廿日	紫	綠	一四	青
五一	長秋大豆	福岡縣八女郡	不發芽							
五二	白大豆	大分縣農事講習所	仝	八月廿二日	九月十二日	十二月廿五日	紫	濃綠	一四	黃

雜之部

第一　見習生ノ養成

見習生規定ニ依リ甲種十三名ヲ入場セシメ學理及技術ニ就キ一ケ年間養成シ修得セシモノニ對シテハ夫々修業證書ヲ授與シタリ其人名左ノ如シ

鞍手郡笠松村　入江保
鞍手郡山口村　荒牧基
三潴郡大莞村　池上清
三潴郡犬塚村　堤勳
三潴郡南郷村　小方文夫
宗像郡南郷村　鶴岡春三
三潴郡木佐木村　道家港次
三井郡金島村　田中鐵
三潴郡大溝村　西村滿
熊毛郡北種子村　浮羽郡船越村　倉富角次郎
三潴郡三潴村　田原彌吉
三潴郡三潴村　立石梅吉
三潴郡木佐木村　熊丸正男

第二　講習會

普通農事講習會ニ出張シ農業、稻、麥、大豆、小豆、蔬菜類、蠶業、綠肥、產業組合、米穀倉庫、果樹、養

蠶、家畜、家禽其他工藝作物ノ栽培加工法等ヲ講演且實驗セリ今各郡別ニ其修得者數ヲ示セハ左ノ如シ

郡名	修得生數	郡名	修得生數
粕屋郡	六五	三潴郡	六五
遠賀郡	五八	八女郡	八四
鞍手郡	三八	山門郡	五九
嘉穗郡	三七	三池郡	四二
朝倉郡	一二三	企救郡	三八
筑紫郡	四三	田川郡	四五
糸島郡	三九	京都郡	四六
浮羽郡	五六	築上郡	九八
三井郡	七九	計	一、〇一五

第三 出張

場員出張回數四百〇五回延日數千〇六十三日ニシテ內管外出張六回日數七十八日管內出張三百九十九回日數九百八十五日ナリ今是レカ事項別ヲ示セハ次ノ如シ

事項	回數	日數
農事講習會	一七	一四二
農事調査	九一	二一九
農談會	一六	三二
農事視察	一二	五八
病蟲害試驗並調査	五八	一〇七
依托試驗調査	五六	一七三
實地指導	一八	四五
農事奬勵	一〇	一八
採種圃監督	四九	一三七
綠肥調査	一一	三三
其他	六七	九九
計	四〇五	一、〇六三

第四 印刷物

左記印刷物ヲ調製シ參觀人其他ヘ配布セリ

大正七年度業務年報	一、〇〇〇
葱頭栽培法	一、〇〇〇
甘藍栽培法	一、〇〇〇
稻白葉枯病試驗成績	三〇〇

第五 種子配布

種別	數量
種豚配布	二十七頭
種禽配布	二百七十四羽
種卵配布	二千三百四十九羽
籾種子配布	十八石二斗九升
小麥種子配布	二石二斗

稞麥種子配布　三石二斗三升

其他茄子、胡瓜、南瓜、蕃茄、甘藍、葱頭、結球白菜等ノ優良種苗ヲ配布セリ

第六　質問應答

質問應答　二三八

第七　文書收發

文書收發　三、四八五

第八　參觀人

參觀人　一四、九六二（自大正八年八月一日至同九年七月末日）

第九　職員異動

異動月日	異動事項	職名	氏名
十月七日	依願免職	助手	大穗朝太郎
十二月廿三日	同	場長	小出義男
二月十六日	任用	場長	志摩三郎
三月四日	山形縣ヘ轉任	技師	小澤清佑
三月十九日	任用	助手	鄉原言三
三月卅一日	依願免職	同	同人
同　日	任用	同	谷川碩二
四月十日	奈良縣ヘ轉任	技師	鎌田正忠
五月十三日	依願免職	助手	下平久一
五月十五日	任用	同	大穗朝太郎
五月二十日	依願免職	技手	武井誠一
五月二十日	依願免職	技手	小松義正
同	同	技手	長一雄
五月廿四日	任用	技手	小川幸雄
五月卅一日	任用	助手	八尋芳彦
六月十日	任用	技師	古野丈夫
六月廿四日	任用	技手	佐藤敏夫

第十　本場建物

建物名稱	建坪
一、本館	六五坪　昇降口　三
二、分拆室	三一、五　廊下　二
三、第二分拆室	九
四、小使室及便所	一五、五　廊下　二
五、病害蟲研究室及標本室	三〇
六、種藝研究室	三〇
七、見習生教室	一四
八、同寄宿舍	三〇
九、溫室（二棟）	九、六六

一〇、厩舎	一七、五	
一一、豚舎	二四、五	
一二、鶏舎	一〇、五	
一三、養雛舎	一〇	
一四、孵化室	三	
一五、網室	二一	
一六、硝子室	二一	
一七、農具室	一七、五	
一八、收納舎(二棟)	一二〇、二五	
一九、倉庫	二四、	
二〇、種藝倉庫	二一	
二一、堆肥舎(二棟)	三〇	
二二、家禽運動場	一〇二	
二三、耕夫舎	二七、五	
二四、化學部物置	六	
二五、見習生浴場	三	
二六、井戸	六ケ所	
二七、貯水器	一ケ所	
二八、定温室	一ケ所	
二九、其他八棟	三六、七五	

第十一 本場面積

總面積	八五、反八〇二
内	
田	五六、四二八
畑	一三、二〇三
温床及苗圃	五、五一二
道路畦畔用惡水路堤防	四、一一九
建物敷地	六、四〇〇

第十二 大正八年度場豫算

科目	豫算高
俸給	九、四一〇、四九〇
雜給	一〇、六五五、五一〇
場費	三、一六三、〇〇〇
試驗費	九、〇四四、〇〇〇
原種圃費	三、七〇二、〇〇〇
米麥採種圃及種子配付監督費	一、八二一、〇〇〇
修繕費	五九三、〇〇〇
綠肥改良增殖試驗費	二、九四二、〇〇〇
臨時手當	七、六七九、〇〇〇

建築費　一二、四六二、〇〇〇

計　六二、四七二、〇〇〇

第十三　現在職員

担任	職名	氏名
場長	技師	志摩三郎
農藝化學	同	高橋長八
採種圃監督	同	高木繁雄
昆蟲病理	同	田中實
種藝	同	關塚茂七
農具	同	古野丈夫
兼務	同	南波清三郎
園藝	技手	佐藤敏夫
昆蟲病理	同	吉田末彥
昆蟲病理	同	河喜多一衛
綠肥	同	一富虎之助
園藝	同	小川幸雄
種藝	同	毛利克巳
種藝	同	矢野久吉
畜産	同	花田久藏
農藝化學	同	角田金一
農藝化學	同	松尾務
兼務	同	今泉陸一
會計	書記	吉田實
庶務	同	高野喜代次
會計	同	番美範
種藝	助手	大穗朝太郎
昆蟲病理	同	千代島廣次
種藝	同	安武清作
農藝化學	同	八尋芳彥
種藝	同	長谷川碩二

大正九年十月一日印刷
大正九年十月五日發行

福岡縣立農事試驗場

印刷者　福岡縣福岡市地行東町拾壹番地　納屋久

印刷所　福岡縣福岡市博多中島町壹番地　株式會社　共文社
電話三三五番

終